

刈谷市
子ども・子育てに関するアンケート調査

調査結果報告書

平成 31 年 3 月

刈 谷 市

目次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象及び調査方法	1
3. 調査票の回収状況	1
4. 報告書の見方	2
II. 調査結果の概略	3
III. 調査結果	6
1. 居住地域の状況について	6
2. 対象の子どもと家族の状況について	8
3. 子どもの育ちをめぐる環境について	12
4. 保護者の就労状況について	19
5. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について	30
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について	39
7. 土曜・休日や長期休業期間中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	41
8. 病気の際の対応について	46
9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について	55
10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について	62
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	72
12. 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について	82
13. 幼児教育・保育の無償化について	87
14. 子育て全般について	89
15. 自由意見（主なもの）	98
IV. 調査票	108
就学前児童保護者	108
小学生児童保護者	132

I. 調査概要

1. 調査の目的

「第2次刈谷市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたって、刈谷市に在住する就学前・小学生の児童を持つ保護者の現状やニーズを把握し、施策の方向性の検討や、教育・保育事業の需要量の見込みを設定するうえでの基礎資料とするため、本調査を実施した。

2. 調査対象及び調査方法

	今回調査	前回調査
①調査地域	刈谷市全域	刈谷市全域
②調査対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市内在住の「就学前児童」の保護者 ・刈谷市内在住の「小学生（1～3年生）児童」の保護者 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市内在住の「就学前児童」の保護者 ・刈谷市内在住の「小学生（1～3年生）児童」の保護者
③標本数	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前児童の保護者：2,000名 ・小学生児童の保護者：1,000名 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前児童の保護者：2,000名 ・小学生児童の保護者：1,000名
④標本抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	住民基本台帳より無作為抽出
⑤調査期間	平成30年11月9日～11月30日	平成25年11月8日～11月22日
⑥調査方法	郵送による配布・回収	郵送による配布・回収
⑦調査実施機関	刈谷市	刈谷市

3. 調査票の回収状況

	配布数	回収数	回収率
今回調査	3,000	2,076	69.2%
就学前児童保護者	2,000	1,377	68.9%
小学生児童保護者	1,000	699	69.9%
前回調査	3,000	1,828	60.9%
就学前児童保護者	2,000	1,202	60.1%
小学生児童保護者	1,000	626	62.6%

4. 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。
- ・報告書上の表記で、“就学前”は就学前の児童を持つ保護者、“小学生”は小学生の児童を持つ保護者を意味しています。

Ⅱ. 調査結果の概略

(1) 家族の状況・子どもの育ちをめぐる環境について

子育て（教育を含む）を主に行っている人についてみると、就学前・小学生ともに「父母ともに」が半数以上と最も多く、次いで「主に母親」がともに4割程度となっています。

また、就学前・小学生ともに、子どもをみてもらえる親族・知人の状況は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が約6割となっており、祖父母等の親族を始め何らかの支援が受けられる状況にある人が多い結果となっています。その一方で、子どもをみてもらえる親族・知人が「いずれもない」との回答も1割程度います。

(2) 保護者の就労状況について

保護者の就労状況についてみると、産前産後休暇（以下「産休」という）・育児休業（以下「育休」という）・介護休業中も含め母親が就労している（フルタイム・パート・アルバイト等）割合は、就学前で55.0%、小学生で71.0%となっています。前回調査では、就学前で41.6%、小学生で56.6%となっており、就労している人が増えています。

現在未就労である母親のうち、今後就労希望がある割合は、就学前、小学生いずれも5割以上となっており、1年以内の就労を希望する母親の就労形態は、ほとんどが「パートタイム、アルバイト等」で週3～4日、1日4～5時間の就労を希望しています。

(3) 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

就学前の定期的な教育・保育事業の利用についてみると、全体の64.8%が「利用している」と回答しています。前回調査の58.7%よりも6.1ポイント増加しており、今後も母親の就労が増加すると、教育・保育事業の利用も増えていくことが予想されます。

現在利用している教育・保育事業としては、「幼稚園」（40.7%）、「認可保育所」（40.2%）が多くなっています。また、利用したいと考える教育・保育事業についても、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」（49.6%）と「認可保育所」（48.5%）、「幼稚園」（41.8%）が多くなっています。

現在教育・保育事業を利用していない理由として、「母親か父親が就労していない等の理由で利用する必要がない」が60.8%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が35.9%、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」が17.3%となっています。

利用希望を持っている人が一定程度いることや、母親の就労増加の状況を踏まえると、今後も教育・保育事業のニーズは高まるものと考えられ、それに応じた教育・保育事業の充実が求められます。

(4) 土曜・休日や長期休業期間中の教育・保育事業の利用について

土曜・休日の教育・保育事業については、「ほぼ毎週利用したい」との回答が土曜日で6.7%、日曜日で0.9%、祝日で12.2%となっています。

また、幼稚園利用者の、夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の教育・保育事業の利用については、「休みの期間中、週に数日利用したい」が47.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が18.8%と、合わせて6割以上が利用を希望しています。

Ⅱ. 調査結果の概略

(5) 子どもが病気の際の対応について

就学前では 82.7%、小学生では 63.9%の人が、子どもが病気やケガで普段利用している事業が利用できなかったことや学校を休まなければならなかった状況が「あった」と回答しており、その際の対応については、就学前・小学生ともに「母親が休んだ」と回答した人が多くなっています。

子どもが病気やケガの際の対応として父親や母親が休んだ人のうち、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思った人は、就学前で 34.4%、小学生で 9.3%となっており、小学生よりも就学前で利用希望が高くなっています。

一方、「利用したいとは思わない」は、就学前・小学生ともに 6割以上となっており、その理由としては「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」や「親が仕事を休んで対応する」が主となっています。

(6) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

就学前について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的でその都度利用している事業については、77.3%が「利用していない」と回答しています。

このような不定期な事業の利用希望については、「利用する必要はない」が就学前で 46.0%、小学生で 68.9%となっています。一方、「利用したい」は就学前で 47.6%、小学生で 27.6%となっており、就学前で利用希望が高くなっています。

また、この1年間に子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことについては、「なかった」が就学前で 76.7%、小学生で 85.0%と大半を占めています。「あった」と回答した人は、就学前で 20.4%、小学生で 15.0%となっており、そのほとんどが親族・知人にみてもらうことで対処しています。

(7) 放課後の過ごし方について

小学校低学年の時期で希望する放課後の過ごし方をみると、「自宅」（就学前：53.3%、小学生：75.3%）や「習い事」（就学前：57.3%、小学生：66.0%）が多く、次いで「放課後児童クラブ」（就学前：44.6%、小学生：22.7%）となっています。

小学校高学年の時期で希望する放課後の過ごし方についても、就学前・小学生ともに「自宅」と「習い事」が多くなっています。一方、放課後児童クラブの利用希望をみると、就学前で 33.8%、小学生で 16.8%が利用したいと回答しており、就学前に比べて小学生の利用希望は低くなっています。

(8) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

就学前について、育児休業の取得状況をみると、母親では「取得していない」が 13.8%、父親では 93.8%と父親の育児休業を利用している人がほとんどみられませんでした。その理由としては、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が 47.6%と最も多く、父親では「仕事が忙しかった」が 39.5%、「祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 36.9%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 36.4%と多くなっています。

育児休業を取得した母親のうち、67.3%は育児休業取得後、職場に復帰しています。育児休業の実際の取得期間としては「1歳～1歳6か月未満」が多いものの、勤め先に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合は3歳6か月未満までの休暇を希望する人が41.5%と最も多くなっています。

また、職場復帰時の短時間勤務制度の利用については、母親では「利用した」が52.5%と最も多くなっています。前述のとおり、共働き世帯や就労を希望する母親が多いことから、子育てをしながら就労を継続できる環境づくりや、子育てと仕事の両立を支援する取り組みが、より一層求められます。

(9) 子育てサービス、子育てに関連する分野の認知度・満足度について

刈谷市の子育てサービスの認知度は、前回調査と比較すると15項目中10項目で認知度が高くなっています。

満足度をみると、15項目中11項目で「満足（満足+やや満足）」が5割以上となっており、満足している人が多い状況です。前回調査と比較すると15項目中9項目で高くなっています。

利用する・しないは個別の状況等であるものの、サービス等の認知度を上げることが重要です。

子育てに関連する分野の満足度は、子育て支援サービスの充実と利便性、妊娠・出産・育児期の健診の利便性、小児医療サービスの利便性、公園など身近な子どもの遊び場の充実、総合的な子育てのしやすさは、就学前でいずれも5割以上の人「満足（満足+やや満足）」と回答しており、満足している分野が多くなっています。また小学生ではどの項目も「ふつう」が多く、引き続き満足度維持・向上のため、利用者のニーズに合わせたサービス提供が求められます。

(10) 子育て全般について

①子育ての相談について

子育てや教育に関して相談できる人や場所については、就学前・小学生ともに9割以上の人があると答えています。相談先については、就学前・小学生ともに祖父母等の親族や友人・知人など、身近な人を相談相手とする人が多くなっています。

②子どもの遊び場について

子どもの遊び場に関する満足度は、小学生で46.5%が「満足」と回答しており、「ふつう」をあわせると76.9%の人が不満ではないという評価をしています。

一方で、子どもの遊び場で不満に感じることもあるかとの問いに対しては、「特に不満を感じることはない」が32.4%で最も多くなっています。その他では「遊具などの種類が充実していない」、「十分な広さがない」などの設備に対する意見や「遊び場周辺が危険である」、「衛生的に問題がある」など、安全面や衛生面に対する意見があります。

Ⅲ. 調査結果

1. 居住地域の状況について

Ⅲ. 調査結果

1. 居住地域の状況について

(1) 居住地区

問 お住まいの小学校区はどこですか。

【就学前：問 1、小学生：問 1】

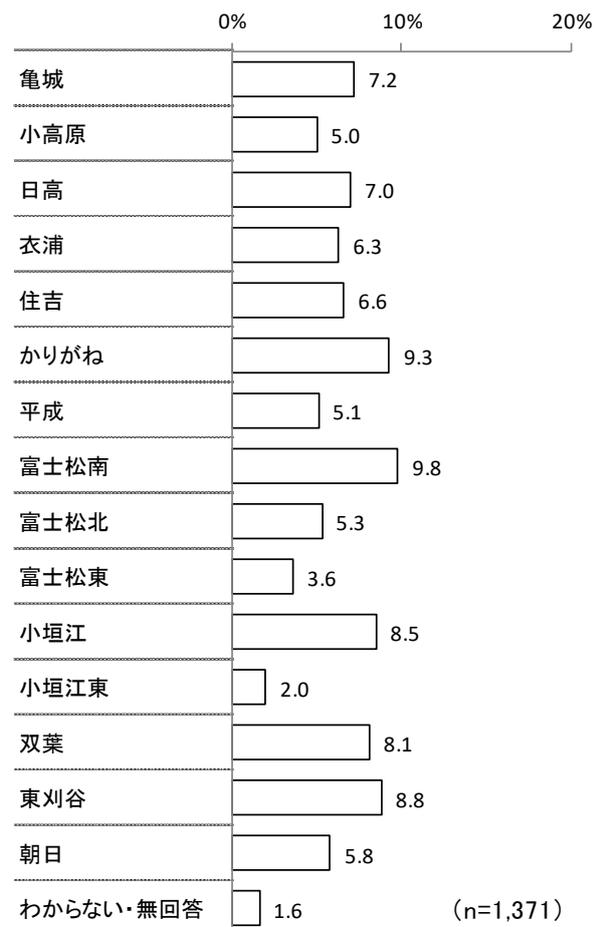
〈単数回答〉

居住地区は、就学前では、「富士松南」が 9.8%と最も多く、次いで「かりがね」(9.3%)、「東刈谷」(8.8%) の順となっています。

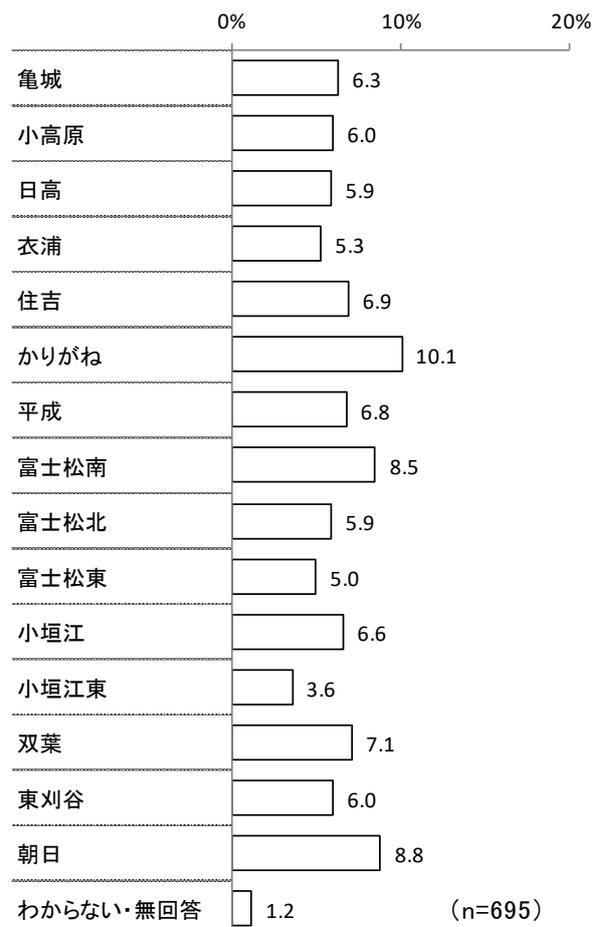
小学生では、「かりがね」が 10.1%と最も多く、次いで「朝日」(8.8%)、「富士松南」(8.5%) の順となっています。

図表 1 居住地区

【就学前】



【小学生】



(2) 保護者の刈谷市在住期間

問 保護者の方の刈谷市在住期間（平成 30 年 10 月 1 日現在）はどのくらいですか。
 【就学前：問2、小学生：問2】

〈単数回答〉

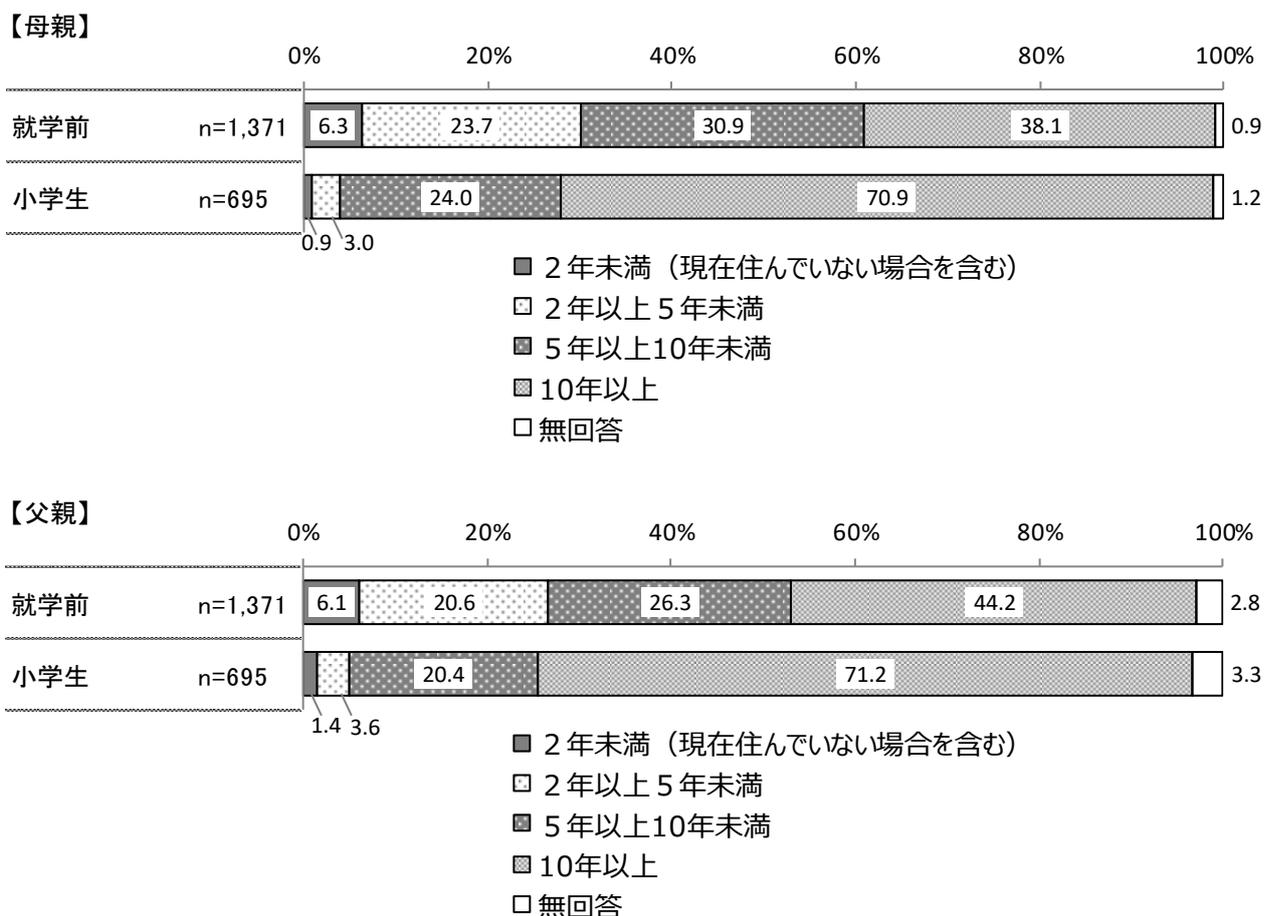
母親の刈谷市在住期間は、就学前では、「10年以上」が38.1%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」(30.9%)の順となっています。

小学生でも、「10年以上」が70.9%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」(24.0%)の順となっています。

父親の刈谷市在住期間は、就学前では、「10年以上」が44.2%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」(26.3%)の順となっています。

小学生でも、「10年以上」が71.2%と最も多く、次いで「5年以上10年未満」(20.4%)の順となっています。

図表 2 保護者の刈谷市在住期間



Ⅲ. 調査結果

2. 対象の子どもと家族の状況について

2. 対象の子どもと家族の状況について

(1) 対象の子どもの年齢

※平成30年4月1日現在

問 あて名のお子さんの年齢はいくつですか。

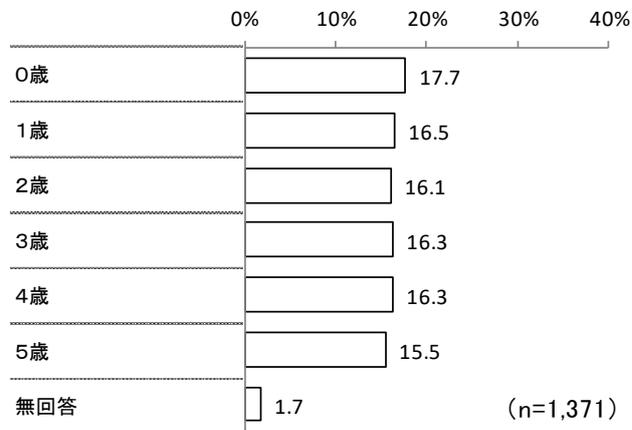
【就学前：問3、小学生：問3】

〈数量回答〉

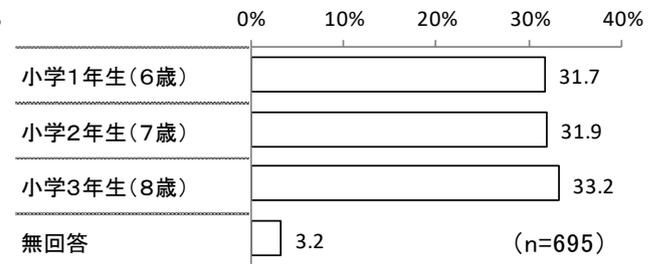
対象の子どもの年齢は、就学前、小学生ともに、すべての年齢でほぼ均等な回答となっています。

図表 3 対象の子どもの年齢

【就学前】



【小学生】



(2) 子どもの人数・末子の年齢

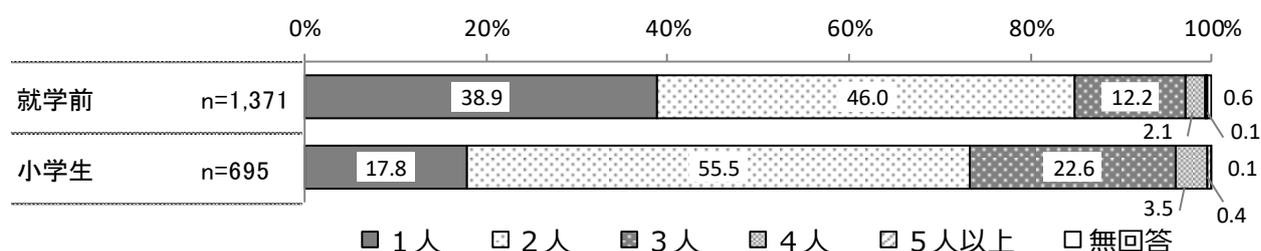
問 お子さんは何人いますか。また、末子の方の年齢はいくつですか。
 【就学前：問 4、小学生：問 4】

〈数量回答〉

子どもの人数は、就学前では、「2人」が 46.0%と最も多く、次いで「1人」(38.9%)、「3人」(12.2%)の順となっています。

小学生では、「2人」が 55.5%と最も多く、次いで「3人」(22.6%)、「1人」(17.8%)の順となっています。

図表 4 子どもの人数（対象の子どもを含めた数）

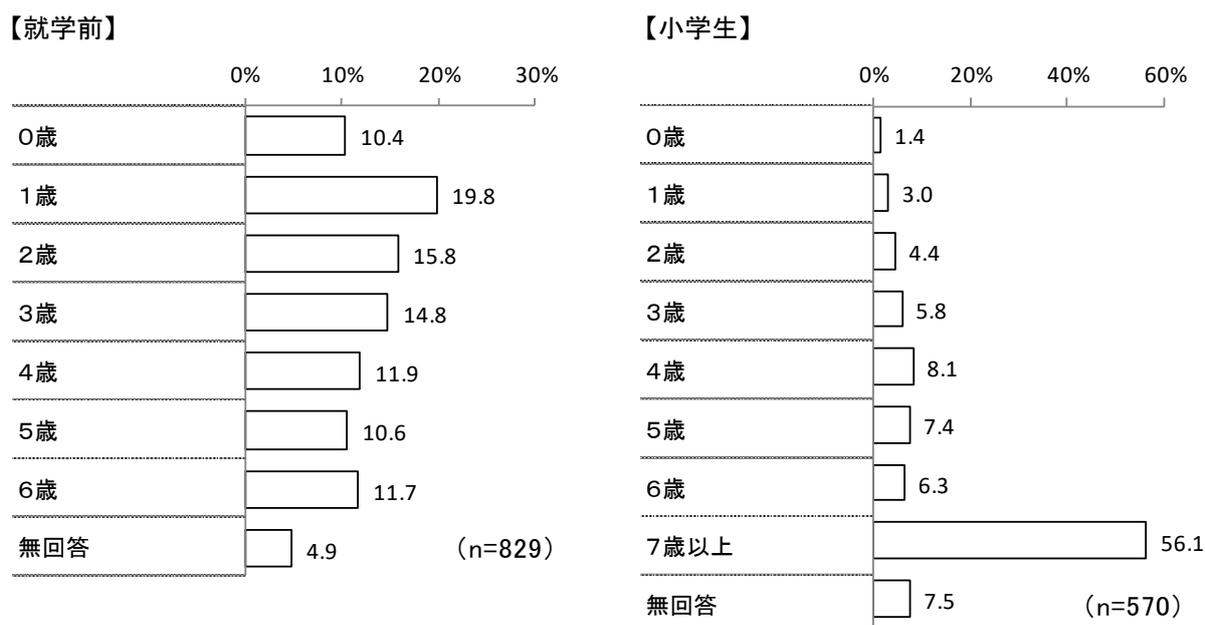


2人以上の子どもがいる方のみ

末子の年齢は、就学前では、「1歳」が 19.8%と最も多く、次いで「2歳」(15.8%)、「3歳」(14.8%)の順となっています。

小学生では、「7歳以上」が 56.1%と最も多く、次いで「4歳」(8.1%)、「5歳」(7.4%)の順となっています。

図表 5 末子の年齢



Ⅲ. 調査結果

2. 対象の子どもと家族の状況について

(3) 調査票の回答者

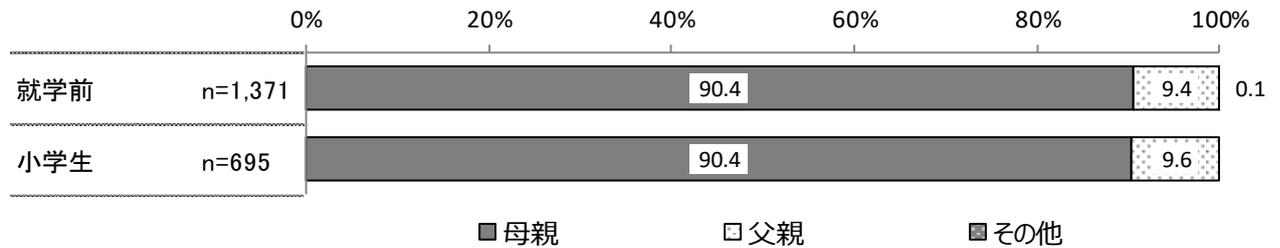
問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

【就学前：問5、小学生：問5】

〈単数回答〉

調査票の回答者は、就学前・小学生ともに「母親」が90.4%となっています。

図表 6 調査票の回答者



(4) 回答者の配偶関係

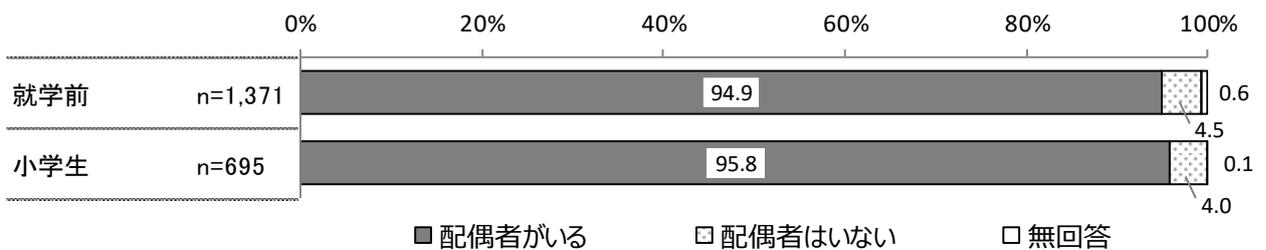
問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

【就学前：問6、小学生：問6】

〈単数回答〉

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が、就学前で94.9%、小学生で95.8%となっています。

図表 7 回答者の配偶関係



(5) 子育てや教育を主に行っている方

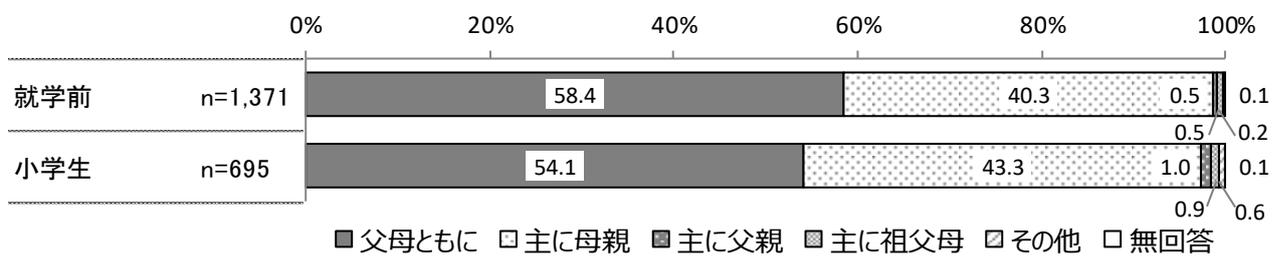
問 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。
 【就学前：問7、小学生：問7】

〈単数回答〉

子育てや教育を主に行っている方は、就学前では、「父母ともに」が58.4%と最も多く、次いで「主に母親」(40.3%)の順となっています。

小学生でも、「父母ともに」が54.1%と最も多く、次いで「主に母親」(43.3%)の順となっています。

図表 8 子育てや教育を主に行っている方



Ⅲ. 調査結果

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てや教育に日常的に関わっている方

問 お子さんの子育てや教育に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。

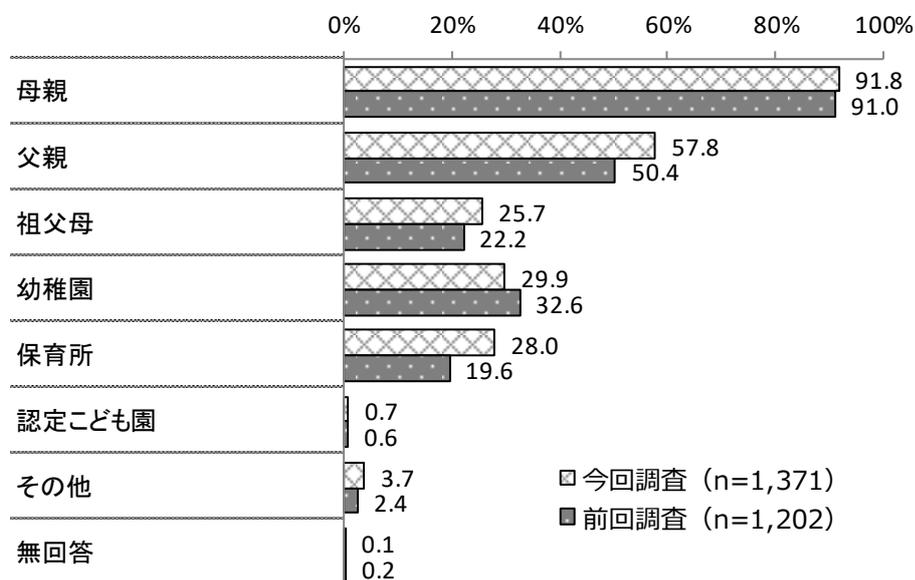
【就学前：問8】

<複数回答>

子育てや教育に日常的に関わっている方は、「母親」が91.8%と最も多く、次いで「父親」(57.8%)、「幼稚園」(29.9%)、「保育所」(28.0%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「保育所」が8.4ポイント増加しています。

図表 9 子育てや教育に日常的に関わっている方



(2) 子育てや教育に影響する環境

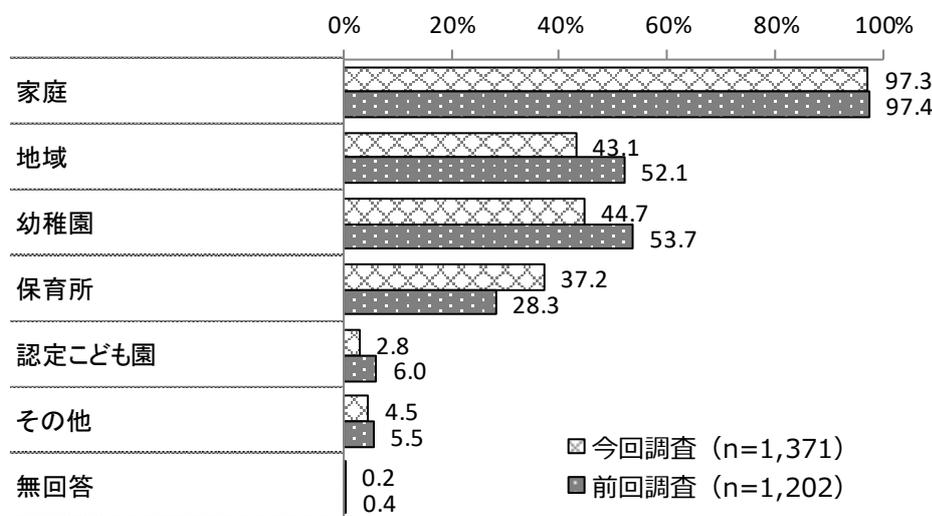
問 お子さんの子育てや教育に、影響すると思われる環境はどれですか。
 【就学前：問9】

〈複数回答〉

子育てや教育に影響する環境は、「家庭」が 97.3%と最も多く、次いで「幼稚園」(44.7%)、「地域」(43.1%) の順となっています。

前回調査と比較すると、「地域」や「幼稚園」が減少しているのに対し、「保育所」は増加しています。

図表 10 子育てや教育に影響する環境



Ⅲ. 調査結果

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

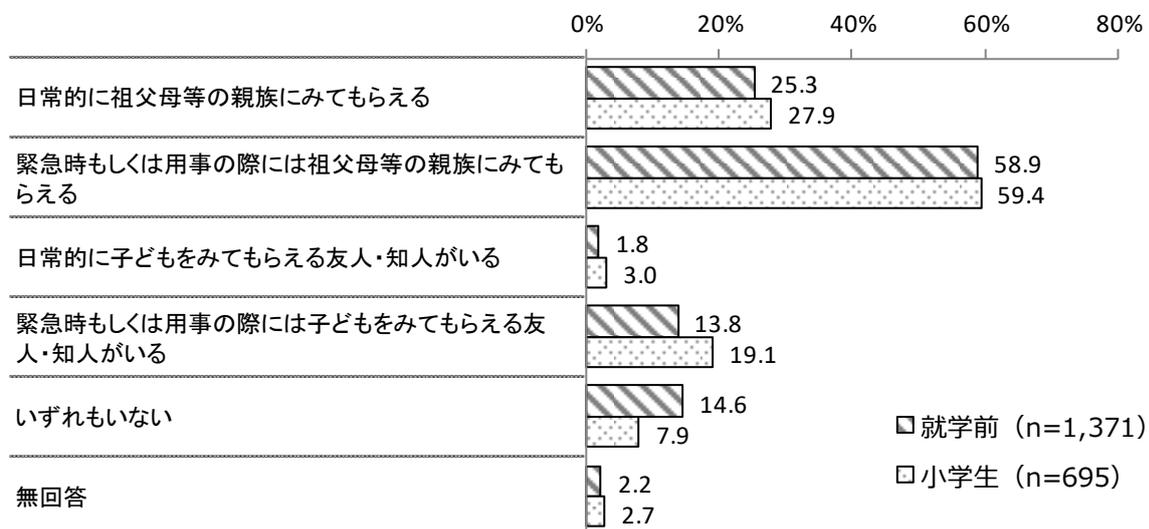
【就学前：問 10、小学生：問 8】

〈複数回答〉

子どもをみてもらえる親族・知人の有無については、就学前では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 58.9%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(25.3%)、「いずれもない」(14.6%) の順となっています。

小学生では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 59.4%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(27.9%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(19.1%)、「いずれもない」(7.9%) の順となっています。

図表 11 子どもをみてもらえる親族・知人の有無



(4) 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況

『(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無』で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を回答した方のみ

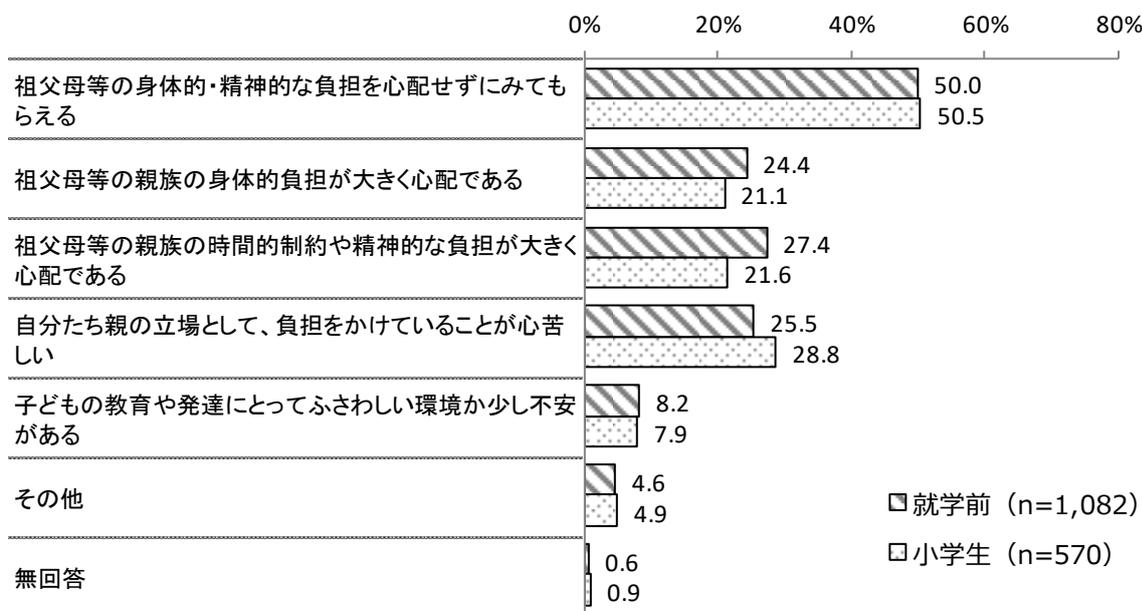
問 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 【就学前：問 10-1、小学生：問8-1】

〈複数回答〉

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況は、就学前では、「祖父母等の身体的・精神的な負担を心配せずにみてもらえる」が 50.0%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(27.4%)、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(25.5%) の順となっています。

小学生では、「祖父母等の身体的・精神的な負担を心配せずにみてもらえる」が 50.5%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(28.8%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(21.6%) の順となっています。

図表 12 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況



Ⅲ. 調査結果

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(5) 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況

『(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無』で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を回答した方のみ

問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

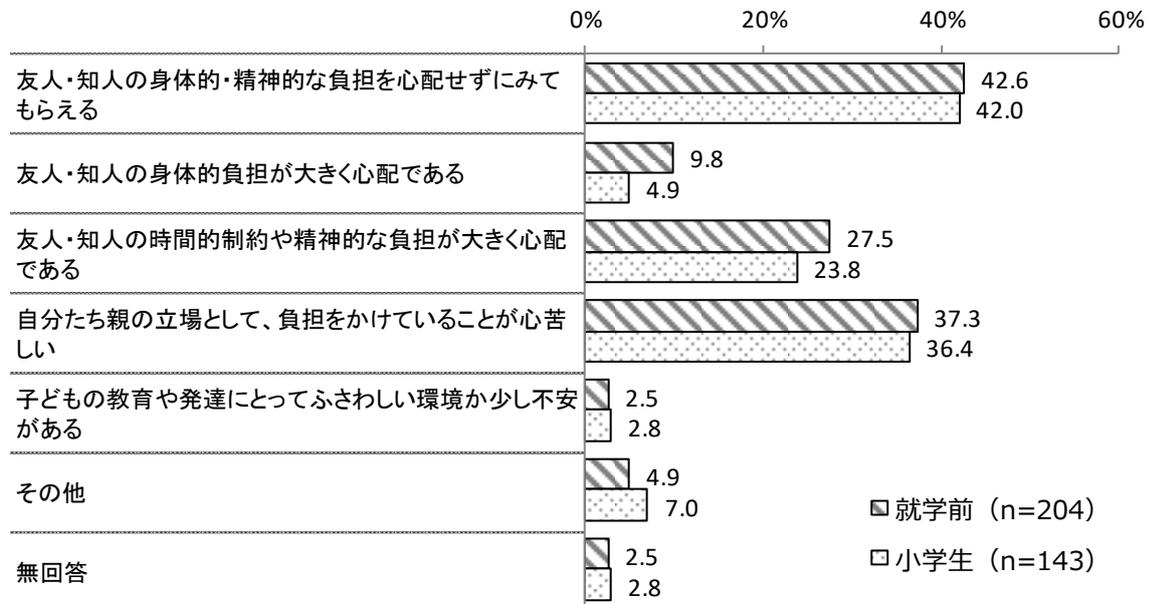
【就学前：問 10-2、小学生：問8-2】

〈複数回答〉

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況は、就学前では、「友人・知人の身体的・精神的な負担を心配せずにみてもらえる」が 42.6%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(37.3%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(27.5%) の順となっています。

小学生でも、「友人・知人の身体的・精神的な負担を心配せずにみてもらえる」が 42.0%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(36.4%)、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(23.8%) の順となっています。

図表 13 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況



(6) 子育てや教育に関して相談できる人や場所の有無

問 お子さんの子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。

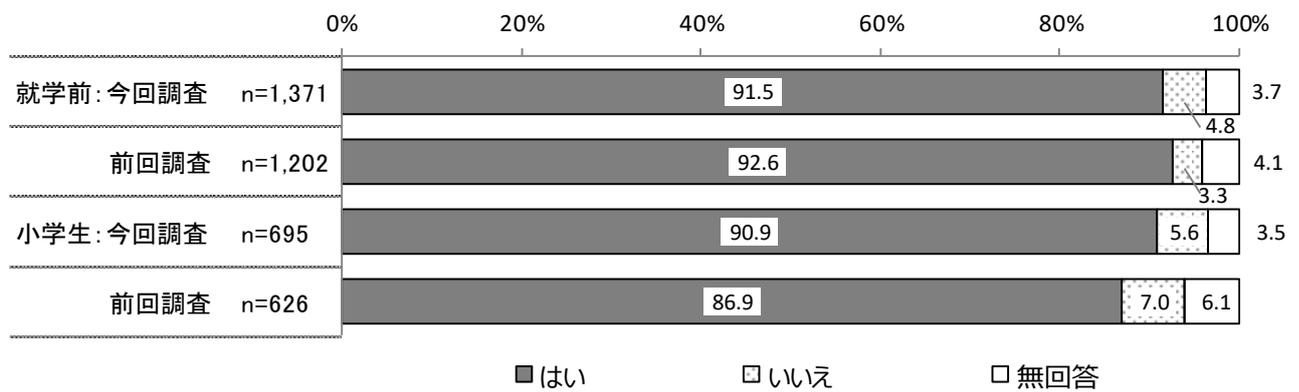
【就学前：問 11、小学生：問9】

〈単数回答〉

子育てや教育に関して相談できる人や場所の有無については、「はい」（相談できる人がいる・場所がある）が、就学前で91.5%、小学生で90.9%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

図表 14 子育てや教育に関して相談できる人や場所の有無



Ⅲ. 調査結果

3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(7) 相談先

『(6) 子育てや教育に関して相談できる人や場所の有無』で「はい」と回答した方のみ

問 お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所は誰（どこ）ですか。

【就学前：問 11-1、小学生：問9-1】

〈複数回答〉

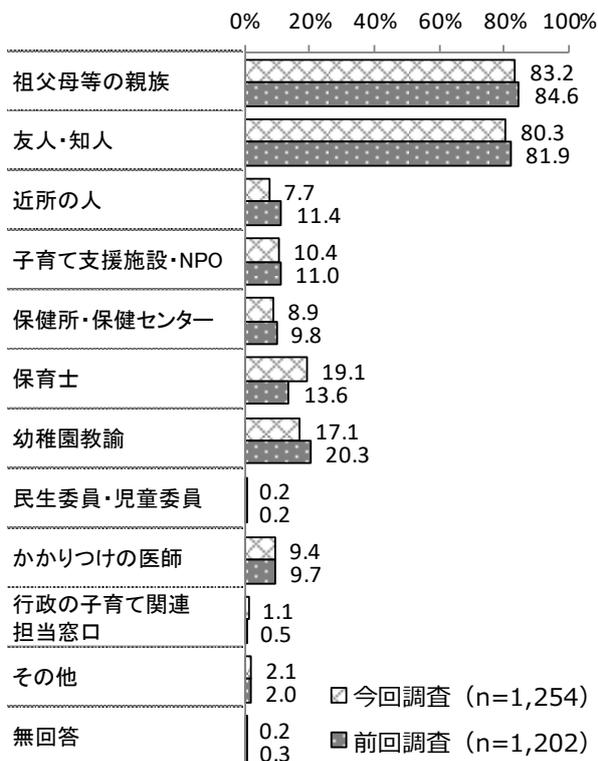
相談先は、就学前では、「祖父母等の親族」が83.2%と最も多く、次いで「友人・知人」(80.3%)、「保育士」(19.1%)、「幼稚園教諭」(17.1%)の順となっています。

小学生では、「友人・知人」が83.9%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」(78.5%)、「小学校の先生」(22.3%)の順となっています。

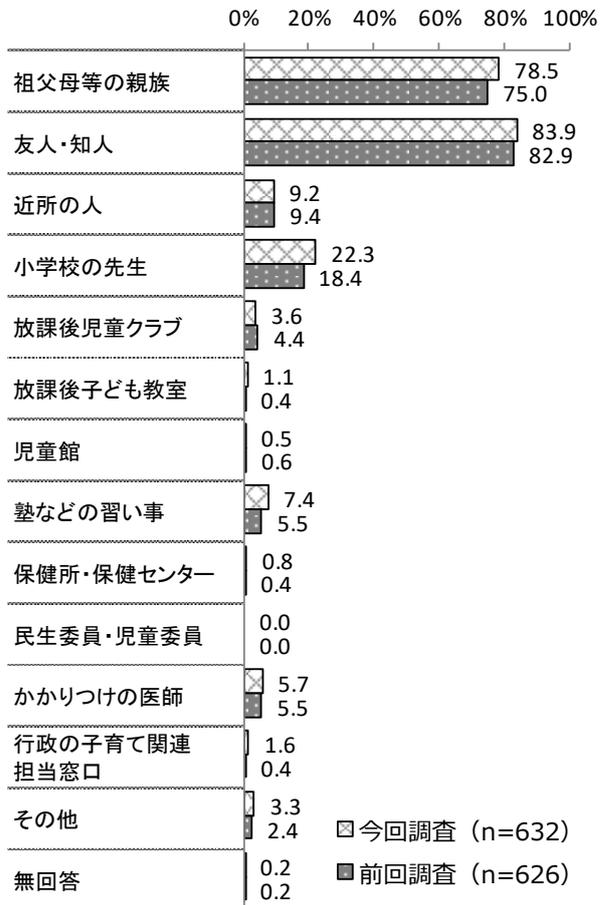
前回調査と比較すると、就学前では「保育士」に相談する人が増えています。

図表 15 相談先 前回調査との比較

【就学前】



【小学生】



4. 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況

問 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

【就学前：問 13、小学生：問 11】

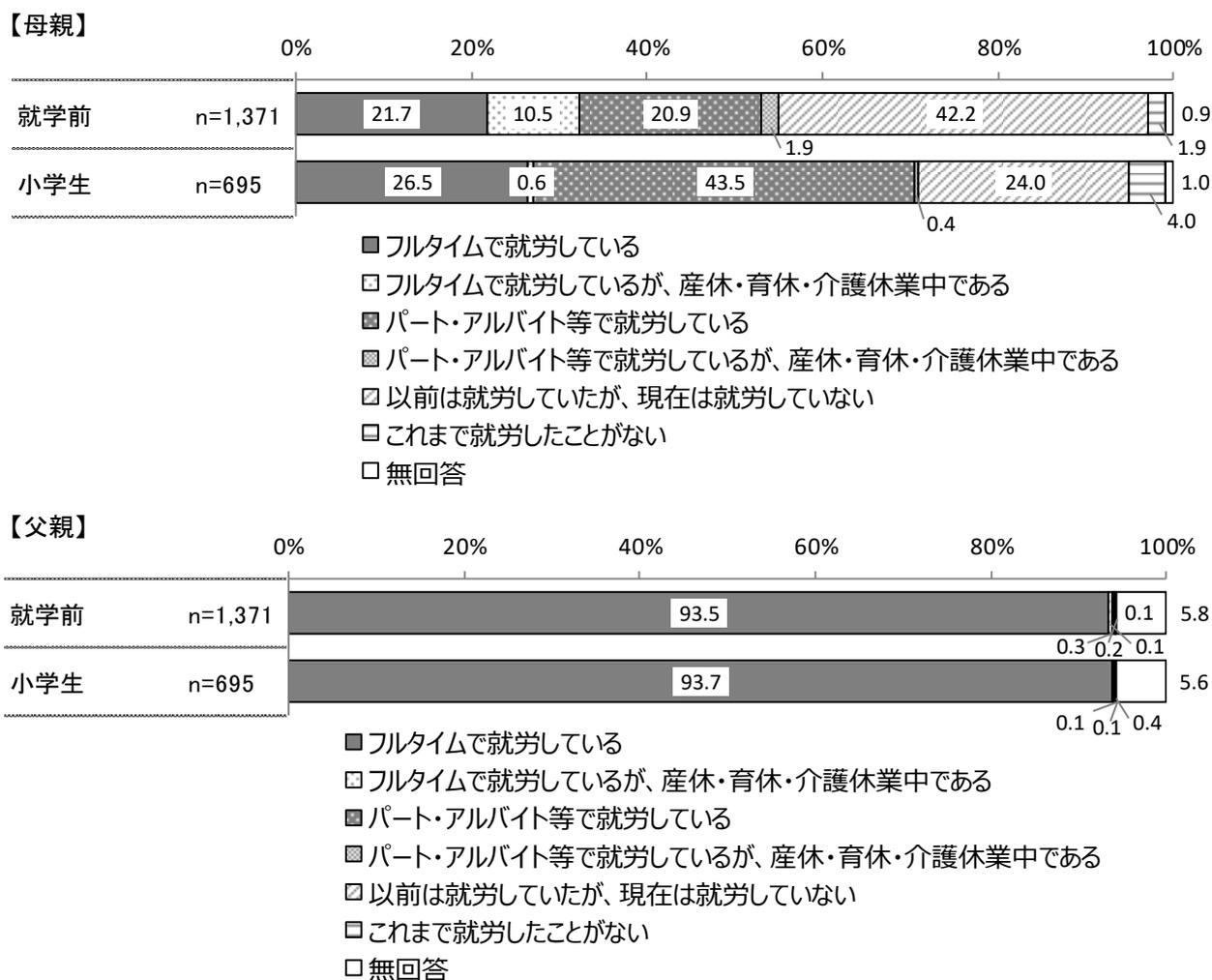
〈単数回答〉

母親の就労状況は、就学前では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が42.2%と最も多く、次いで「フルタイムで就労している」(21.7%)、「パート・アルバイト等で就労している」(20.9%)の順となっています。

小学生では、「パート・アルバイト等で就労している」が43.5%と最も多く、次いで「フルタイムで就労している」(26.5%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(24.0%)の順となっています。

父親の就労状況は、就学前・小学生ともに「フルタイムで就労している」が9割以上で最も多くなっています。

図表 16 保護者の就労状況



Ⅲ. 調査結果

4. 保護者の就労状況について

図表 17 子どもの年齢別×母親の就労状況(就学前)

(上段:件数、下段:%)

		調査数	問13(1)お子さんの保護者の現在の就労状況(1)母親						無回答
			フルタイムで就労している	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	
調査数		1,371	297	144	286	26	579	26	13
		100.0	21.7	10.5	20.9	1.9	42.2	1.9	0.9
問3 お子さんの年齢	0歳	242	22	71	18	6	122	2	1
		100.0	9.1	29.3	7.4	2.5	50.4	0.8	0.4
	1歳	226	48	27	37	4	107	3	-
		100.0	21.2	11.9	16.4	1.8	47.3	1.3	-
	2歳	221	61	18	34	9	96	2	1
		100.0	27.6	8.1	15.4	4.1	43.4	0.9	0.5
	3歳	224	54	16	56	2	87	6	3
		100.0	24.1	7.1	25.0	0.9	38.8	2.7	1.3
4歳	223	57	6	69	-	80	7	4	
	100.0	25.6	2.7	30.9	-	35.9	3.1	1.8	
5歳	212	52	5	67	4	75	5	4	
	100.0	24.5	2.4	31.6	1.9	35.4	2.4	1.9	
無回答		23	3	1	5	1	12	1	-
		100.0	13.0	4.3	21.7	4.3	52.2	4.3	-

図表 18 子どもの年齢別×母親の就労状況(小学生)

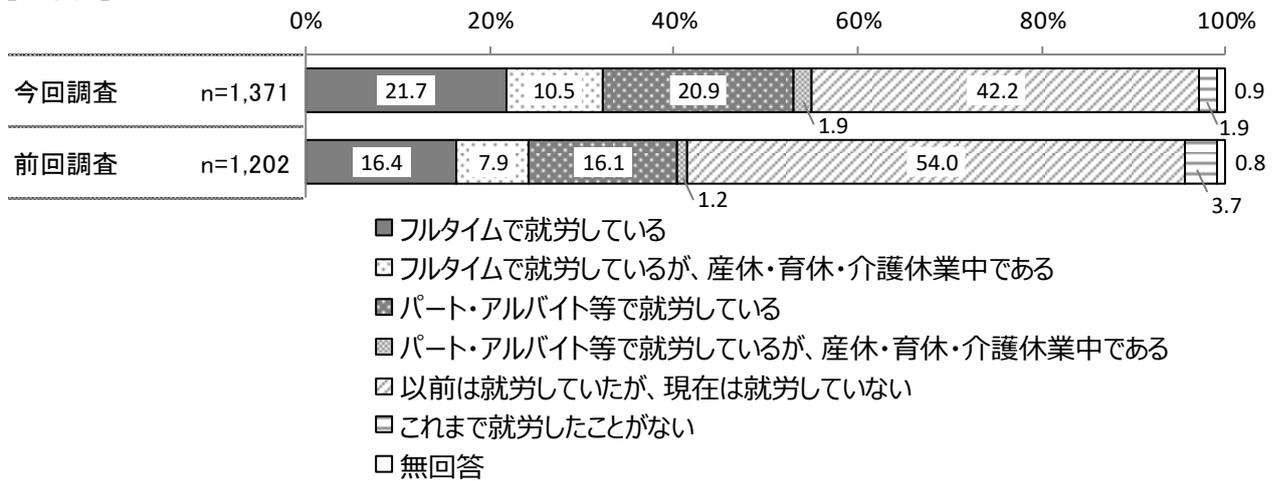
(上段:件数、下段:%)

		調査数	問11(1)お子さんの保護者の現在の就労状況(1)母親						無回答
			フルタイムで就労している	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	
調査数		695	184	4	302	3	167	28	7
		100.0	26.5	0.6	43.5	0.4	24.0	4.0	1.0
問3 お子さんの年齢	小学1年生	220	58	3	82	1	67	9	-
		100.0	26.4	1.4	37.3	0.5	30.5	4.1	-
	小学2年生	222	54	1	110	-	46	9	2
		100.0	24.3	0.5	49.5	-	20.7	4.1	0.9
	小学3年生	231	66	-	99	2	52	9	3
		100.0	28.6	-	42.9	0.9	22.5	3.9	1.3
無回答		22	6	-	11	-	2	1	2
		100.0	27.3	-	50.0	-	9.1	4.5	9.1

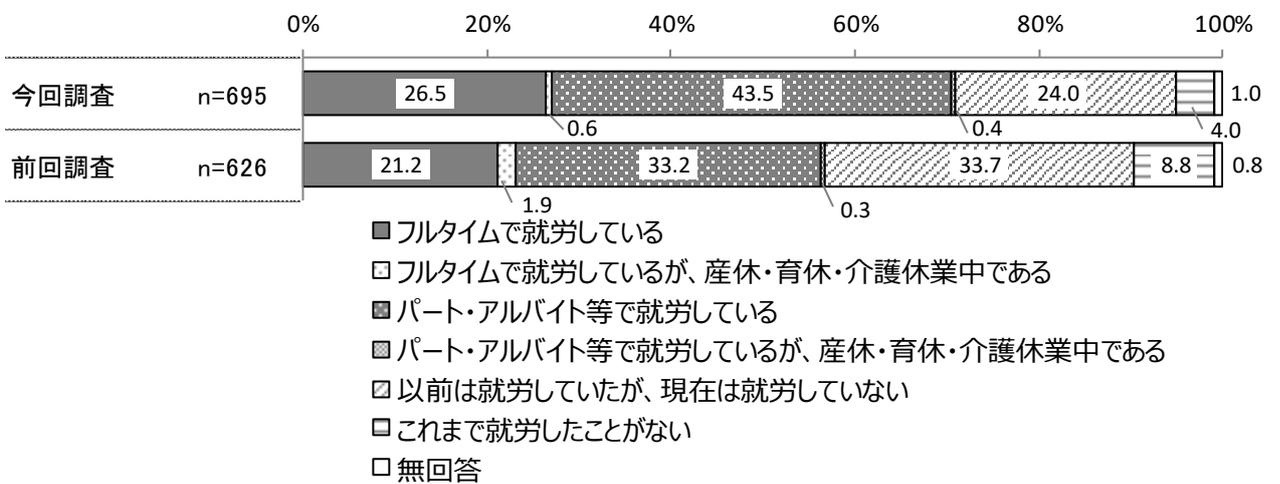
母親の就労状況を前回調査と比較すると、就学前、小学生ともにフルタイムやパート・アルバイト等で就労している人が増加しています。

図表 19 保護者の就労状況（母親） 前回調査との比較

【就学前】



【小学生】



Ⅲ. 調査結果

4. 保護者の就労状況について

(2) 就労日数・就労時間

『(1) 保護者の就労状況』で、「フルタイムで就労している」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労している」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを回答した方のみ

問 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

【就学前：問 13-1、小学生：問 11-1】

〈数量回答〉

母親の就労日数は、「5日」が、就学前で69.1%、小学生で53.1%と最も多くなっています。

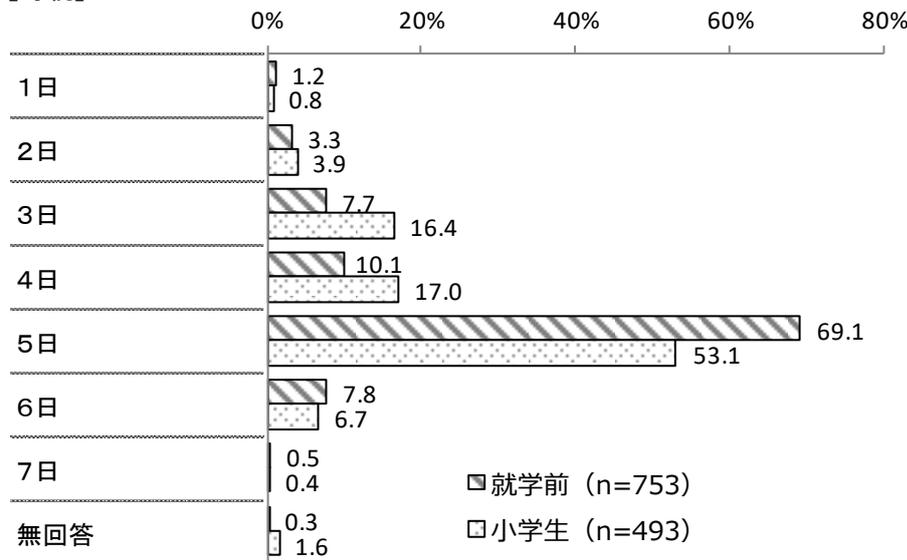
父親の就労日数は、「5日」が、就学前で78.7%、小学生で75.5%と最も多くなっています。

母親の就労時間は、就学前では、「8～9時間未満」が27.5%と最も多く、小学生では、「4～5時間未満」が21.1%と最も多くなっています。

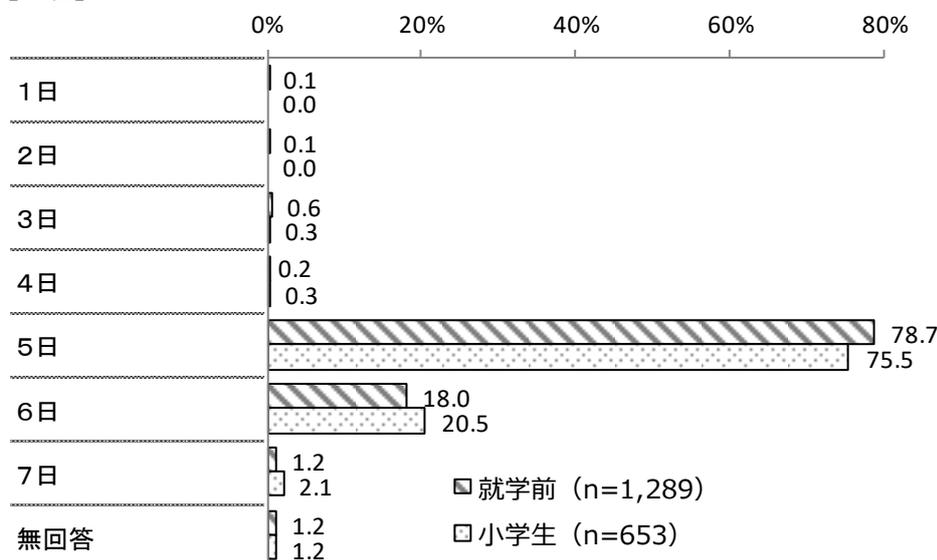
父親の就労時間は、「10時間以上」が、就学前で64.5%、小学生で61.6%と最も多くなっています。

図表 20 就労日数

【母親】

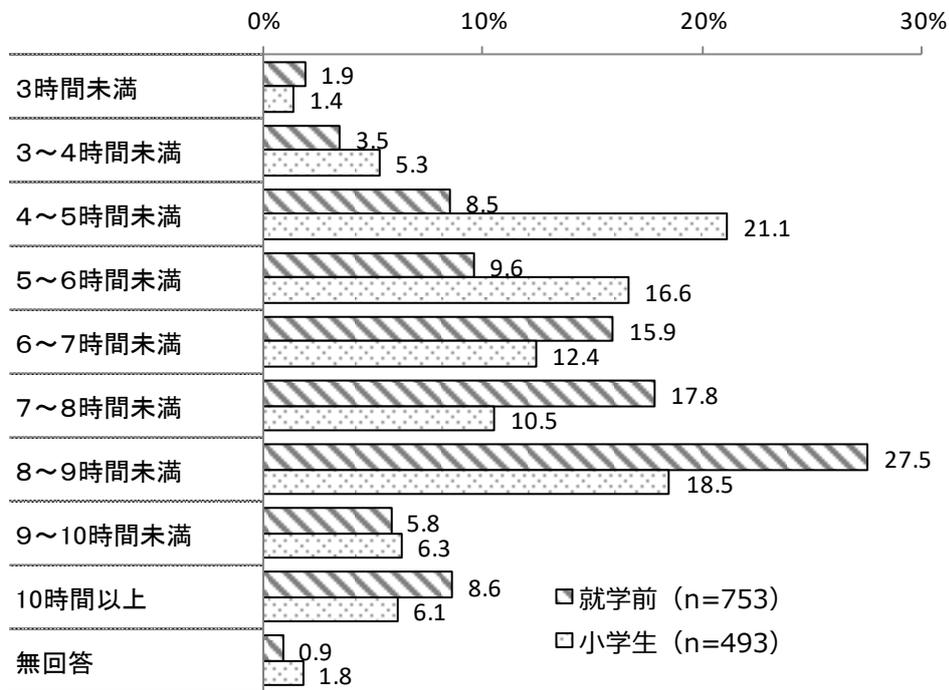


【父親】

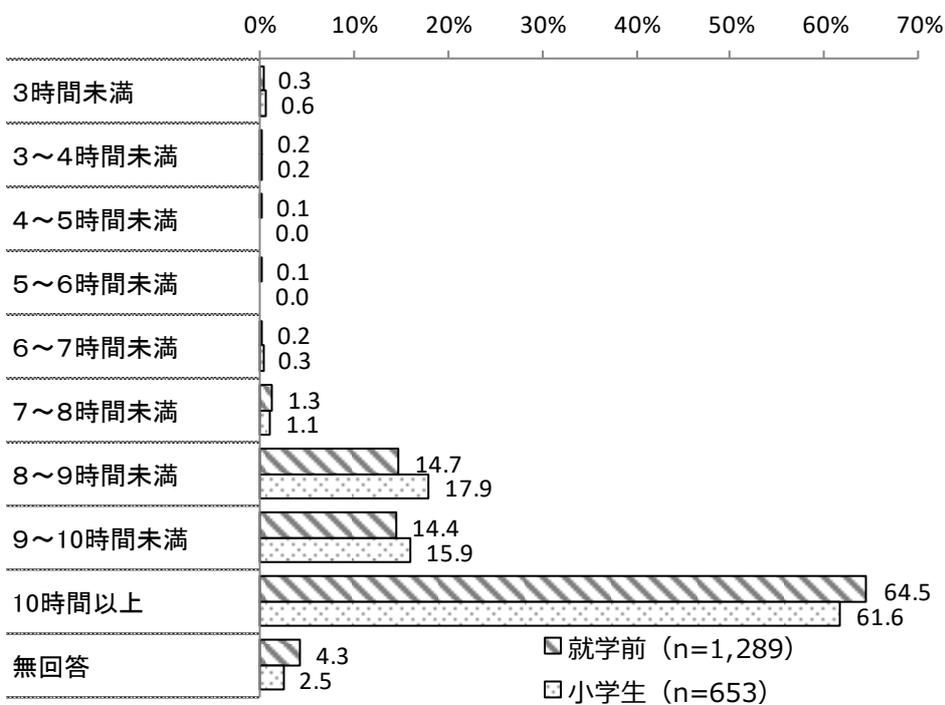


図表 21 就労時間

【母親】



【父親】



Ⅲ. 調査結果

4. 保護者の就労状況について

(3) 外出時刻・帰宅時刻

『(1) 保護者の就労状況』で、「フルタイムで就労している」、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」、「パート・アルバイト等で就労している」、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」のいずれかを回答した方のみ

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

【就学前：問 13-2、小学生：問 11-2】

〈単数回答〉

母親の外出時刻は、就学前では、「7時台」が39.8%と最も多く、次いで「8時台」(32.1%)の順となっており、小学生では、「8時台」が42.8%と最も多く、次いで「7時台」(27.6%)の順となっています。

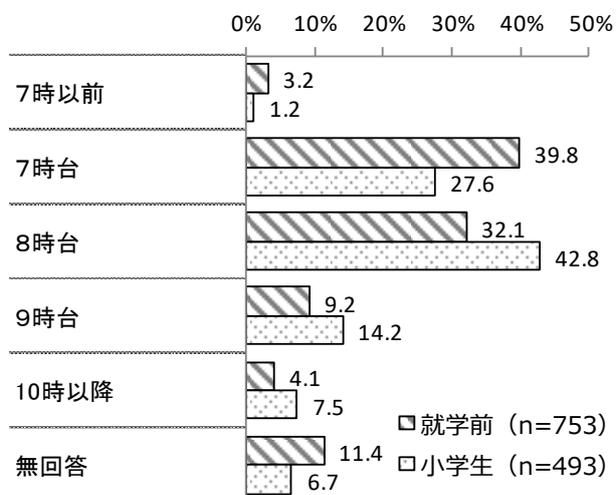
母親の帰宅時刻は、「18時台」が、就学前で30.0%、小学生で17.6%と最も多くなっています。

父親の外出時刻は、「7時台」が、就学前で42.4%、小学生で41.7%と最も多くなっています。

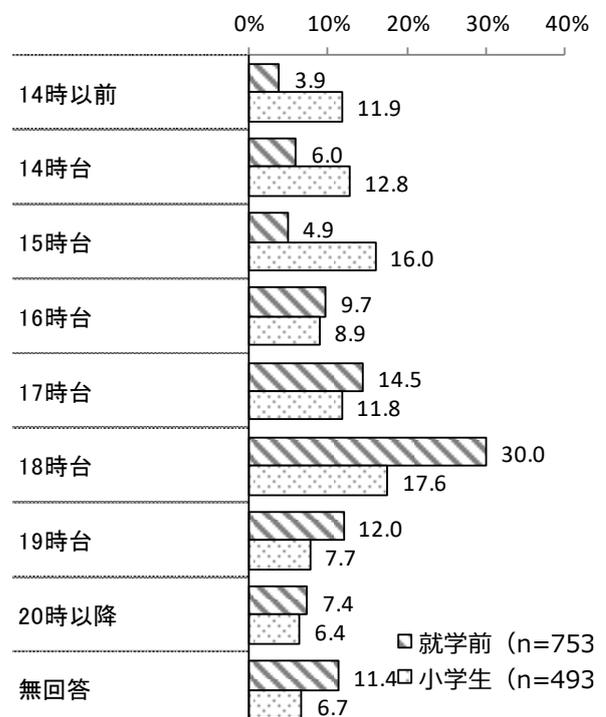
父親の帰宅時刻は、就学前では、「20時台」が22.3%と最も多く、次いで「21時台」(16.7%)の順となっており、小学生では、「21時台」が18.4%と最も多く、次いで「19時台」(17.0%)の順となっています。

図表 22 母親の外出時刻・帰宅時刻

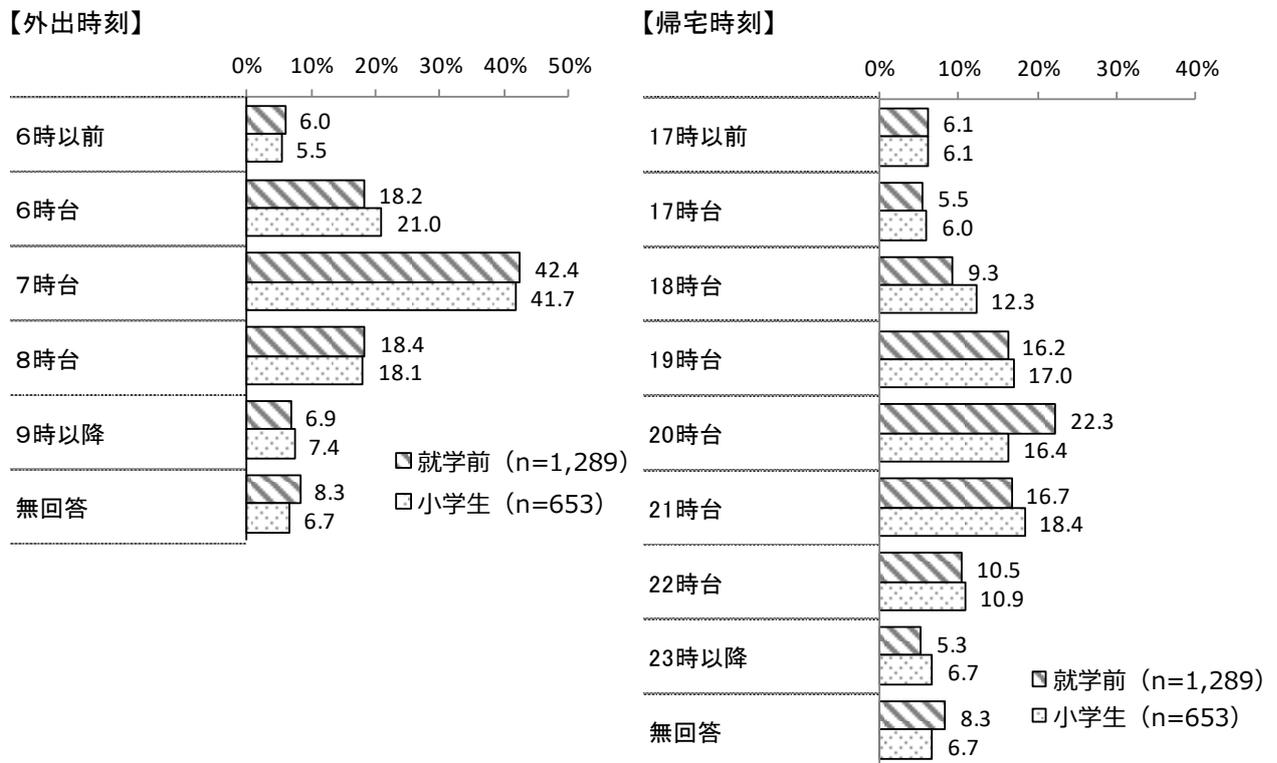
【外出時刻】



【帰宅時刻】



図表 23 父親の外出時刻・帰宅時刻



Ⅲ. 調査結果

4. 保護者の就労状況について

(4) フルタイムへの転換希望

『(1) 保護者の就労状況』で「パート・アルバイト等で就労している」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を回答した方のみ

問 フルタイムへの転換希望はありますか。

【就学前：問 14、小学生：問 12】

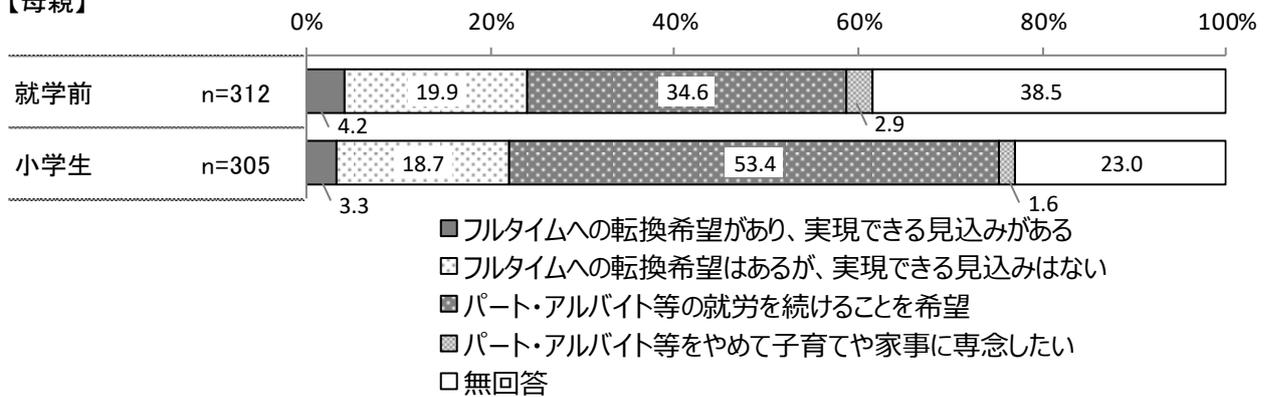
〈単数回答〉

母親のフルタイムへの転換希望は、就学前では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 34.6%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(19.9%) の順となっています。

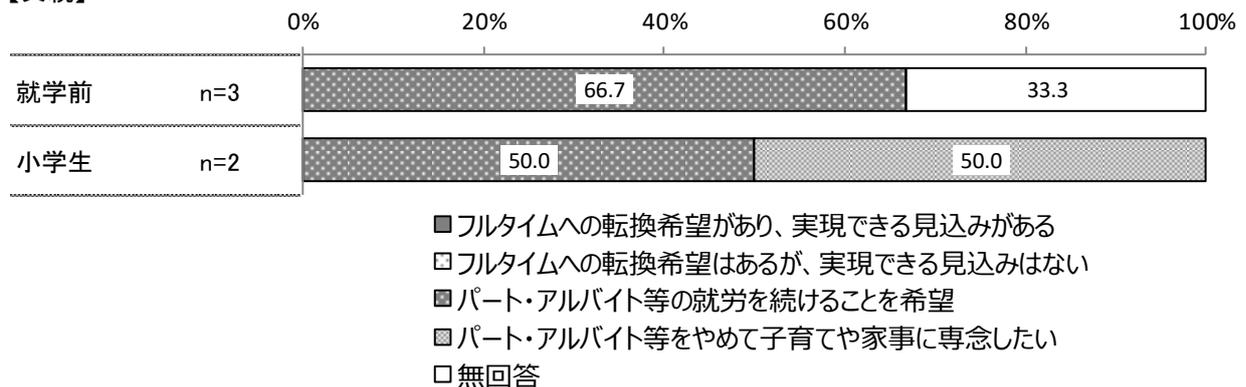
小学生でも、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 53.4%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(18.7%) の順となっています。

図表 24 フルタイムへの転換希望

【母親】



【父親】



(5) 今後の就労希望

『(1) 保護者の就労状況』で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を回答した方のみ

問 就労したいという希望はありますか。

【就学前：問 15、小学生：問 13】

〈単数回答・数量回答〉

＜今後の就労希望＞

母親の今後の就労希望は、就学前では、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」が41.2%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」(19.5%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(18.3%)の順となっています。

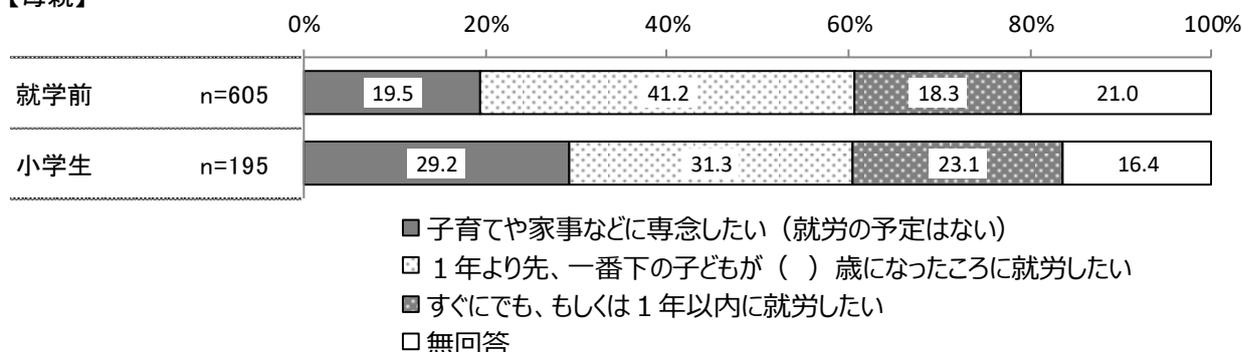
小学生でも、「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったところに就労したい」が31.3%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」(29.2%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(23.1%)の順となっています。

母親の希望する就労時期の一番下の子どもの年齢は、就学前では、「3歳」が31.7%と最も多く、次いで「4歳」(16.9%)、「7歳」(14.9%)、「6歳」(13.3%)の順となっています。

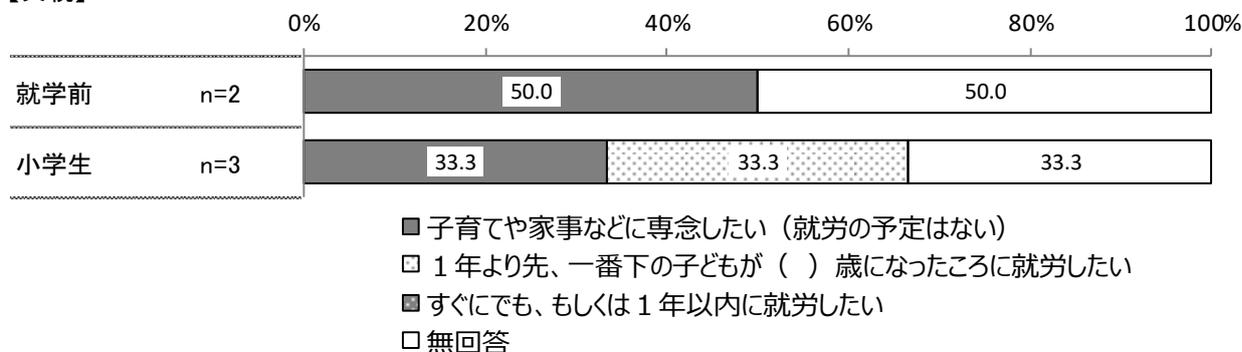
小学生では、「10歳以上」が26.2%と最も多く、次いで「7歳」(18.0%)、「3歳」「6歳」(13.1%)の順となっています。

図表 25 今後の就労希望

【母親】



【父親】

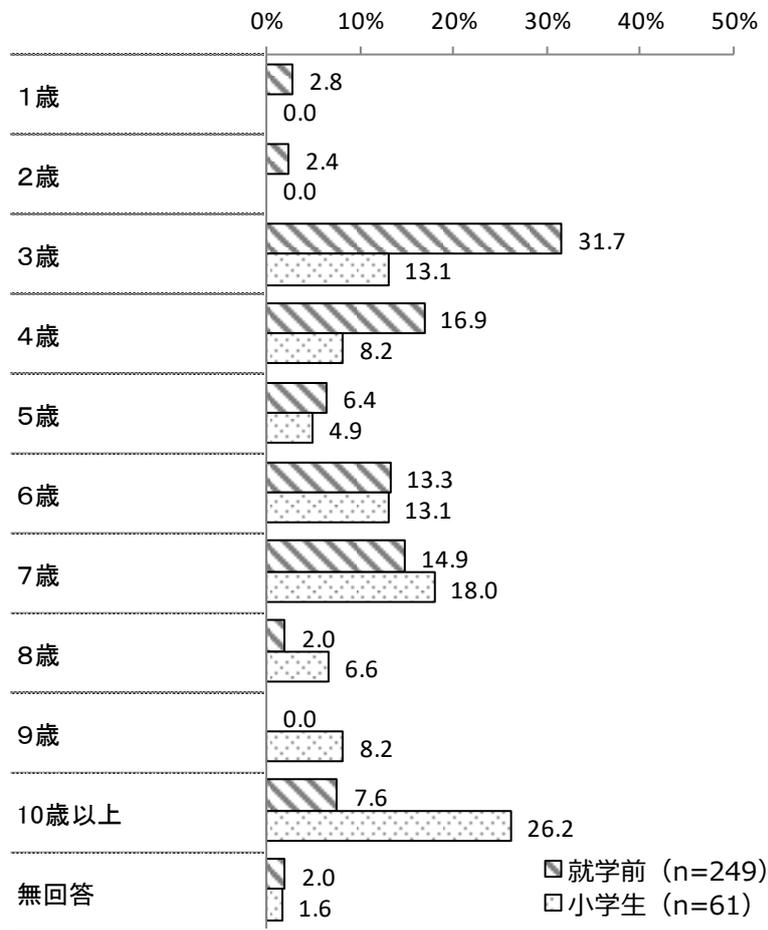


Ⅲ. 調査結果

4. 保護者の就労状況について

図表 26 希望する就労時期の一番下の子どもの年齢

【母親】



【父親】

就学前 (n=0)、小学生 (n=1) : 10歳以上

＜希望する就労形態＞

『(5) 今後の就労希望』で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方のみ

＜単数回答・数量回答＞

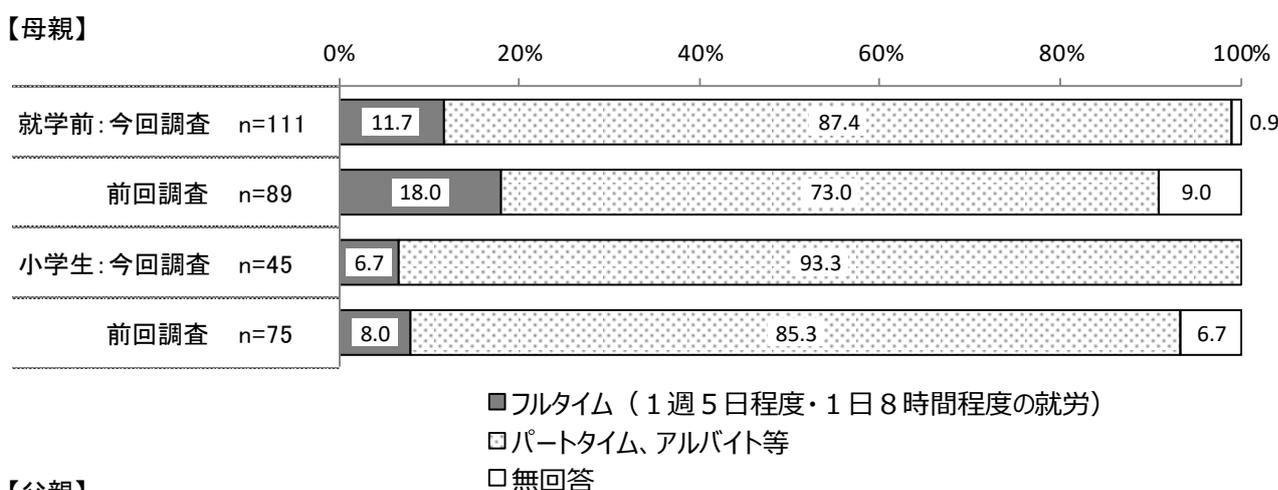
母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が、就学前で87.4%、小学生で93.3%となっています。

1週当たりの希望就労日数は、「3日」が、就学前で53.6%、小学生で57.1%と最も多くなっています。

1日当たりの希望就労時間は、就学前では、「5時間」が40.2%と最も多く、次いで「4時間」(36.1%)の順となっており、小学生では、「4時間」「5時間」が40.5%と最も多くなっています。

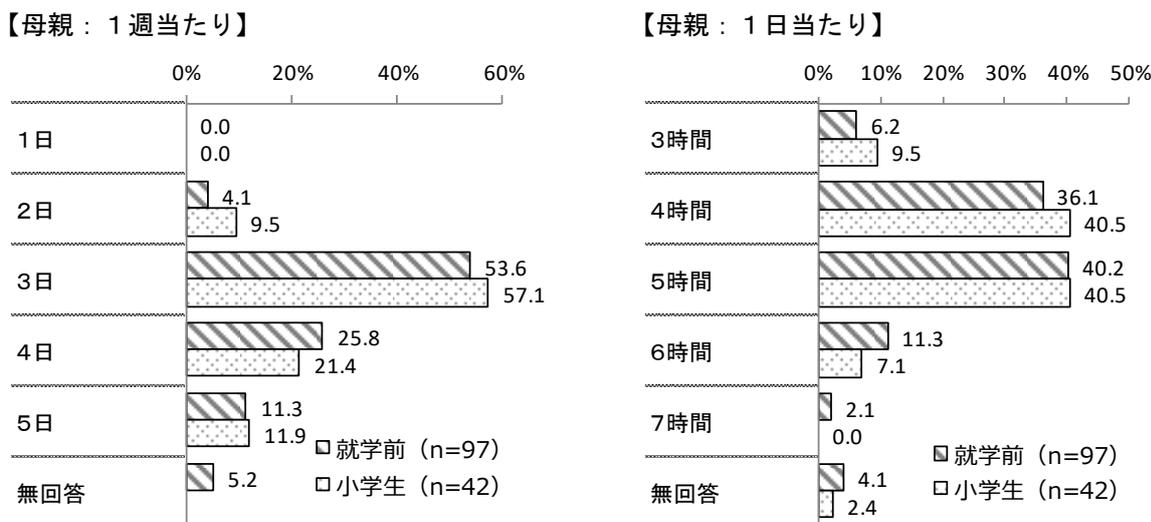
前回調査と比較すると、就学前では「パートタイム、アルバイト等」が増加しています。

図表 27 希望する就労形態 前回調査との比較



【父親】
就学前 (n=0)、小学生 (n=0)

図表 28 希望する就労日数・時間



【父親】
就学前 (n=0)、小学生 (n=0)

Ⅲ. 調査結果

5. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

5. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況

問 お子さんは現在、定期的に幼稚園や保育所など子どもを預かる施設やサービスを利用していますか。

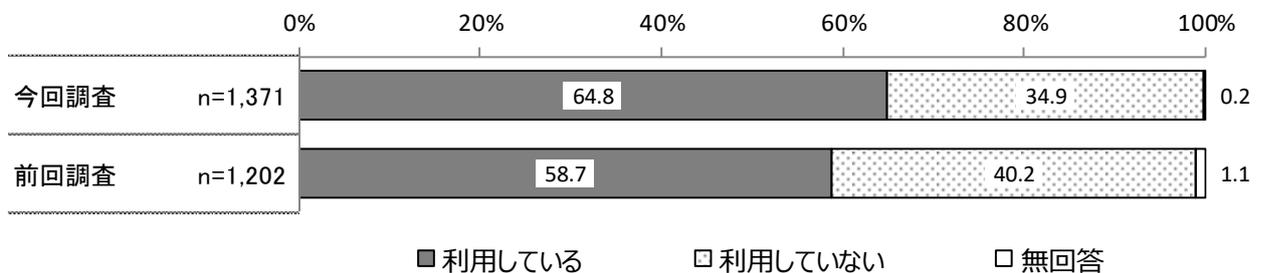
【就学前：問 16】

〈単数回答〉

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が64.8%、「利用していない」が34.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用している」人は6.1ポイント増加しています。

図表 29 定期的な教育・保育事業の利用状況 前回調査との比較（就学前）



図表 30 子どもの年齢×定期的な教育・保育事業の利用状況

(上段：件数、下段：%)

		調査数	問16 定期的に幼稚園や保育所などを利用していますか。		
			利用している	利用していない	無回答
調査数		1,371	889	479	3
		100.0	64.8	34.9	0.2
問3 お子さんの年齢	0歳	242	35	206	1
		100.0	14.5	85.1	0.4
	1歳	226	83	143	-
		100.0	36.7	63.3	-
	2歳	221	106	114	1
		100.0	48.0	51.6	0.5
	3歳	224	217	7	-
		100.0	96.9	3.1	-
4歳	223	221	1	1	
	100.0	99.1	0.4	0.4	
5歳	212	211	1	-	
	100.0	99.5	0.5	-	
無回答	23	16	7	-	
	100.0	69.6	30.4	-	

(2) 定期的にご利用している教育・保育事業

『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ

問 お子さんは、平日どのような施設やサービスを利用していますか。

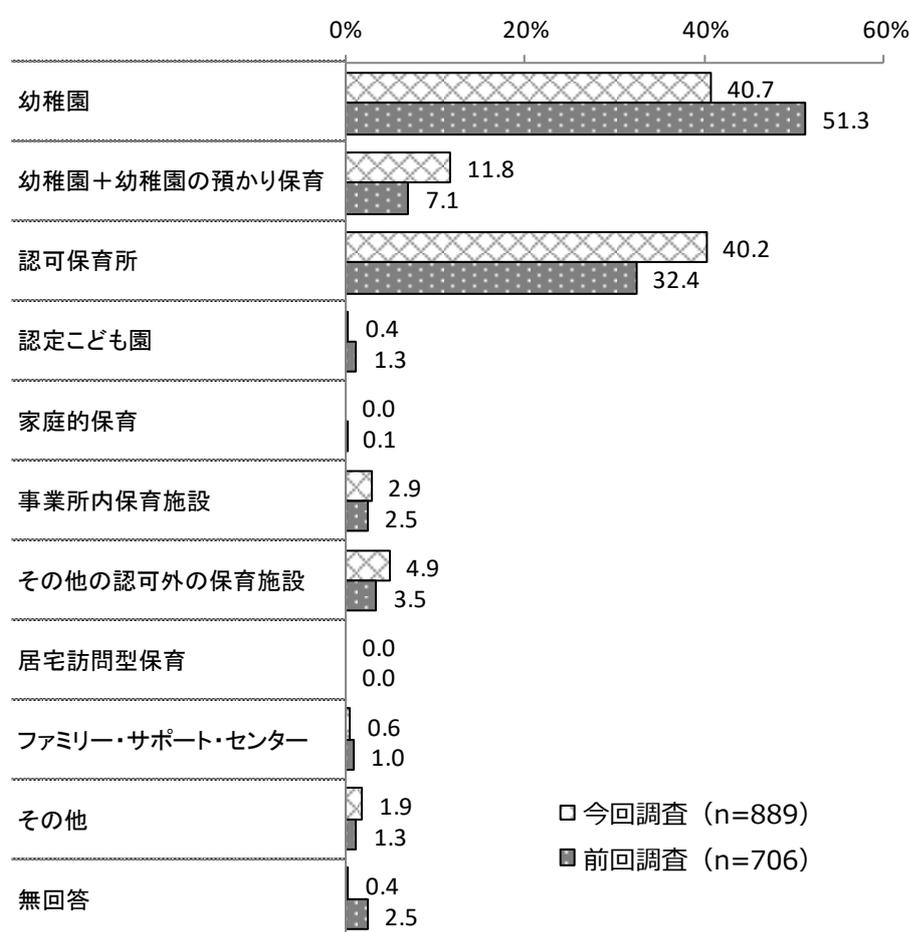
【就学前：問 16-1】

〈複数回答〉

定期的にご利用している教育・保育事業は、「幼稚園」が 40.7%と最も多く、次いで「認可保育所」(40.2%)、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」(11.8%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「幼稚園」が51.3%から40.7%へ減少していますが、「認可保育所」が32.4%から40.2%へ増加、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」も7.1%から11.8%へ増加しており、幼稚園の減少分がその他の項目へ分散していることがうかがえます。

図表 31 定期的にご利用している教育・保育事業（就学前） 前回調査との比較



Ⅲ. 調査結果

5. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

図表 32 子どもの年齢×定期的に利用している教育・保育事業 (上段: 件数、下段: %)

		調査数	問16-1 平日のような施設やサービスを利用していますか。										
			幼稚園	預かり保育 幼稚園+	認可保育所	認定こども園	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の 保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・センター	その他	無回答
調査数		889	362	105	357	4	-	26	44	-	5	17	4
		100.0	40.7	11.8	40.2	0.4	-	2.9	4.9	-	0.6	1.9	0.4
問3 お子さんの年齢	0歳	35	1	-	22	-	-	5	5	-	2	1	-
		100.0	2.9	-	62.9	-	-	14.3	14.3	-	5.7	2.9	-
	1歳	83	-	1	56	1	-	8	16	-	1	1	1
		100.0	-	1.2	67.5	1.2	-	9.6	19.3	-	1.2	1.2	1.2
	2歳	106	12	1	65	1	-	5	13	-	1	8	1
		100.0	11.3	0.9	61.3	0.9	-	4.7	12.3	-	0.9	7.5	0.9
	3歳	217	113	25	77	1	-	3	4	-	-	2	1
		100.0	52.1	11.5	35.5	0.5	-	1.4	1.8	-	-	0.9	0.5
	4歳	221	119	39	67	-	-	3	3	-	-	2	-
		100.0	53.8	17.6	30.3	-	-	1.4	1.4	-	-	0.9	-
	5歳	211	109	36	65	1	-	2	3	-	1	3	1
		100.0	51.7	17.1	30.8	0.5	-	0.9	1.4	-	0.5	1.4	0.5
	無回答	16	8	3	5	-	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	50.0	18.8	31.3	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 利用日数・利用時間の現状と希望

『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ

問 平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などについて、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

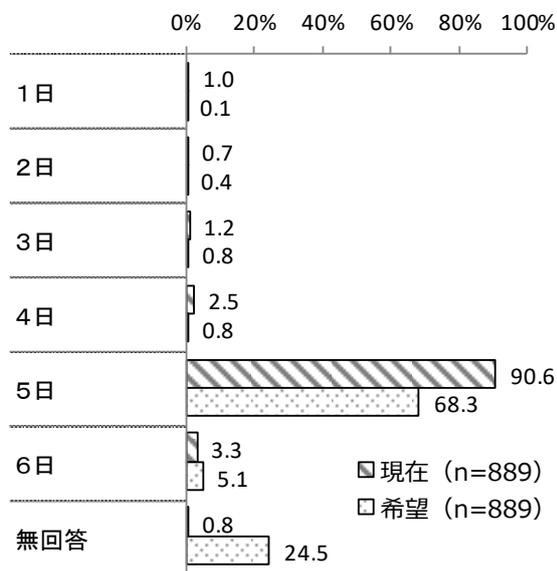
【就学前：問 16-2】

〈数量回答〉

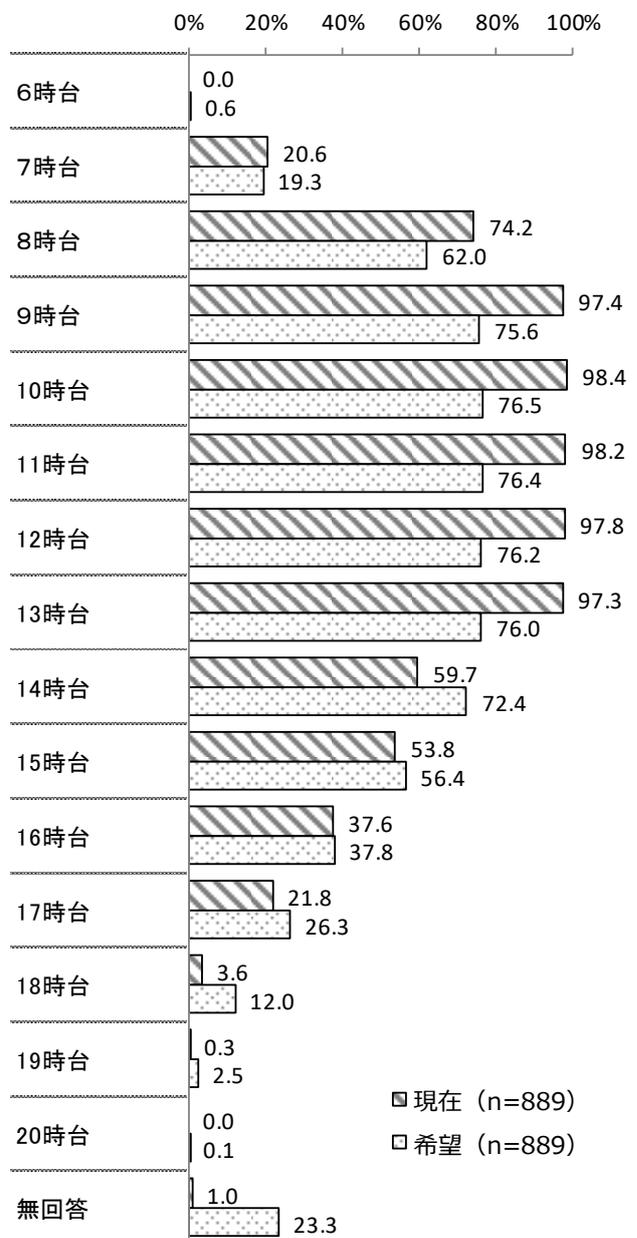
利用日数は、「5日」が、現在で90.6%、希望で68.3%と最も多くなっています。

図表 33 利用日数・利用時間の現状と希望

【1週あたりの利用日数】



【利用時間帯】



Ⅲ. 調査結果

5. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

(4) 利用している教育・保育事業の場所

『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ

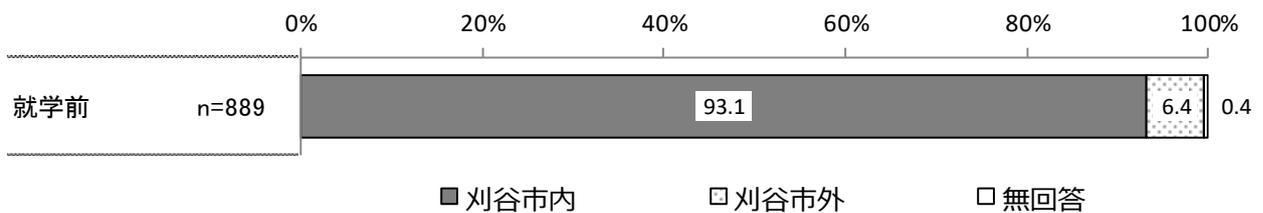
問 現在、利用している幼稚園や保育所などはどこにありますか。

【就学前：問 16-3】

〈単数回答〉

利用している教育・保育事業の場所は、「刈谷市内」が 93.1%、「刈谷市外」が 6.4%となっています。

図表 34 利用している教育・保育事業の場所



(5) 定期的な教育・保育事業を利用している理由

『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用している」と回答した方のみ

問 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用している理由は何ですか。

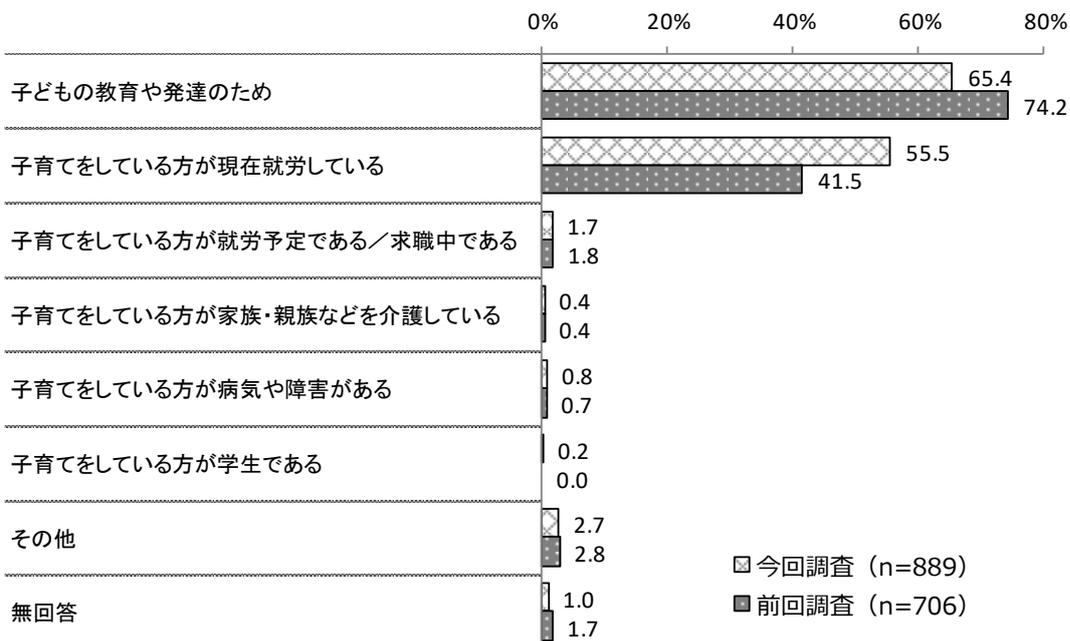
【就学前：問 16-4】

〈複数回答〉

定期的な教育・保育事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」が 65.4%と最も多く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」(55.5%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「子どもの教育や発達のため」は減少しているのに対し、「子育てをしている方が現在就労している」は増加しています。

図表 35 定期的な教育・保育事業を利用している理由 前回調査との比較



(6) 定期的な教育・保育事業を利用していない理由

『(1) 定期的な教育・保育事業の利用状況』で「利用していない」と回答した方のみ

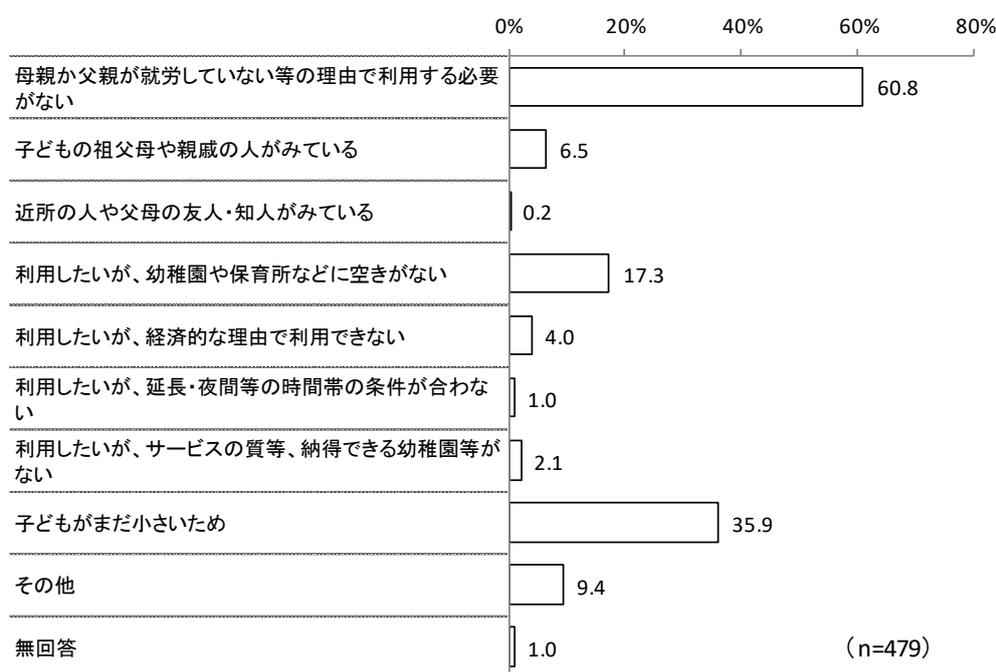
問 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用していない理由は何ですか。

【就学前：問 16-5】

〈複数回答・数量回答〉

定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「母親か父親が就労していない等の理由で利用する必要がない」が60.8%と最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」(35.9%)、「利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない」(17.3%)の順となっています。

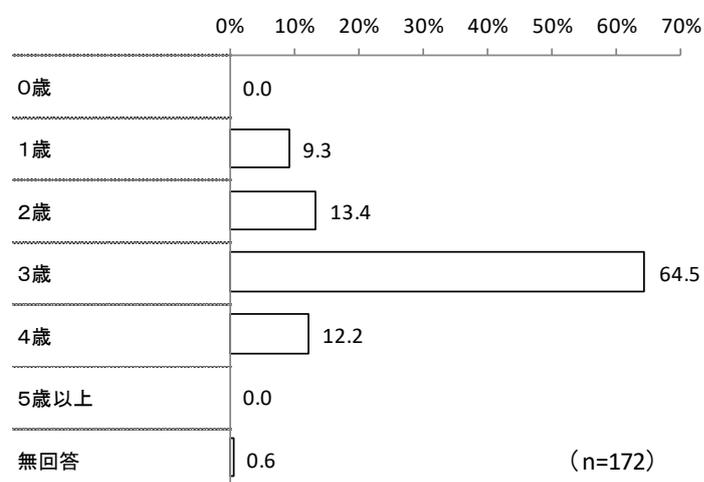
図表 36 定期的な教育・保育事業を利用していない理由



「子どもがまだ小さいため」と回答した方のみ

事業を利用しようと考えている子どもの年齢は、「3歳」が64.5%と最も多くなっています。

図表 37 事業を利用しようと考えている子どもの年齢



Ⅲ. 調査結果

5. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

(7) 定期的にご利用したい教育・保育事業

問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日利用できる施設やサービスとして、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

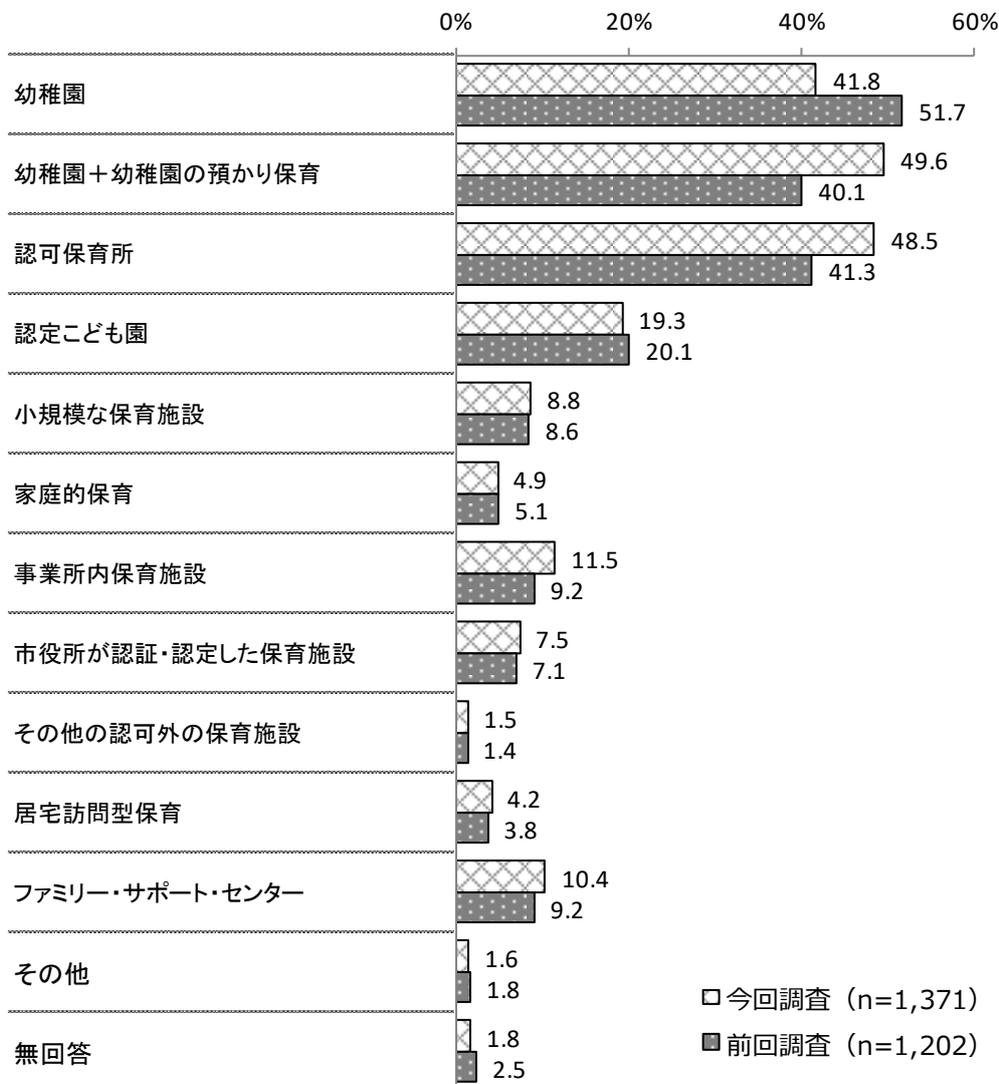
【就学前：問 17】

〈複数回答〉

定期的にご利用したい教育・保育事業は、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が49.6%と最も多く、次いで「認可保育所」(48.5%)、「幼稚園」(41.8%)、「認定こども園」(19.3%)、「事業所内保育施設」(11.5%)、「ファミリー・サポート・センター」(10.4%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「幼稚園」が51.7%から41.8%へ減少していますが、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が40.1%から49.6%へ増加、「認可保育所」が41.3%から48.5%へ増加しています。

図表 38 定期的にご利用したい教育・保育事業 前回調査との比較



5. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

図表 39 子どもの年齢×定期的に利用したい教育・保育事業 (上段：件数、下段：%)

		調査数	問17 平日利用できる施設やサービスの今後の利用意向												
			幼稚園	預かり保育 幼稚園 幼稚園の	認可保育所	認定こども園	小規模な保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	市役所が認定・認定した保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
調査数		1,371	573	680	665	264	121	67	158	103	21	58	142	22	25
		100.0	41.8	49.6	48.5	19.3	8.8	4.9	11.5	7.5	1.5	4.2	10.4	1.6	1.8
問3 お子さんの年齢	0歳	242	88	100	145	57	33	12	36	23	5	12	26	5	7
		100.0	36.4	41.3	59.9	23.6	13.6	5.0	14.9	9.5	2.1	5.0	10.7	2.1	2.9
	1歳	226	81	93	138	54	36	13	35	31	5	10	29	5	6
		100.0	35.8	41.2	61.1	23.9	15.9	5.8	15.5	13.7	2.2	4.4	12.8	2.2	2.7
	2歳	221	94	110	107	46	21	10	26	17	3	9	22	3	3
		100.0	42.5	49.8	48.4	20.8	9.5	4.5	11.8	7.7	1.4	4.1	10.0	1.4	1.4
	3歳	224	97	120	93	35	13	19	22	9	4	16	31	3	2
		100.0	43.3	53.6	41.5	15.6	5.8	8.5	9.8	4.0	1.8	7.1	13.8	1.3	0.9
	4歳	223	106	124	87	33	10	6	17	8	-	6	16	2	4
		100.0	47.5	55.6	39.0	14.8	4.5	2.7	7.6	3.6	-	2.7	7.2	0.9	1.8
	5歳	212	100	119	84	35	7	7	19	12	4	5	18	4	2
		100.0	47.2	56.1	39.6	16.5	3.3	3.3	9.0	5.7	1.9	2.4	8.5	1.9	0.9
	無回答	23	7	14	11	4	1	-	3	3	-	-	-	-	1
		100.0	30.4	60.9	47.8	17.4	4.3	-	13.0	13.0	-	-	-	-	4.3

Ⅲ. 調査結果

5. 平日の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況について

(8) 教育・保育事業を利用したい場所

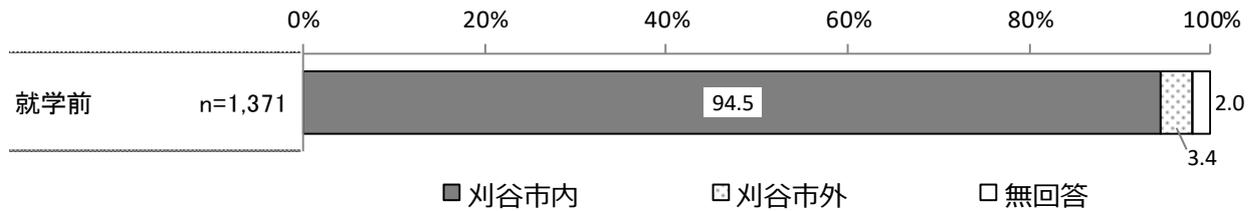
問 幼稚園や保育所などを利用したい場所はどこですか。

【就学前：問 17-1】

<単数回答>

教育・保育事業を利用したい場所は、「刈谷市内」が94.5%、「刈谷市外」が3.4%となっています。

図表 40 教育・保育事業を利用したい場所



(9) 幼稚園の利用希望の有無

『(7) 定期的に利用したい教育・保育事業』で「幼稚園」または「幼稚園+幼稚園の預かり保育」を回答し、かつそれ以外の選択肢のいずれかにも回答した方のみ

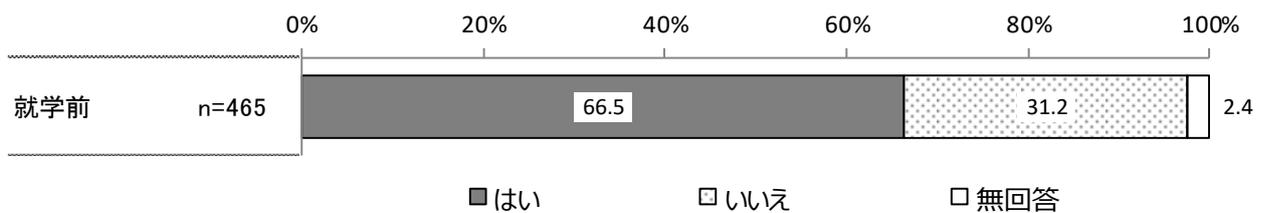
問 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

【就学前：問 17-2】

<単数回答>

幼稚園の利用希望の有無は、「はい」が66.5%となっています。

図表 41 幼稚園の利用希望の有無



6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

問 お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」「子育て広場」等）を利用していますか。

【就学前：問 18】

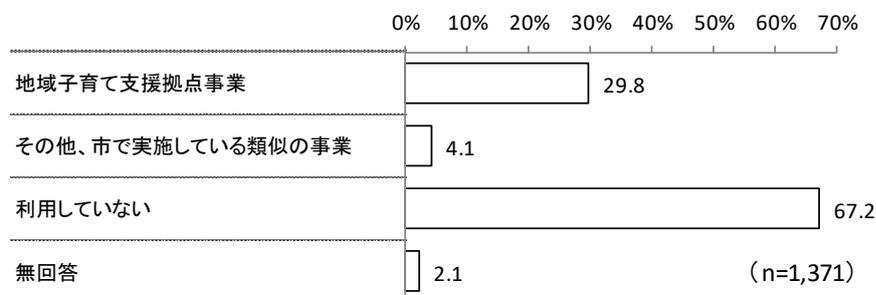
〈複数回答・数量回答〉

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が67.2%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業」(29.8%)、「その他、市で実施している類似の事業」(4.1%)の順となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、「月1回」が29.7%と最も多くなっています。

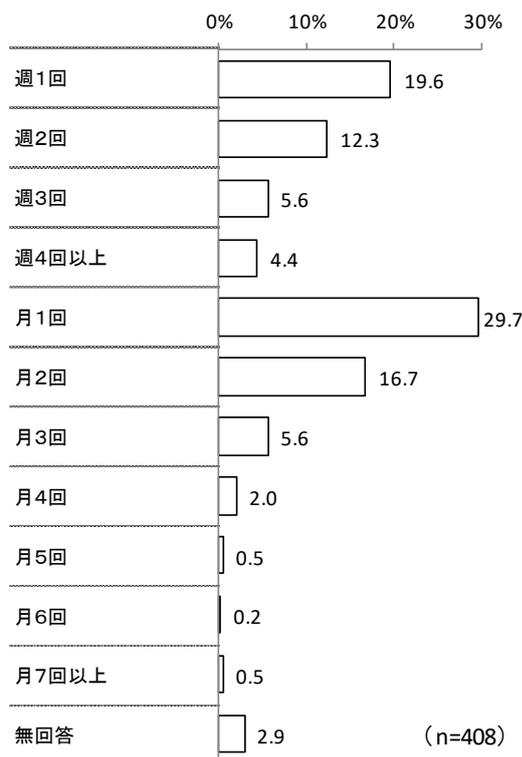
その他、市で実施している類似の事業の利用回数は、「月1回」が44.6%と最も多くなっています。

図表 42 地域子育て支援拠点事業の利用状況

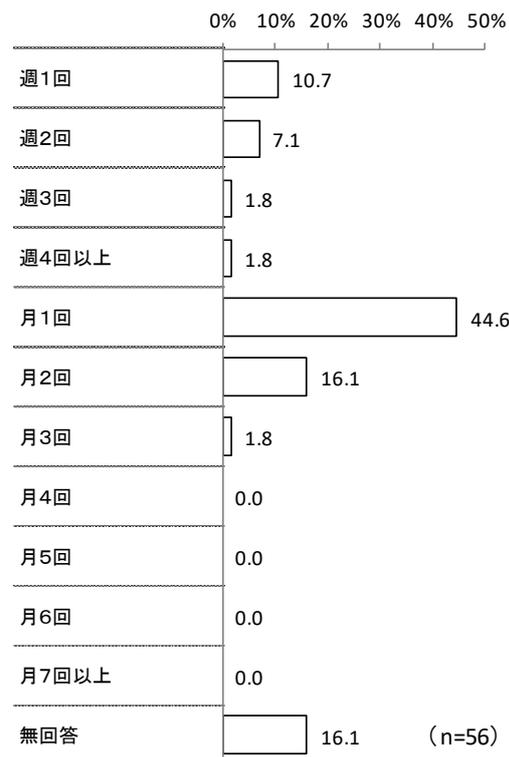


図表 43 地域子育て支援拠点事業の利用回数

【地域子育て支援拠点事業の利用回数】



【その他、市で実施している類似の事業の利用回数】



Ⅲ. 調査結果

6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

(2) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

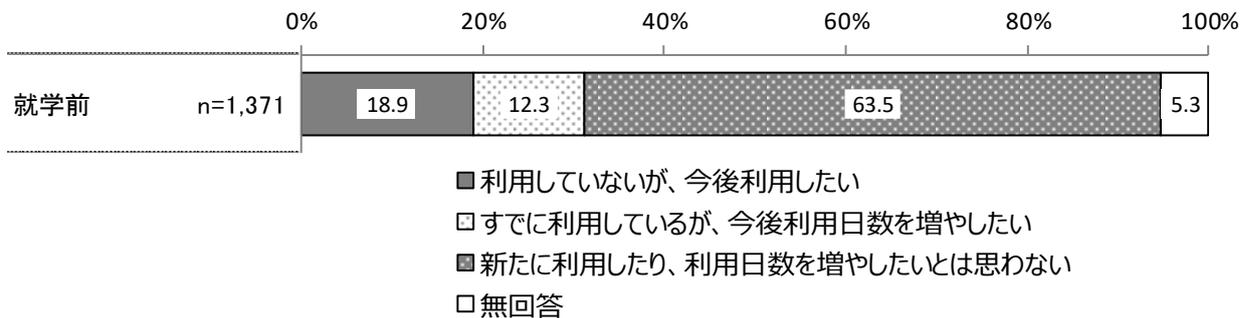
問 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。

【就学前：問 19】

<単数回答・数量回答>

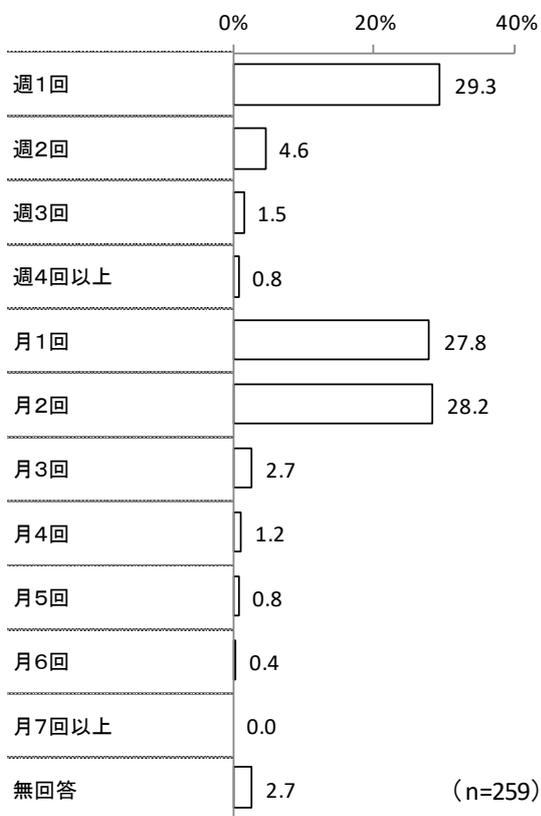
地域子育て支援拠点事業の利用希望は、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が63.5%と最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(18.9%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(12.3%)の順となっています。

図表 44 地域子育て支援拠点事業の利用希望

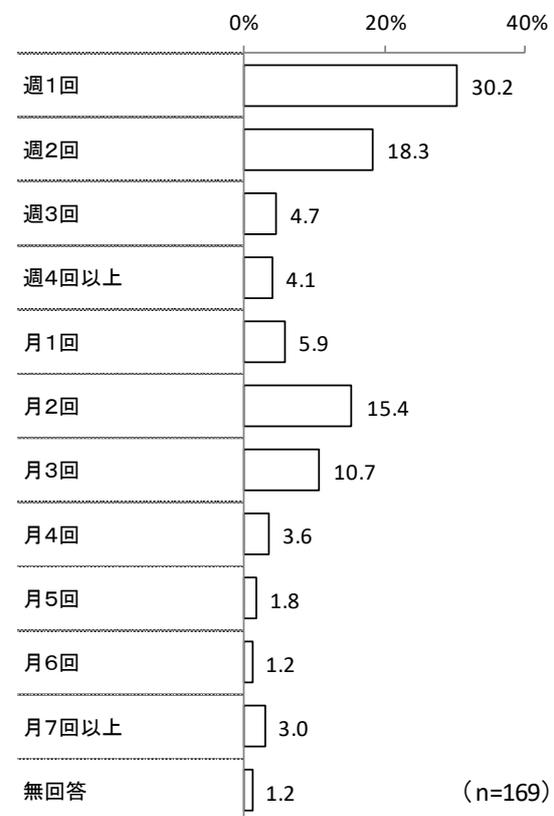


図表 45 地域子育て支援拠点事業の利用希望日数

【利用していないが、今後利用したい日数】



【すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい日数】



7. 土曜・休日や長期休業期間中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 お子さんについて、土曜日、日曜日、祝日それぞれに、定期的な幼稚園や保育所などの利用希望はありますか。

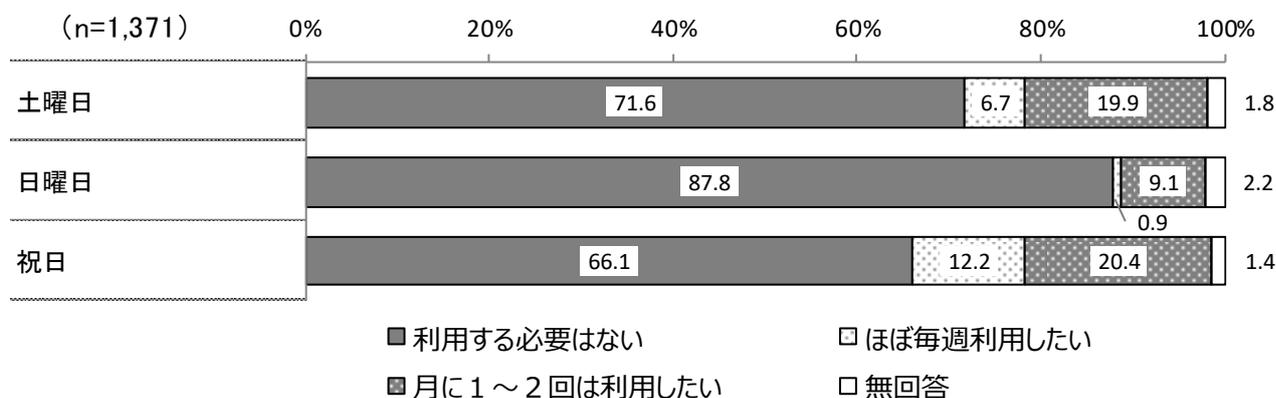
【就学前：問 20】

<単数回答・数量回答>

土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、“利用したい”と回答した方が、土曜日で26.6%、日曜日で10.0%、祝日で32.6%となっています。

※ “利用したい”は「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせたもの

図表 46 土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

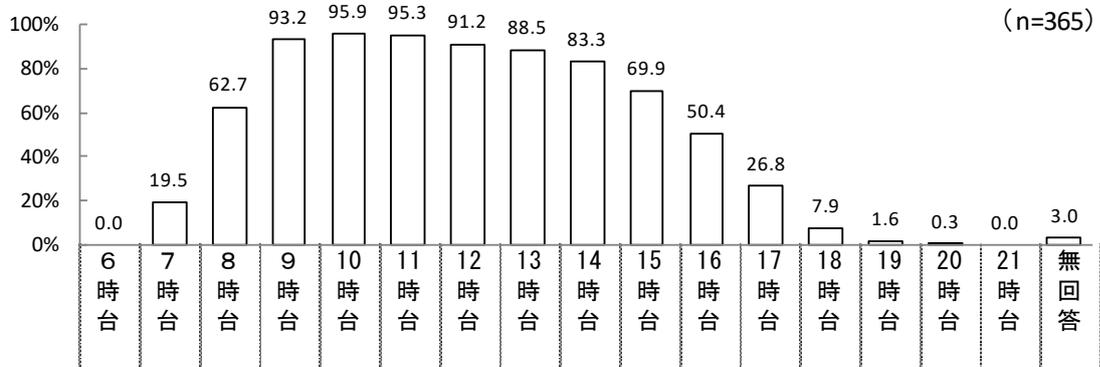


Ⅲ. 調査結果

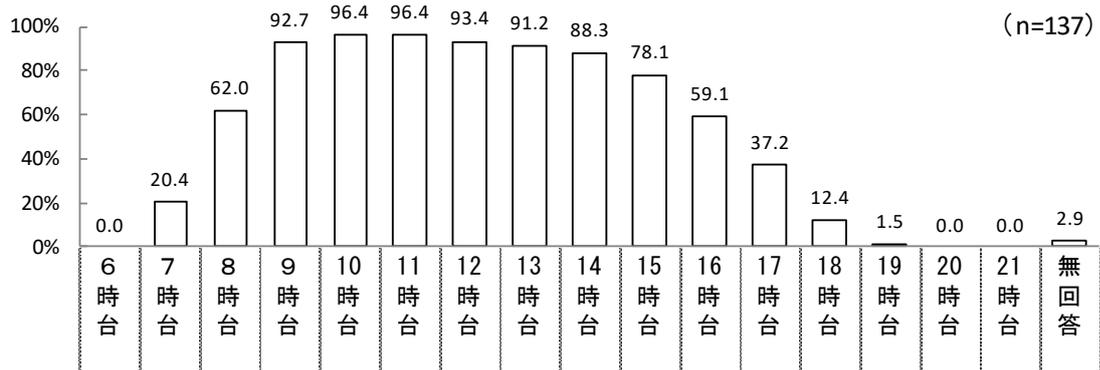
7. 土曜・休日や長期休業期間中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

図表 47 土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用したい時間帯

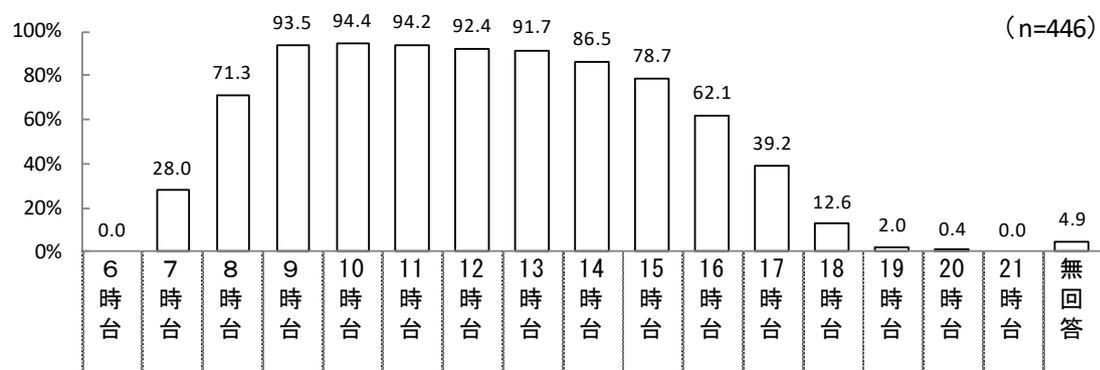
【土曜日】



【日曜日】



【祝日】



7. 土曜・休日や長期休業期間中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(2) 土曜日、日曜日、祝日にたまに利用したい理由

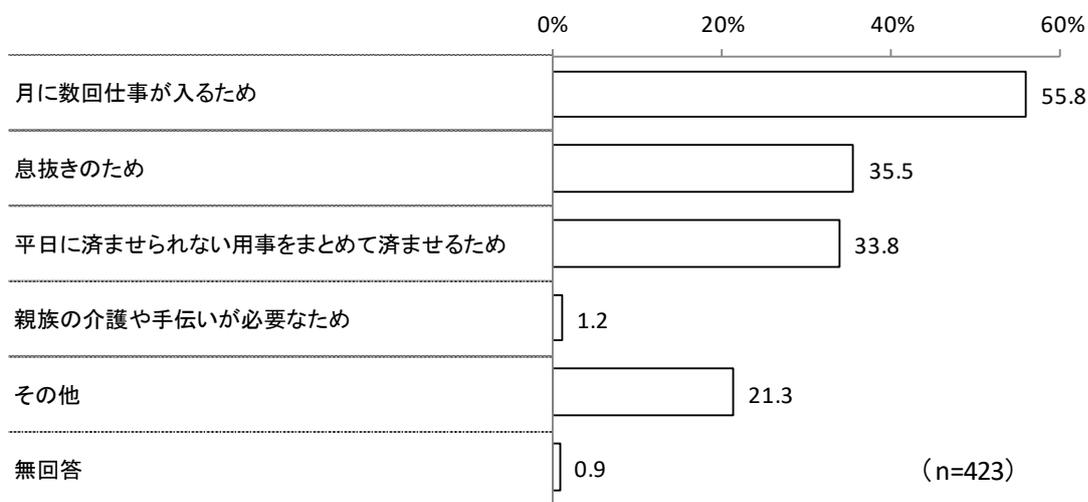
『(1) 土曜日、日曜日、祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望』の土曜日、日曜日、祝日のいずれかで「月に1～2回は利用したい」と回答した方のみ

問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。 【就学前：問 20-1】

〈複数回答〉

土曜日、日曜日、祝日にたまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が55.8%と最も多く、次いで「息抜きのため」(35.5%)、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(33.8%)、の順となっています。

図表 48 土曜日、日曜日、祝日にたまに利用したい理由



Ⅲ. 調査結果

7. 土曜・休日や長期休業期間中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(3) 長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望

幼稚園を利用している方のみ

問 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の幼稚園や保育所などの利用を希望しますか。

【就学前：問21】

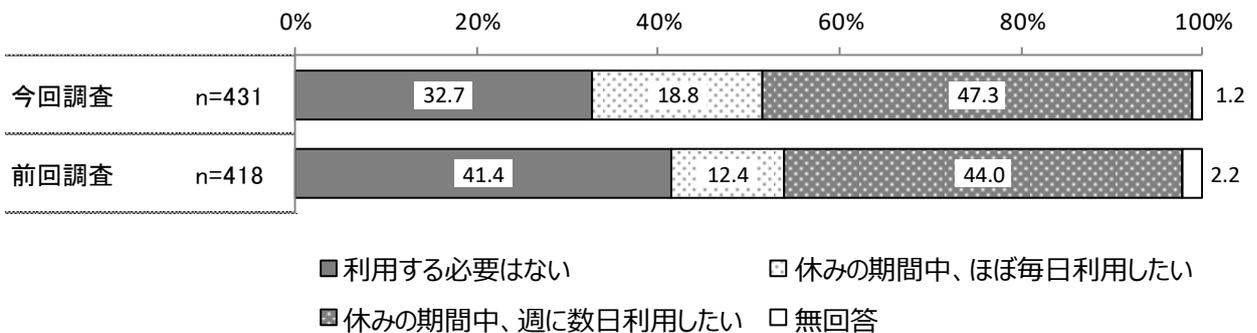
<単数回答・数量回答>

長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望は、“利用したい”と回答した方が、66.1%となっています。

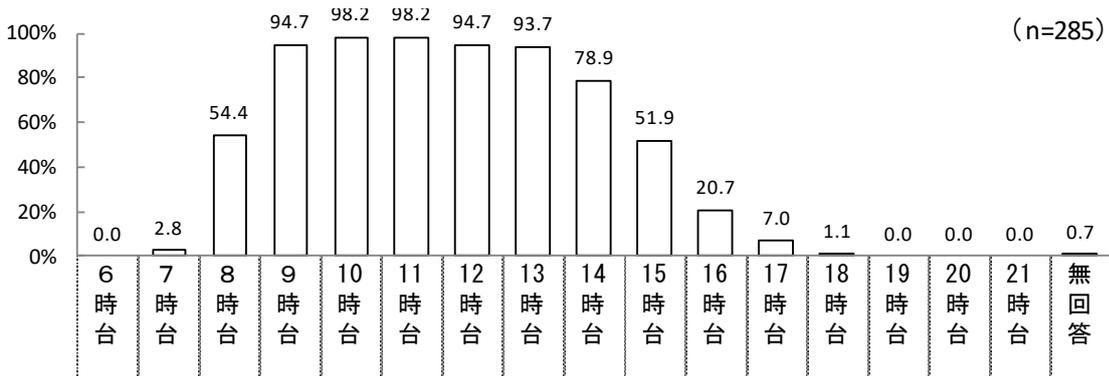
前回調査と比較すると、利用したい人は増加しています。

※ “利用したい”は「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせたもの

図表 49 長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望 前回調査との比較



図表 50 長期休業期間中の教育・保育事業の利用したい時間帯



(4) 長期休業期間中にたまに利用したい理由

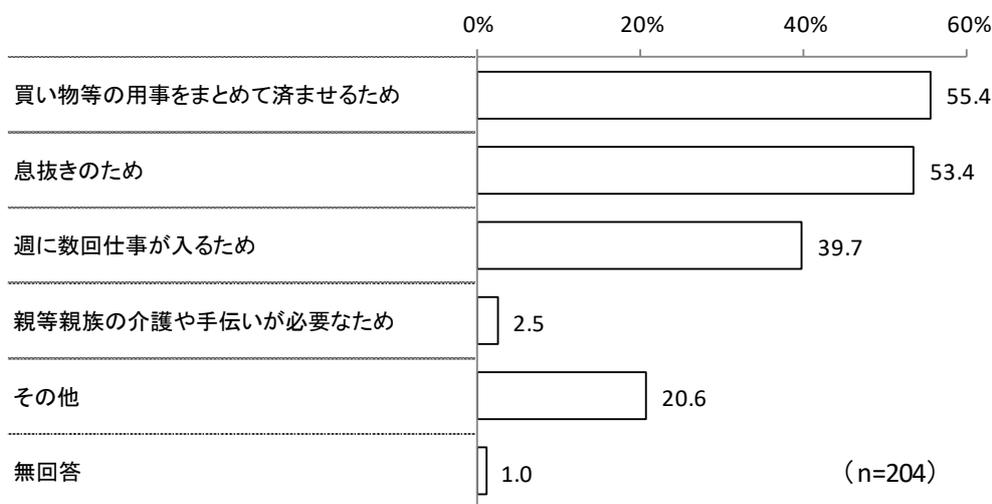
『(3) 長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望』で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方のみ

問 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。 【就学前：問 21-1】

〈複数回答〉

長期休業期間中にたまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 55.4% と最も多く、次いで「息抜きのため」(53.4%)、「週に数回仕事が入るため」(39.7%) の順となっています。

図表 51 長期休業期間中にたまに利用したい理由



Ⅲ. 調査結果

8. 病気の際の対応について

8. 病気の際の対応について

(1) 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無

就学前は、平日の教育・保育を利用する方のみ

問 この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所などが利用できなかった（学校を休んだ）ことはありますか。

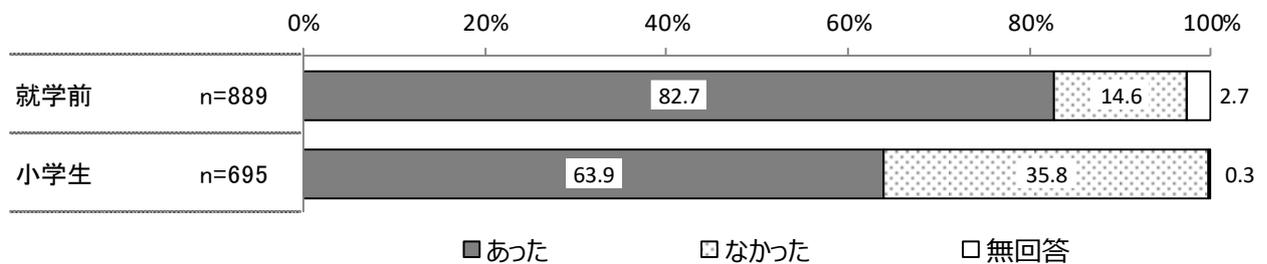
【就学前：問 22、小学生：問 14】

〈単数回答〉

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無は、就学前では、「あった」が82.7%、「なかった」が14.6%となっています。

小学生では、「あった」が63.9%、「なかった」が35.8%となっています。

図表 52 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無



(2) 教育・保育事業が利用できなかった時の対応

『(1) 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことの有無』で「あった」と回答した方のみ

問 お子さんが病気やけがで普段利用している幼稚園や保育所などが利用できなかった（学校を休んだ）場合に、この1年間に行った対応は何ですか。

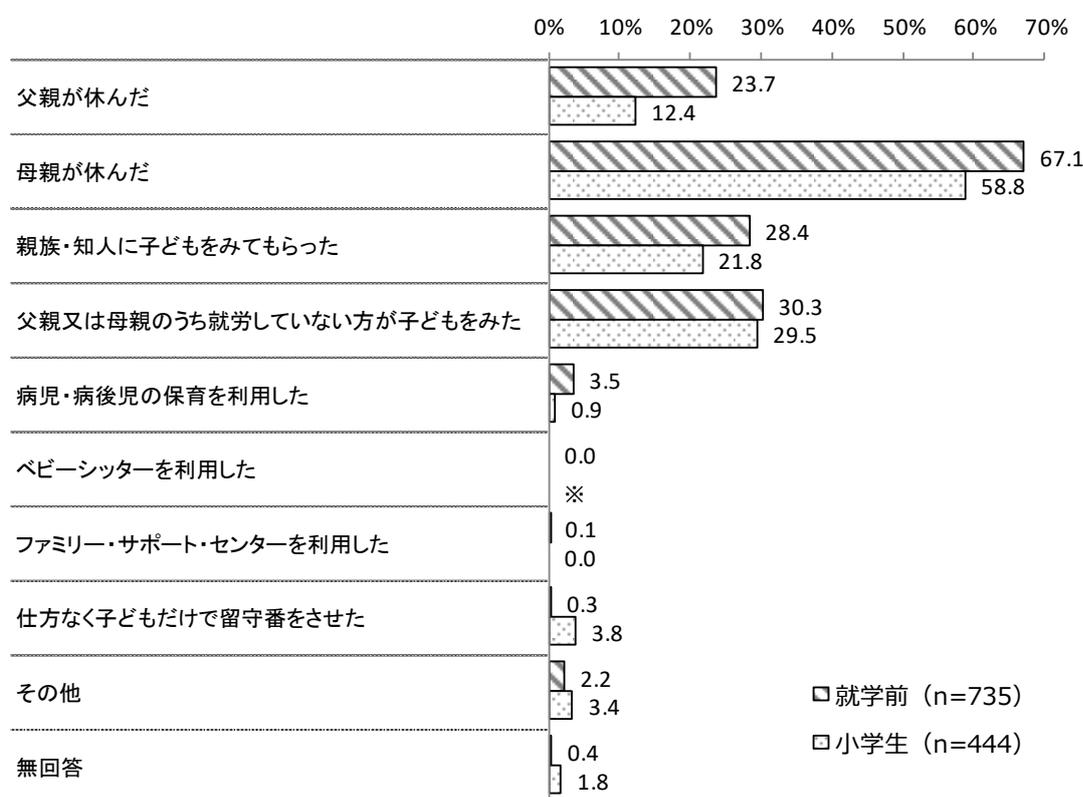
【就学前：問 22-1、小学生：問 14-1】

<単数回答・数量回答>

教育・保育事業が利用できなかった時の対応は、就学前では、「母親が休んだ」が67.1%と最も多く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(30.3%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(28.4%)、「父親が休んだ」(23.7%)の順となっています。

小学生でも、「母親が休んだ」が58.8%と最も多く、次いで「父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもをみた」(29.5%)、「親族・知人に子どもをみてもらった」(21.8%)、「父親が休んだ」(12.4%)の順となっています。

図表 53 教育・保育事業が利用できなかった時の対応



※小学生該当なし

Ⅲ. 調査結果

8. 病気の際の対応について

図表 54 教育・保育事業が利用できなかった時の対応（1年当たりの日数）

【就学前】

（上段：件数、下段：％）

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31日以上	無回答
父親が休んだ	174 100.0	125 71.8	27 15.5	3 1.7	6 3.4	2 1.1	1 0.6	-	-	10 5.7
母親が休んだ	493 100.0	182 36.9	123 24.9	41 8.3	74 15.0	6 1.2	19 3.9	11 2.2	5 1.0	32 6.5
親族・知人に子どもをみてもらった	209 100.0	103 49.3	44 21.1	10 4.8	25 12.0	5 2.4	7 3.3	2 1.0	1 0.5	12 5.7
父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもをみた	223 100.0	73 32.7	52 23.3	14 6.3	37 16.6	6 2.7	15 6.7	5 2.2	1 0.4	20 9.0
病児・病後児の保育を利用した	26 100.0	17 65.4	3 11.5	3 11.5	1 3.8	-	-	-	-	2 7.7
ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番させた	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	16 100.0	6 37.5	4 25.0	2 12.5	3 18.8	1 6.3	-	-	-	-

【小学生】

（上段：件数、下段：％）

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31日以上	無回答
父親が休んだ	55 100.0	45 81.8	6 10.9	1 1.8	-	-	-	-	-	3 5.5
母親が休んだ	261 100.0	169 64.8	53 20.3	10 3.8	12 4.6	2 0.8	-	-	1 0.4	14 5.4
親族・知人に子どもをみてもらった	97 100.0	75 77.3	13 13.4	2 2.1	3 3.1	-	-	1 1.0	-	3 3.1
父親又は母親のうち就労をしていない方が子どもをみた	131 100.0	77 58.8	26 19.8	7 5.3	5 3.8	2 1.5	2 1.5	-	1 0.8	11 8.4
病児・病後児の保育を利用した	4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センターを利用した	17 100.0	15 88.2	-	-	-	-	-	-	-	2 11.8
仕方なく子どもだけで留守番させた	15 100.0	7 46.7	4 26.7	-	-	-	-	-	-	4 26.7
その他	16 100.0	6 37.5	4 25.0	2 12.5	3 18.8	1 6.3	-	-	-	-

(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望

『(2) 教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法』で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を回答した方のみ

問 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。

【就学前：問 22-2、小学生：問 14-2】

〈単数回答・数量回答〉

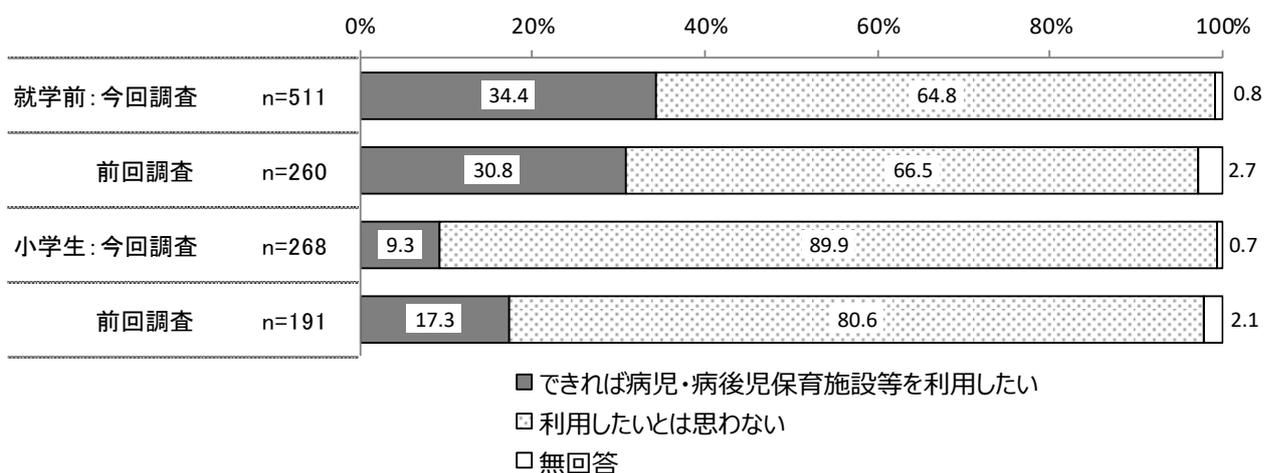
病児・病後児保育施設等の利用希望は、就学前では、「利用したいとは思わない」が 64.8%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 34.4%となっています。

小学生では、「利用したいとは思わない」が 89.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 9.3%となっています。

年間利用希望日数は、就学前では、「5日」が 21.0%と最も多く、小学生では、「1日」「3日」が 24.0%と最も多くなっています。

前回調査と比較すると、利用したい人は就学前では微増、小学生では減少しています。

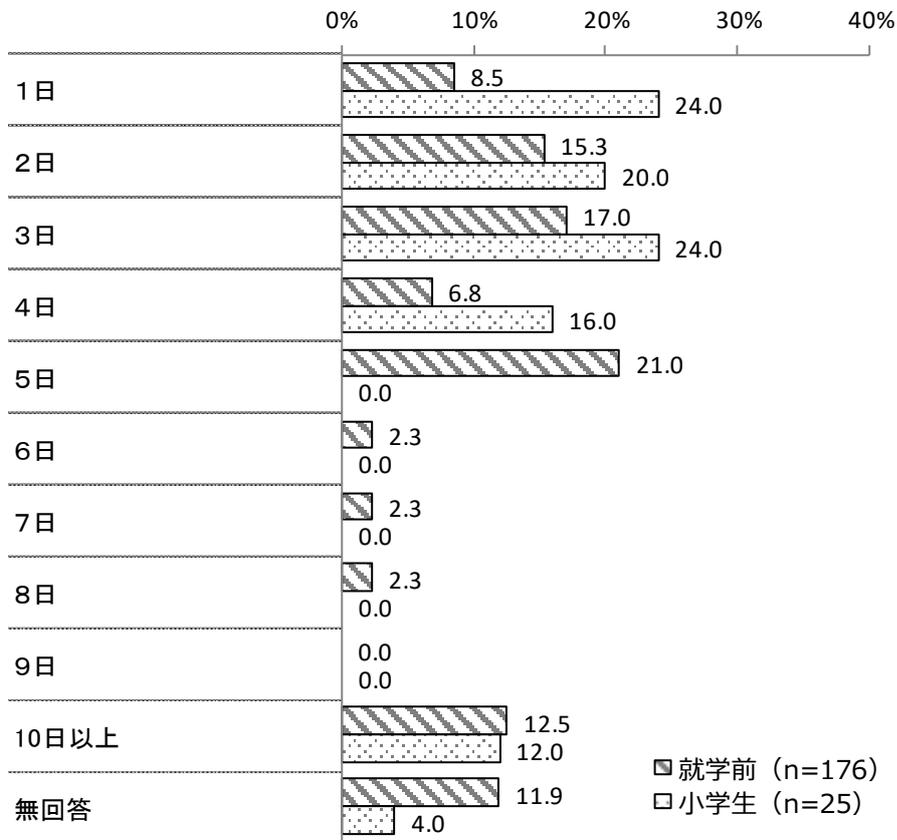
図表 55 病児・病後児保育施設等の利用希望 前回調査との比較



Ⅲ. 調査結果

8. 病気の際の対応について

図表 56 病児・病後児保育施設等の年間利用希望日数



(4) 病児・病後児保育施設等の事業形態の希望

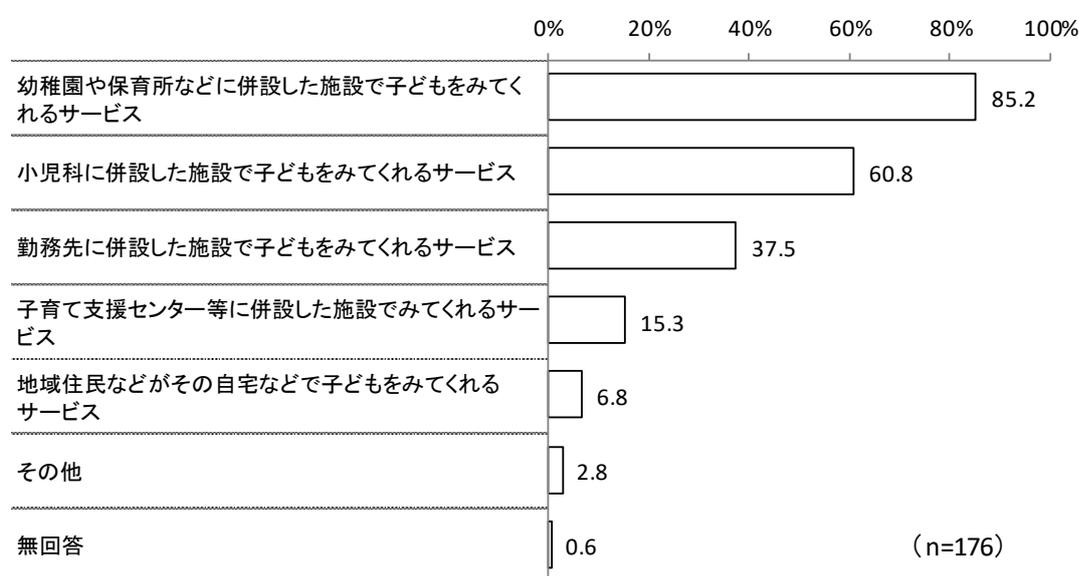
『(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望』で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方のみ

問 病児・病後児保育施設等を利用する場合、どのようなサービスが望ましいと思いますか。
 【就学前：問 22-3】

〈複数回答〉

病児・病後児保育施設等の事業形態の希望は、「幼稚園や保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス」が 85.2%と最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス」(60.8%)、「勤務先に併設した施設で子どもをみてるサービス」(37.5%)の順となっています。

図表 57 病児・病後児保育施設等の事業形態の希望



Ⅲ. 調査結果

8. 病気の際の対応について

(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由

『(3) 病児・病後児保育施設等の利用希望』で「利用したいとは思わない」と回答した方のみ

問 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は何ですか。

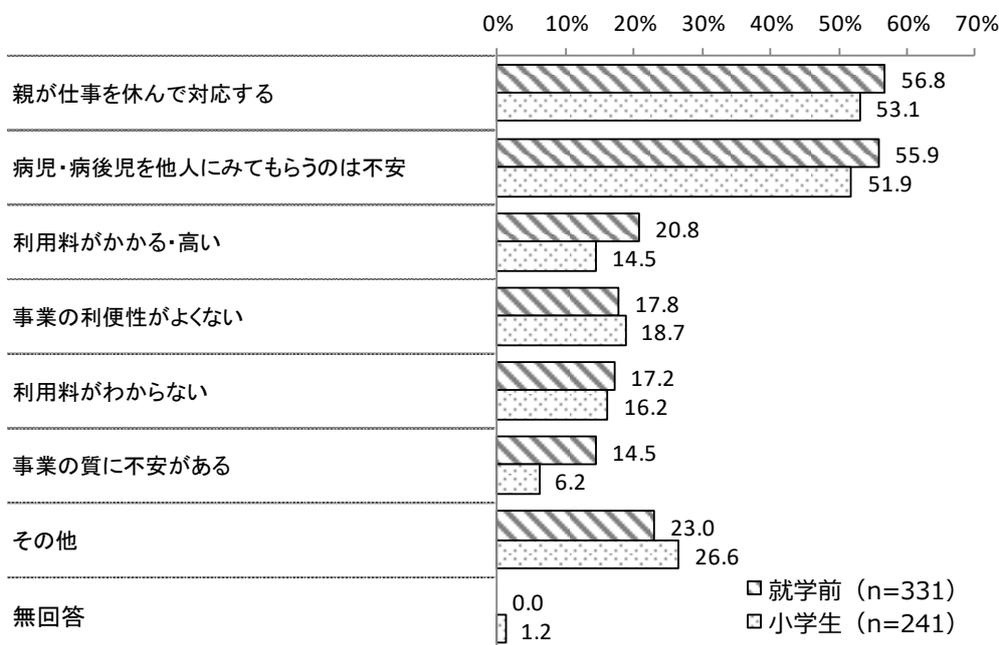
【就学前：問 22-4、小学生：問 14-3】

〈複数回答〉

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由は、就学前では、「親が仕事を休んで対応する」が56.8%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(55.9%)の順となっています。

小学生でも、「親が仕事を休んで対応する」が53.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(51.9%)の順となっています。

図表 58 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由



(6) 父母が仕事を休んで子どもをみたかったことの有無

『(2) 教育・保育事業が利用できなかった時の対処方法』で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」以外を回答した方のみ

問 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思いましたか。

【就学前：問 22-5、小学生：問 14-4】

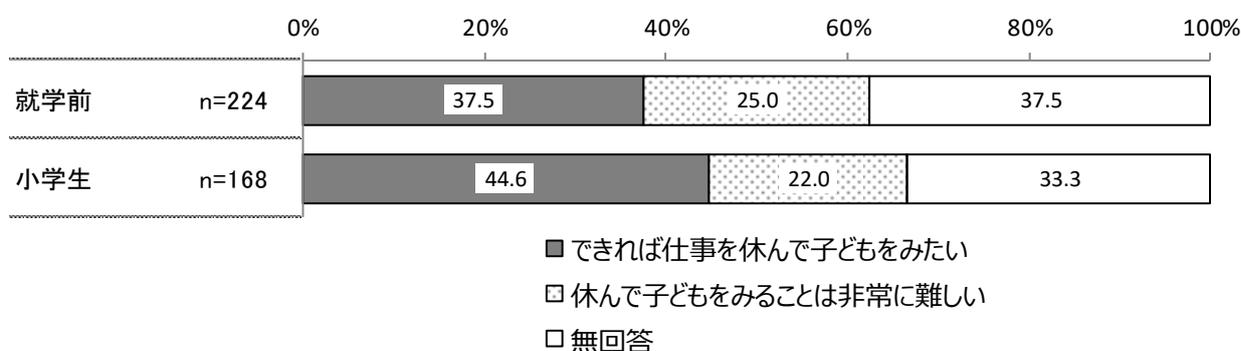
〈単数回答・数量回答〉

父母が仕事を休んで子どもをみたかったことの有無は、就学前では、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が37.5%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が25.0%となっています。

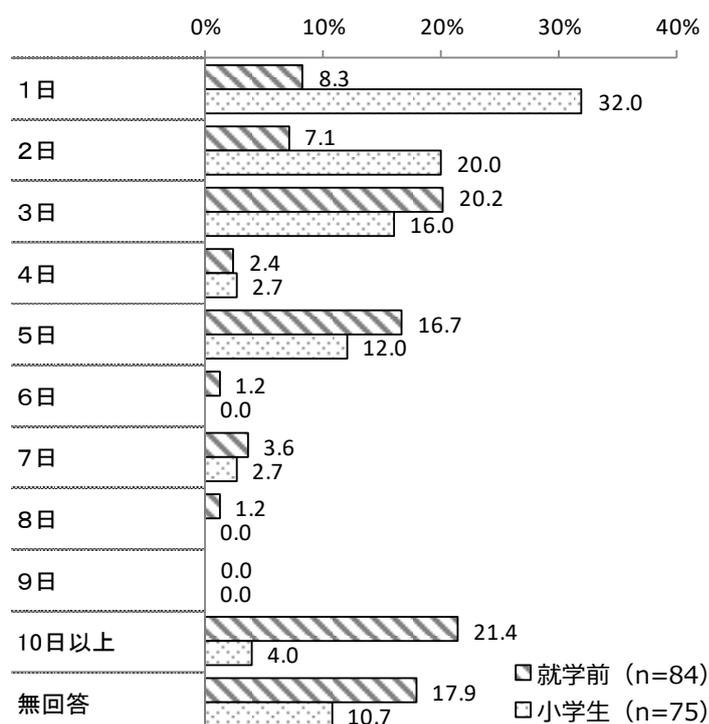
小学生では、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が44.6%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」が22.0%となっています。

年間希望日数は、就学前では、「10日以上」が21.4%と最も多く、小学生では、「1日」が32.0%と最も多くなっています。

図表 59 父母が仕事を休んで子どもをみたかったことの有無



図表 60 父母が仕事を休んで子どもをみたかった年間希望日数



Ⅲ. 調査結果

8. 病気の際の対応について

(7) 仕事を休んで子どもをみるのが難しい理由

『(6) 父母が仕事を休んで子どもをみたかったことの有無』で「休んで子どもをみることは非常に難しい」と回答した方のみ

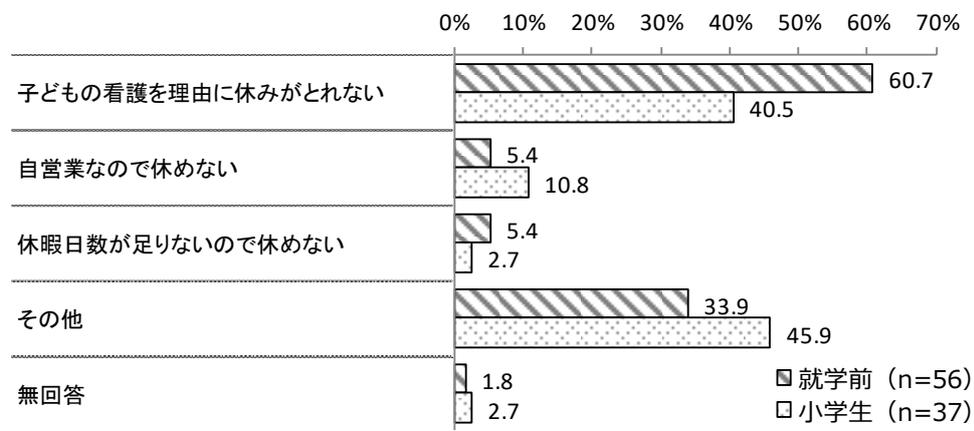
問 父母が仕事を休んで子どもをみることは非常に難しいと思う理由は何ですか。

【就学前：問 22-6、小学生：問 14-5】

〈複数回答〉

仕事を休んで子どもをみるのが難しい理由は、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が就学前で60.7%、小学生で40.5%と最も高くなっています。

図表 61 仕事を休んで子どもをみるのが難しい理由



9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

(1) 不定期に利用している一時預かり等の事業

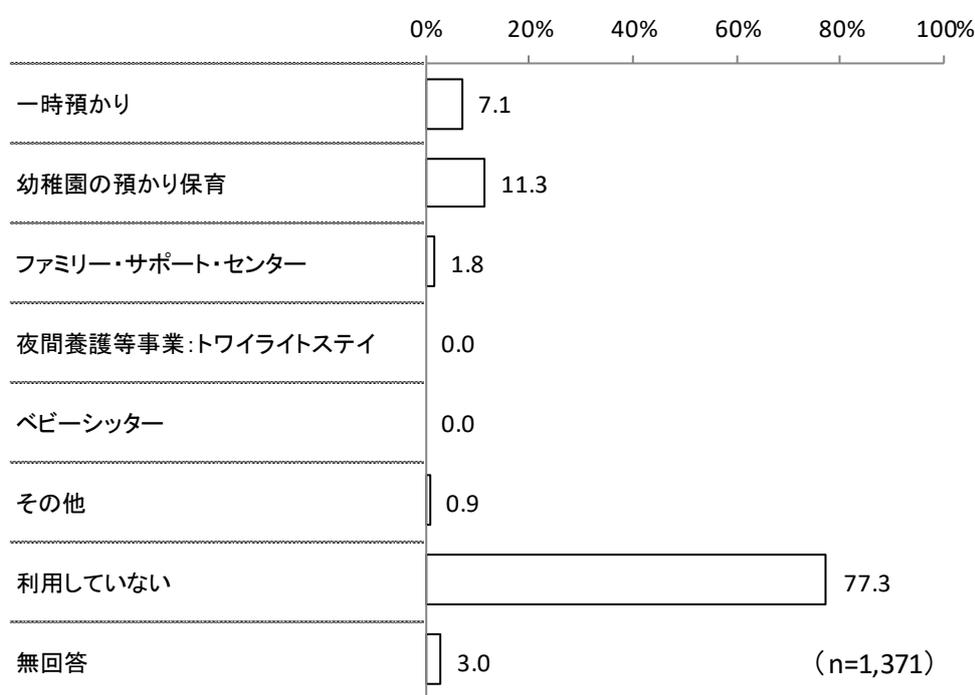
問 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。

【就学前：問 23】

〈複数回答・数量回答〉

不定期に利用している一時預かり等の事業は、「幼稚園の預かり保育」(11.3%)、「一時預かり」(7.1%)、「ファミリー・サポート・センター」(1.8%)の順となっています。

図表 62 不定期に利用している一時預かり等の事業



図表 63 不定期に利用している一時預かり等の事業(1年当たりの日数) (上段:件数、下段:%)

	合計	1~3日	4~6日	7~9日	10~12日	13~15日	16~20日	21~30日	31日以上	無回答
一時預かり	97	30	7	1	16	3	6	12	16	6
	100.0	30.9	7.2	1.0	16.5	3.1	6.2	12.4	16.5	6.2
幼稚園の預かり保育	155	55	23	7	18	7	7	10	21	7
	100.0	35.5	14.8	4.5	11.6	4.5	4.5	6.5	13.5	4.5
ファミリー・サポート・センター	24	12	1	1	3	-	2	1	3	1
	100.0	50.0	4.2	4.2	12.5	-	8.3	4.2	12.5	4.2
夜間養護等事業・トワイライトステイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	13	5	1	-	1	1	1	-	4	-
	100.0	38.5	7.7	-	7.7	7.7	7.7	-	30.8	-

Ⅲ. 調査結果

9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

(2) 不定期に一時預かり等の事業を利用していない理由

『(1) 不定期に利用している一時預かり等の事業』で「利用していない」と回答した方のみ

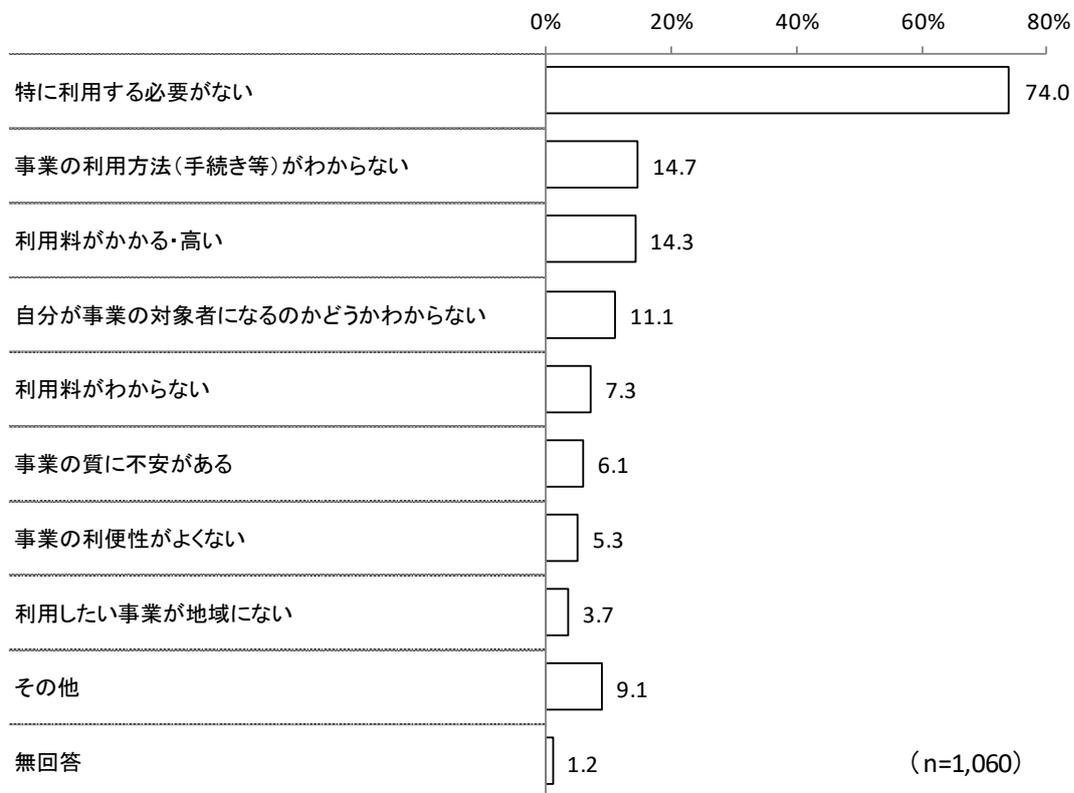
問 一時預かり等保育事業を現在利用していない理由は何ですか。

【就学前：問 23-1】

〈複数回答〉

不定期に一時預かり等の事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が74.0%と最も多く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(14.7%)、「利用料がかかる・高い」(14.3%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」(11.1%)の順となっています。

図表 64 不定期に一時預かり等の事業を利用していない理由



(3) 不定期な一時預かり等の事業利用の希望

問 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。

【就学前：問 24、小学生：問 15】

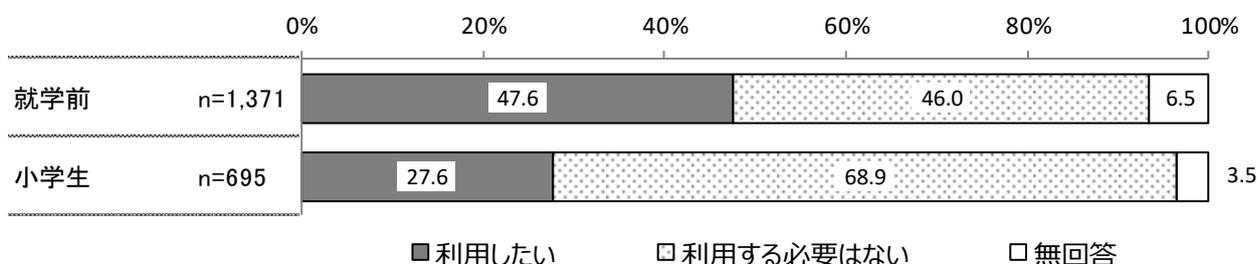
〈複数回答・数量回答〉

不定期な一時預かり等の事業利用の希望は、「利用したい」が、就学前で47.6%、小学生で27.6%となっています。

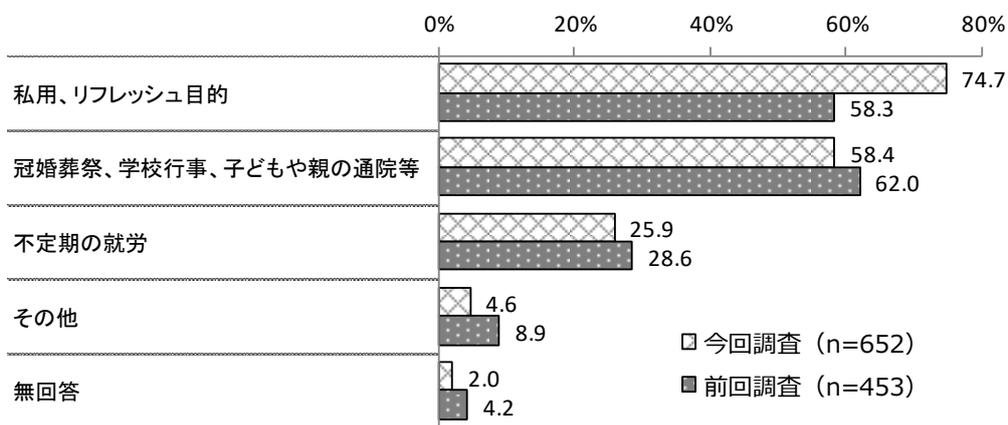
利用目的としては、就学前では、「私用、リフレッシュ目的」が74.7%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」(58.4%)、「不定期の就労」(25.9%)の順となっています。

小学生では、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が62.0%と最も多く、次いで「私用、リフレッシュ目的」(58.3%)、「不定期の就労」(28.6%)の順となっています。

図表 65 不定期な一時預かり等の事業利用の希望



図表 66 不定期な一時預かり等の事業利用の目的



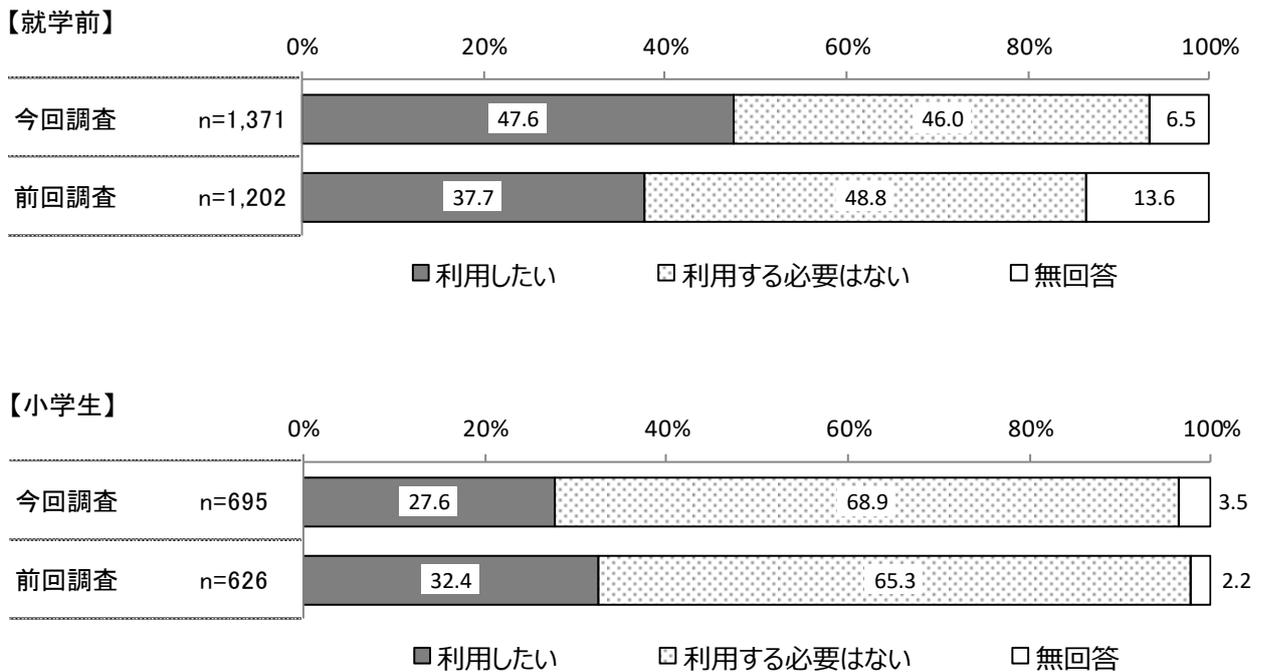
Ⅲ. 調査結果

9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

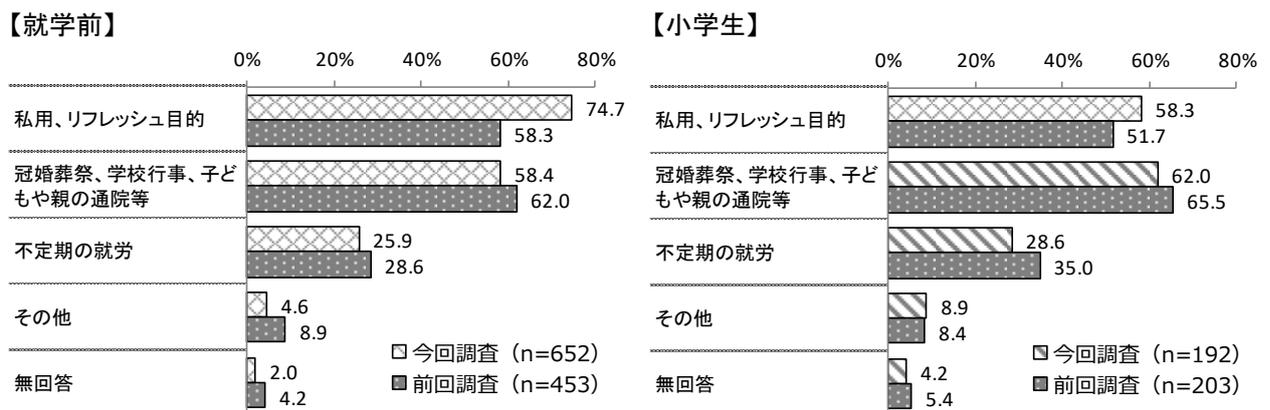
不定期な一時預かり等の事業利用の希望を前回調査と比較すると、就学前では「利用したい」人が9.9ポイント増加しています。

また、就学前、小学生ともに「私用、リフレッシュ目的」の利用希望が増加しています。

図表 67 不定期な一時預かり等の事業利用の希望 前回調査との比較



図表 68 不定期な一時預かり等の事業利用の目的 前回調査との比較



9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

図表 69 不定期な一時預かり等の事業利用の目的（1年当たりの日数）

【就学前】

（上段：件数、下段：％）

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61日以上	無回答
利用したい日数の合計	652	50	83	28	136	46	57	78	21	19	23	78	33
	100.0	7.7	12.7	4.3	20.9	7.1	8.7	12.0	3.2	2.9	3.5	12.0	5.1
私用、リフレッシュ目的	487	70	97	9	154	10	21	43	5	25	19	8	26
	100.0	14.4	19.9	1.8	31.6	2.1	4.3	8.8	1.0	5.1	3.9	1.6	5.3
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	381	92	107	11	97	11	12	18	2	2	6	3	20
	100.0	24.1	28.1	2.9	25.5	2.9	3.1	4.7	0.5	0.5	1.6	0.8	5.2
不定期の就労	169	17	15	3	26	6	6	18	5	9	3	39	22
	100.0	10.1	8.9	1.8	15.4	3.6	3.6	10.7	3.0	5.3	1.8	23.1	13.0
その他	30	7	4	4	6	-	1	3	-	-	1	2	2
	100.0	23.3	13.3	13.3	20.0	-	3.3	10.0	-	-	3.3	6.7	6.7

【小学生】

（上段：件数、下段：％）

	合計	1～3日	4～6日	7～9日	10～12日	13～15日	16～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51～60日	61日以上	無回答
利用したい日数の合計	192	31	22	10	46	11	20	20	3	3	3	10	13
	100.0	16.1	11.5	5.2	24.0	5.7	10.4	10.4	1.6	1.6	1.6	5.2	6.8
私用、リフレッシュ目的	112	36	24	3	37	1	1	3	-	2	2	-	3
	100.0	32.1	21.4	2.7	33.0	0.9	0.9	2.7	-	1.8	1.8	-	2.7
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	119	39	35	6	24	2	4	2	-	-	-	-	7
	100.0	32.8	29.4	5.0	20.2	1.7	3.4	1.7	-	-	-	-	5.9
不定期の就労	55	8	11	3	11	1	3	7	1	4	-	3	3
	100.0	14.5	20.0	5.5	20.0	1.8	5.5	12.7	1.8	7.3	-	5.5	5.5
その他	17	1	4	1	-	-	4	3	1	-	-	2	1
	100.0	5.9	23.5	5.9	-	-	23.5	17.6	5.9	-	-	11.8	5.9

（４）不定期で子どもを預けるのに望ましい事業形態

『（３）不定期な一時預かり等の事業利用の希望』で「利用したい」と回答した方のみ

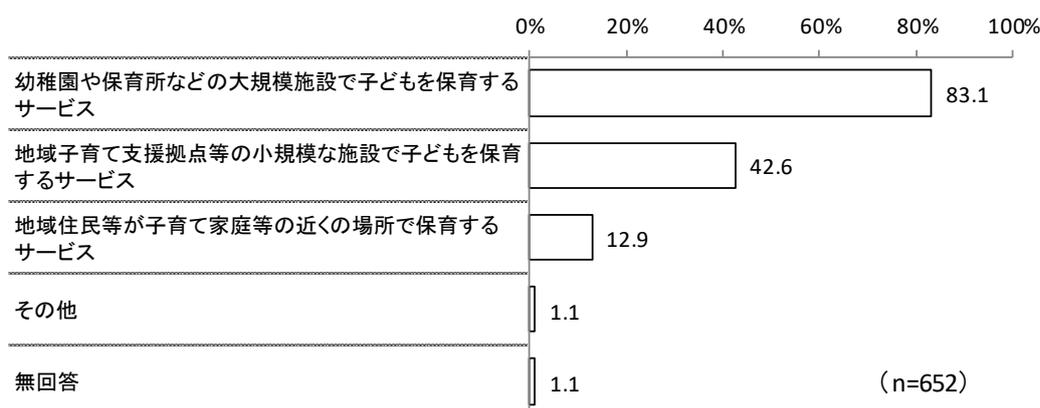
問 私用、親の通院、不定期の就労等の目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思いますか。

【就学前：問 24-1】

＜複数回答＞

不定期で子どもを預けるのに望ましい事業形態は、「幼稚園や保育所などの大規模施設で子どもを保育するサービス」が 83.1%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点等の小規模な施設で子どもを保育するサービス」（42.6%）、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育するサービス」（12.9%）の順となっています。

図表 70 不定期で子どもを預けるのに望ましい事業形態



Ⅲ. 調査結果

9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

(5) 泊りがけで子どもをみてもらう状況の有無

問 この1年間に、保護者の用事により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。また、あった場合は、この1年間の対応は何ですか。

【就学前：問 25、小学生：問 16】

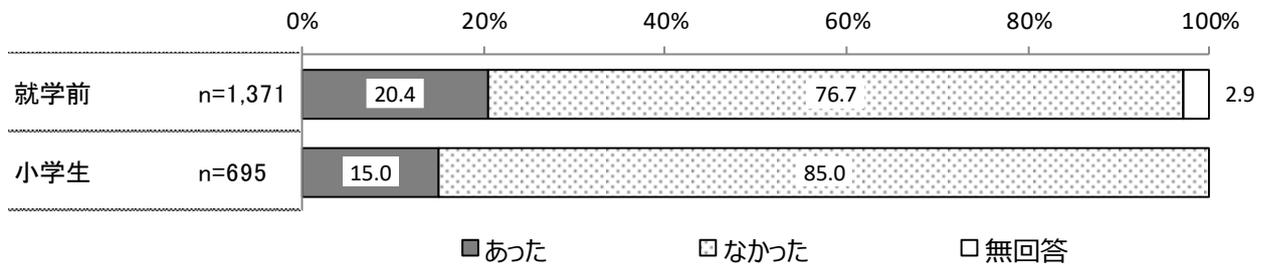
〈複数回答・数量回答〉

泊りがけで子どもをみてもらう状況の有無は、「あった」が、就学前で 20.4%、小学生で 15.0% となっています。

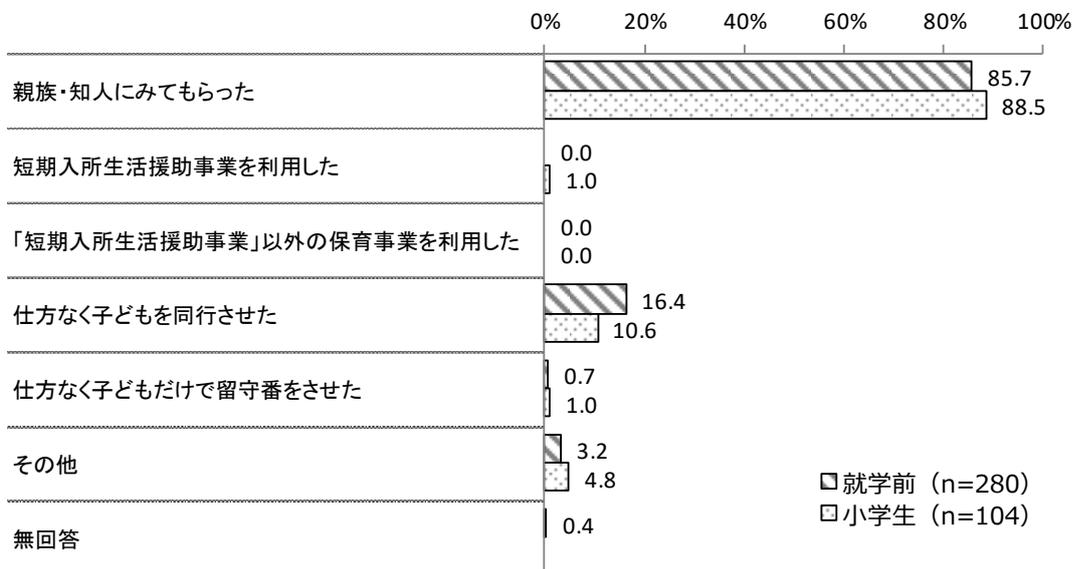
その場合の対応としては、就学前では、「親族・知人にみてもらった」が 85.7%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」(16.4%)の順となっています。

小学生でも、「親族・知人にみてもらった」が 88.5%と最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」(10.6%)の順となっています。

図表 71 泊りがけで子どもをみてもらう状況の有無



図表 72 泊りがけで子どもをみてもらう状況があった場合の対応



図表 73 泊りがけで子どもをみてもらう状況があった場合の対応（1年当たりの泊数）

【就学前】 (上段：件数、下段：%)

	合計	1～3泊	4～6泊	7～9泊	10～12泊	13～15泊	16～20泊	21～30泊	31泊以上	無回答
親族・知人にみてもらった	240 100.0	125 52.1	35 14.6	19 7.9	13 5.4	6 2.5	3 1.3	8 3.3	4 1.7	27 11.3
短期入所生活援助事業を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
「短期入所生活援助事業」以外の保育事業を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	46 100.0	27 58.7	3 6.5	2 4.3	1 2.2	-	-	2 4.3	-	11 23.9
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0
その他	9 100.0	4 44.4	3 33.3	-	-	-	-	1 11.1	-	1 11.1

【小学生】 (上段：件数、下段：%)

	合計	1～3泊	4～6泊	7～9泊	10～12泊	13～15泊	16～20泊	21～30泊	31泊以上	無回答
親族・知人にみてもらった	92 100.0	65 70.7	10 10.9	-	6 6.5	-	-	-	-	11 12.0
短期入所生活援助事業を利用した	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
「短期入所生活援助事業」以外の保育事業を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	11 100.0	8 72.7	2 18.2	-	-	-	-	-	-	1 9.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	5 100.0	1 20.0	-	-	-	1 20.0	-	-	-	3 60.0

(6) 親族・知人にみてもらった場合の困難度

『(5) 泊りがけで子どもをみてもらう状況の有無』で「親族・知人にみてもらった」と回答した方のみ

問 親族・知人にみてもらった場合の困難度はどの程度でしたか。

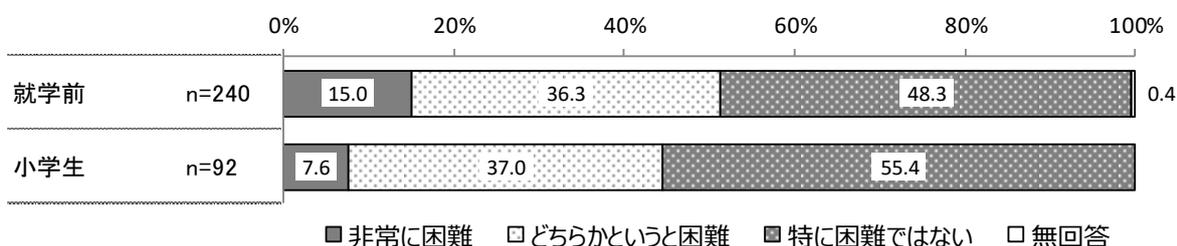
【就学前：問 25-1、小学生：問 16-1】

〈単数回答〉

親族・知人にみてもらった場合の困難度は、「困難である」と回答した方が、就学前では、51.3%、小学生では、44.6%となっています。

※ “困難である”は「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせたもの

図表 74 親族・知人にみてもらった場合の困難度



Ⅲ. 調査結果

10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

(1) 小学校低学年の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、小学校低学年のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【就学前：問 26、小学生：問 17】

〈複数回答・数量回答〉

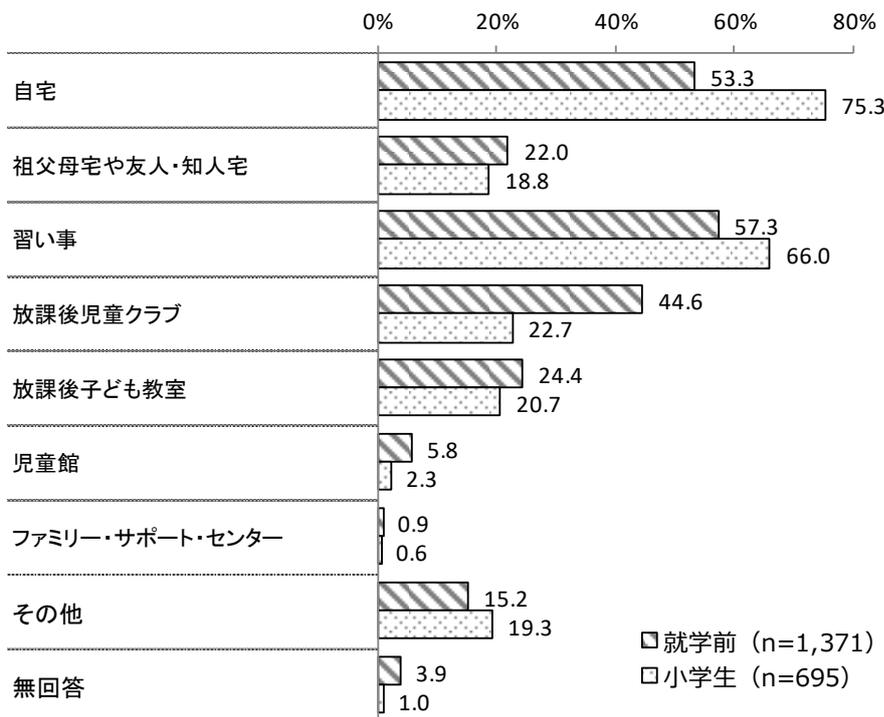
小学校低学年の放課後の過ごし方は、就学前では、「習い事」が 57.3%と最も多く、次いで「自宅」(53.3%)、「放課後児童クラブ」(44.6%)の順となっています。

小学生では、「自宅」が 75.3%と最も多く、次いで「習い事」(66.0%)、「放課後児童クラブ」(22.7%)の順となっています。

放課後児童クラブを利用したい時間は、就学前では、下校時から「18時まで」が 27.9%と最も多く、次いで「18時30分まで」(19.0%)、「17時まで」(18.0%)、「19時まで」(13.7%)の順となっています。

小学生では、下校時から「18時30分まで」が 22.8%と最も多く、次いで「19時まで」(18.4%)、「17時30分まで」(17.1%)、「18時まで」(12.0%)の順となっています。

図表 75 小学校低学年の放課後の過ごし方

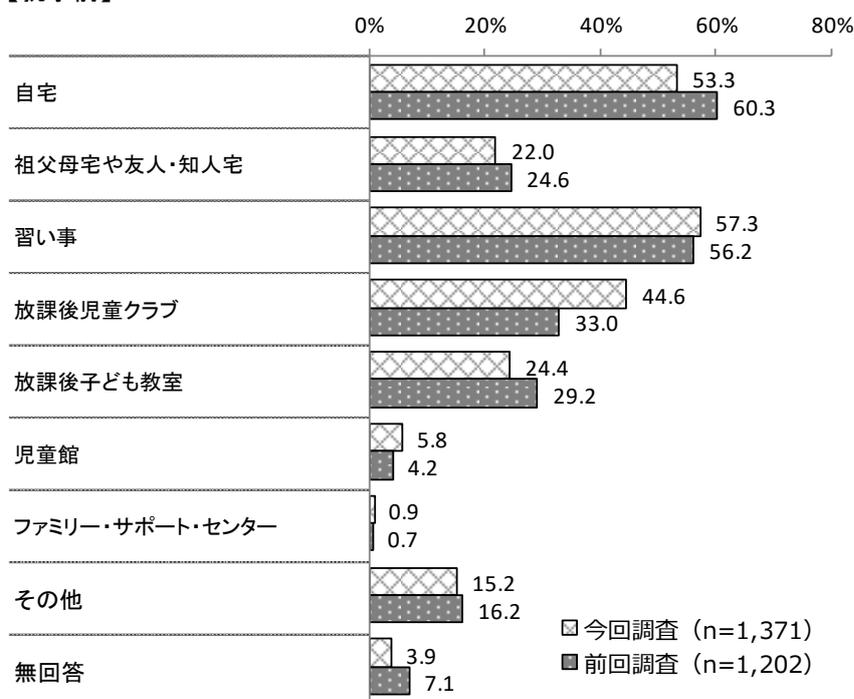


10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

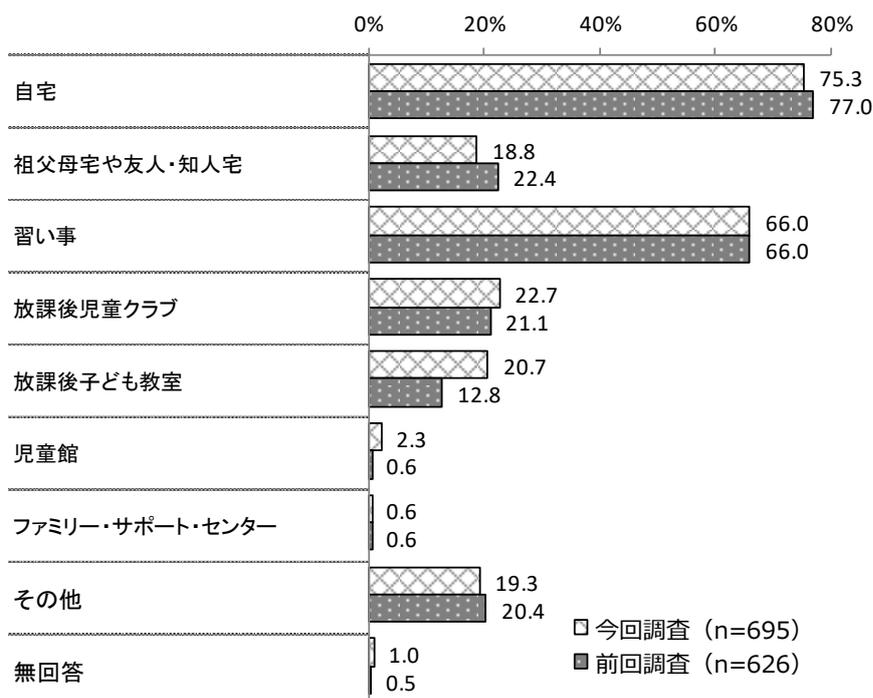
就学前・小学生ともに「自宅」や「習い事」を希望する割合が高くなっています。「放課後児童クラブ」は一定数の利用希望はあるものの、就学前に比べ小学生で割合が下がっています。

図表 76 小学校低学年の放課後の過ごし方 前回調査との比較

【就学前】



【小学生】

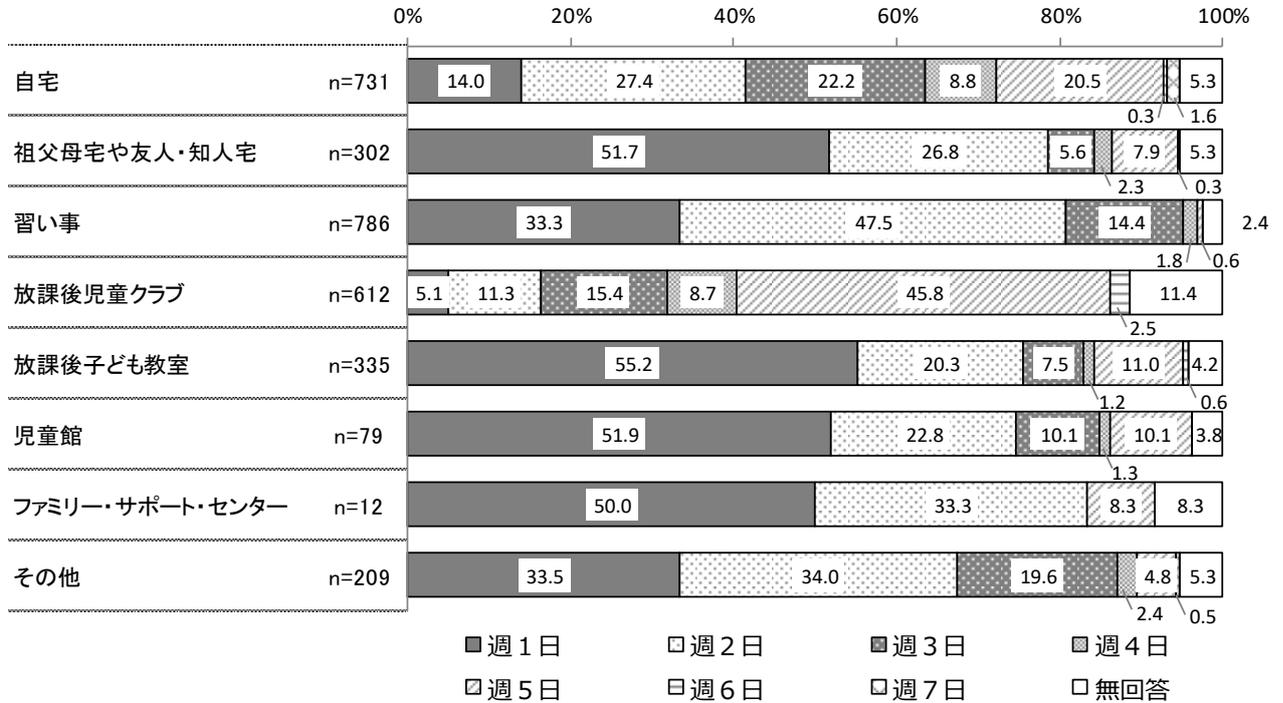


Ⅲ. 調査結果

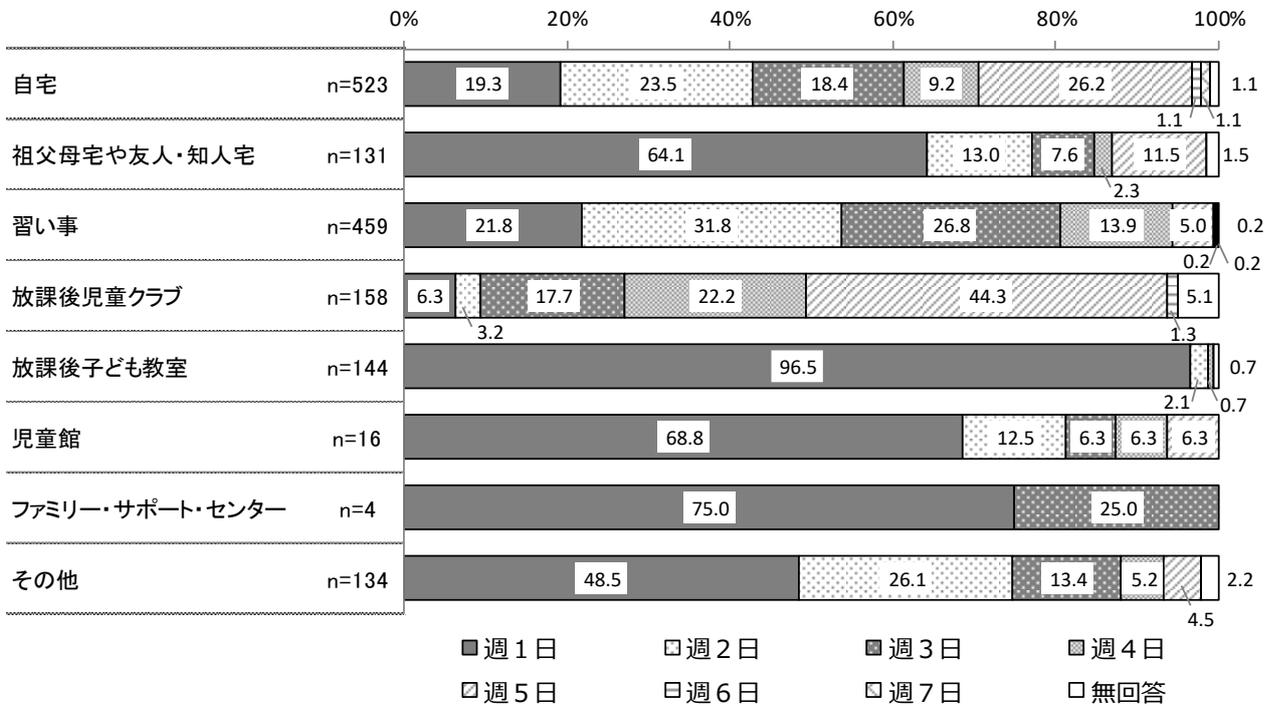
10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

図表 77 小学校低学年の放課後の過ごし方（1週間当たりの日数）

【就学前】

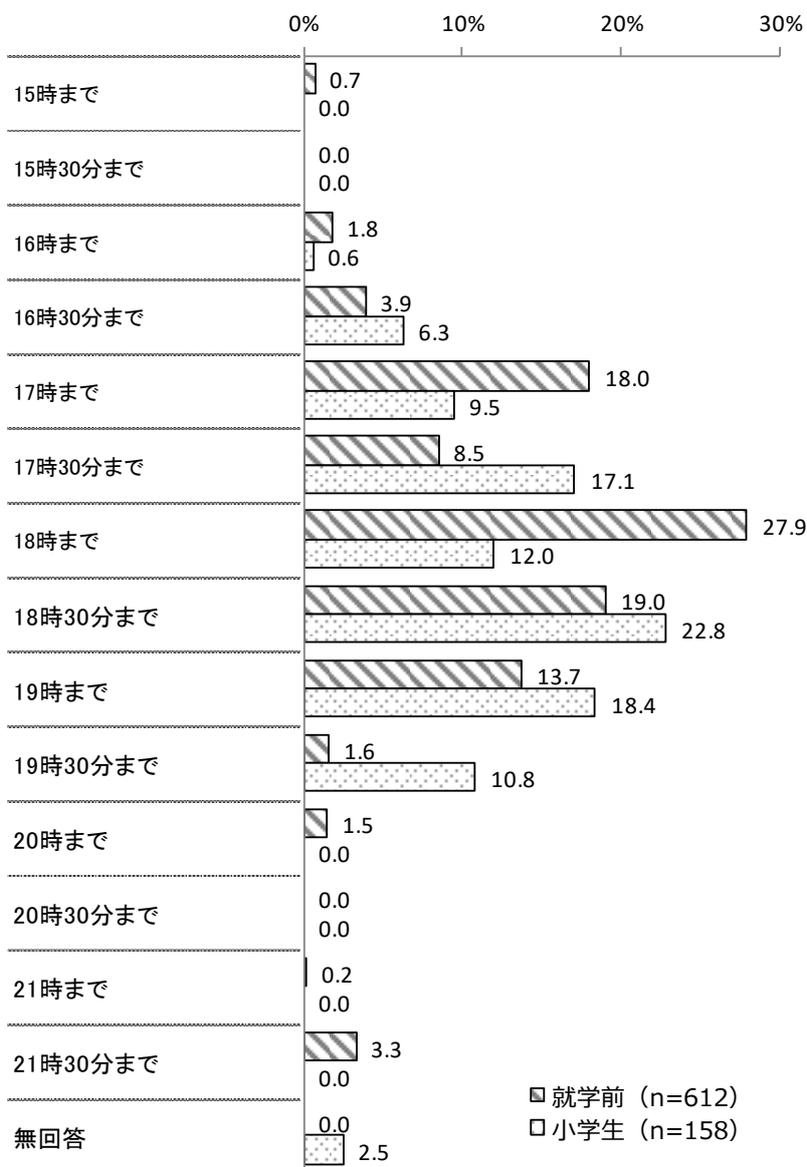


【小学生】



10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

図表 78 放課後児童クラブを利用したい時間（小学校低学年）



Ⅲ. 調査結果

10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

(2) 小学校高学年の放課後の過ごし方

問 あて名のお子さんについて、小学校高学年になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

【就学前：問 27、小学生：問 18】

〈複数回答・数量回答〉

小学校高学年の放課後の過ごし方は、就学前では、「習い事」が72.0%と最も多く、次いで「自宅」(61.6%)、「放課後児童クラブ」(33.8%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(23.9%)の順となっています。

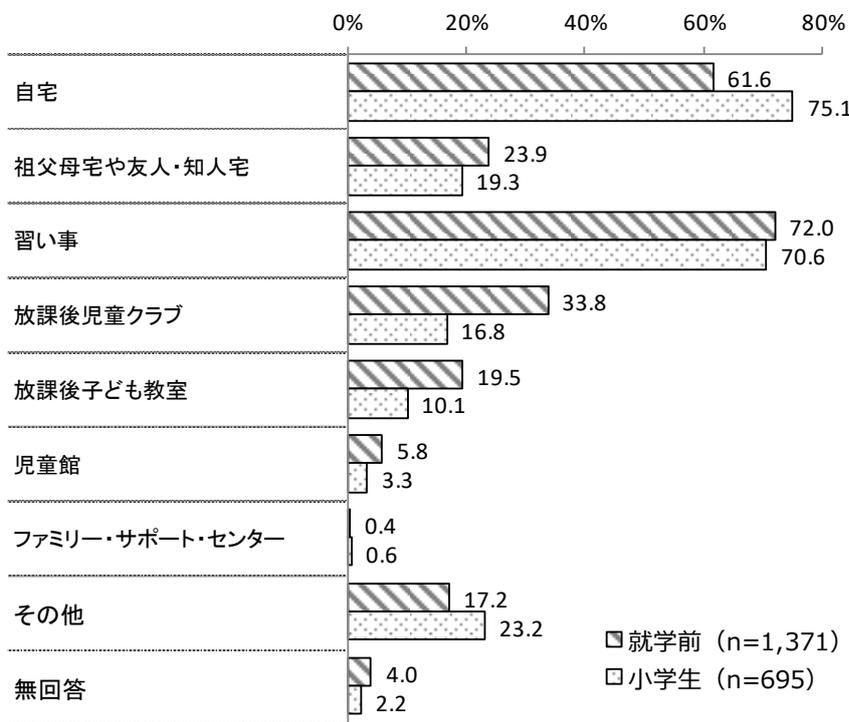
小学生では、「自宅」が75.1%と最も多く、次いで「習い事」(70.6%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(19.3%)の順となっています。

放課後児童クラブを利用したい時間は、就学前では、下校時から「18時まで」が30.8%と最も多く、次いで「18時30分まで」(18.3%)、「19時まで」(15.7%)、「17時まで」(14.0%)の順となっています。

小学生では、「18時30分まで」が21.4%と最も多く、次いで「19時まで」(20.5%)、「17時30分まで」(16.2%)、「19時30分まで」(13.7%)の順となっています。

就学前と比べて小学生では「自宅」を希望する割合が高くなり、「放課後児童クラブ」「放課後子ども教室」では低くなっています。

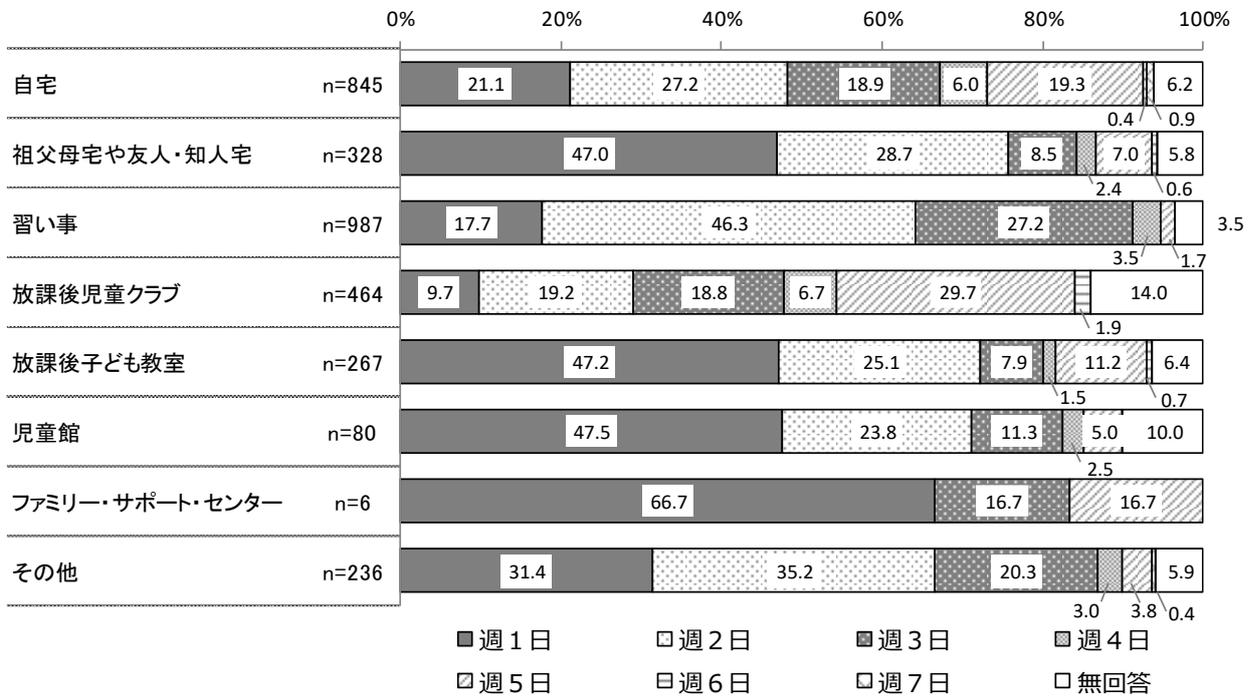
図表 79 小学校高学年の放課後の過ごし方



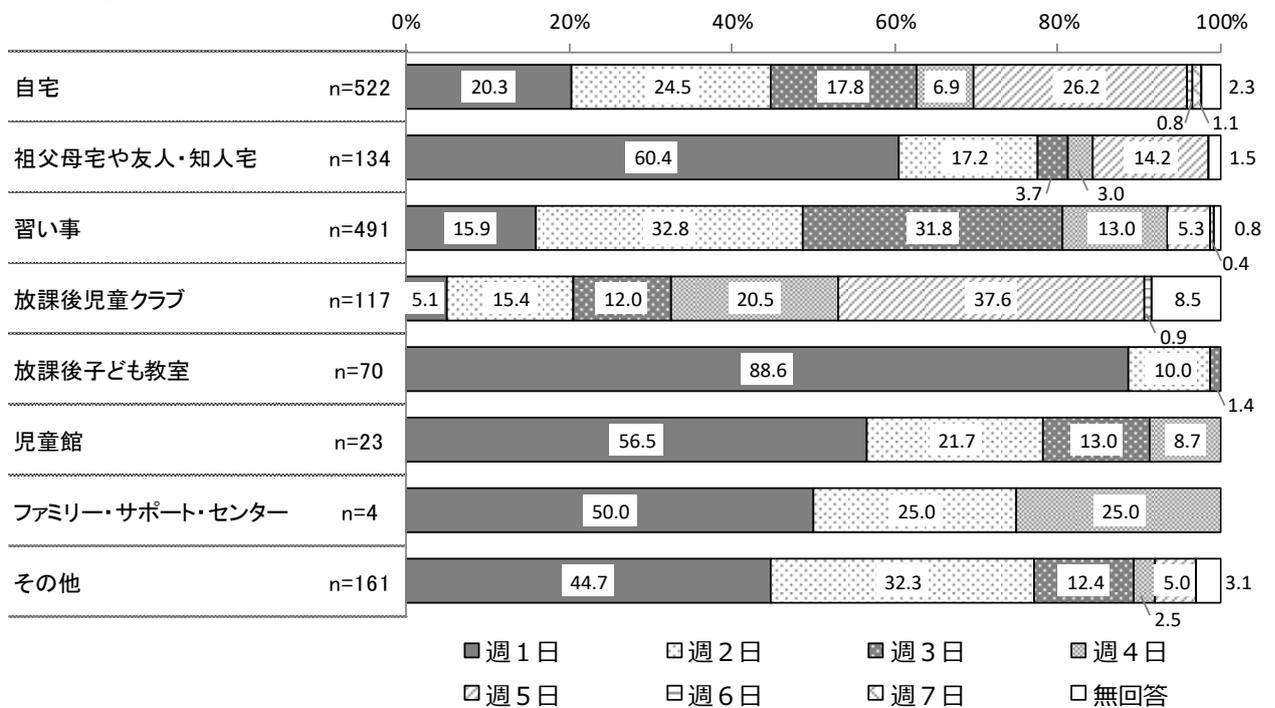
10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

図表 80 小学校高学年の放課後の過ごし方（1週間当たりの日数）

【就学前】



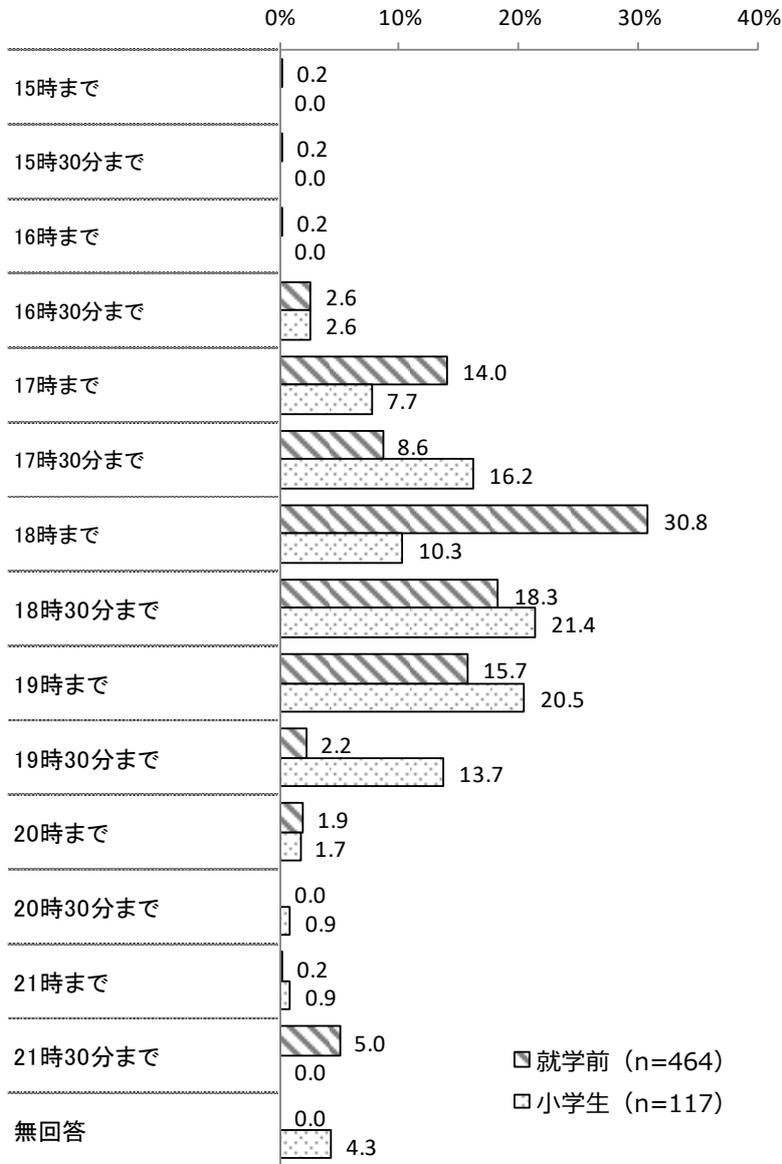
【小学生】



Ⅲ. 調査結果

10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

図表 81 放課後児童クラブを利用したい時間（小学校高学年）



(3) 土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望

『(1) 小学校低学年の放課後の過ごし方』または『(2) 小学校高学年の放課後の過ごし方』で「放課後児童クラブ」と回答した方のみ

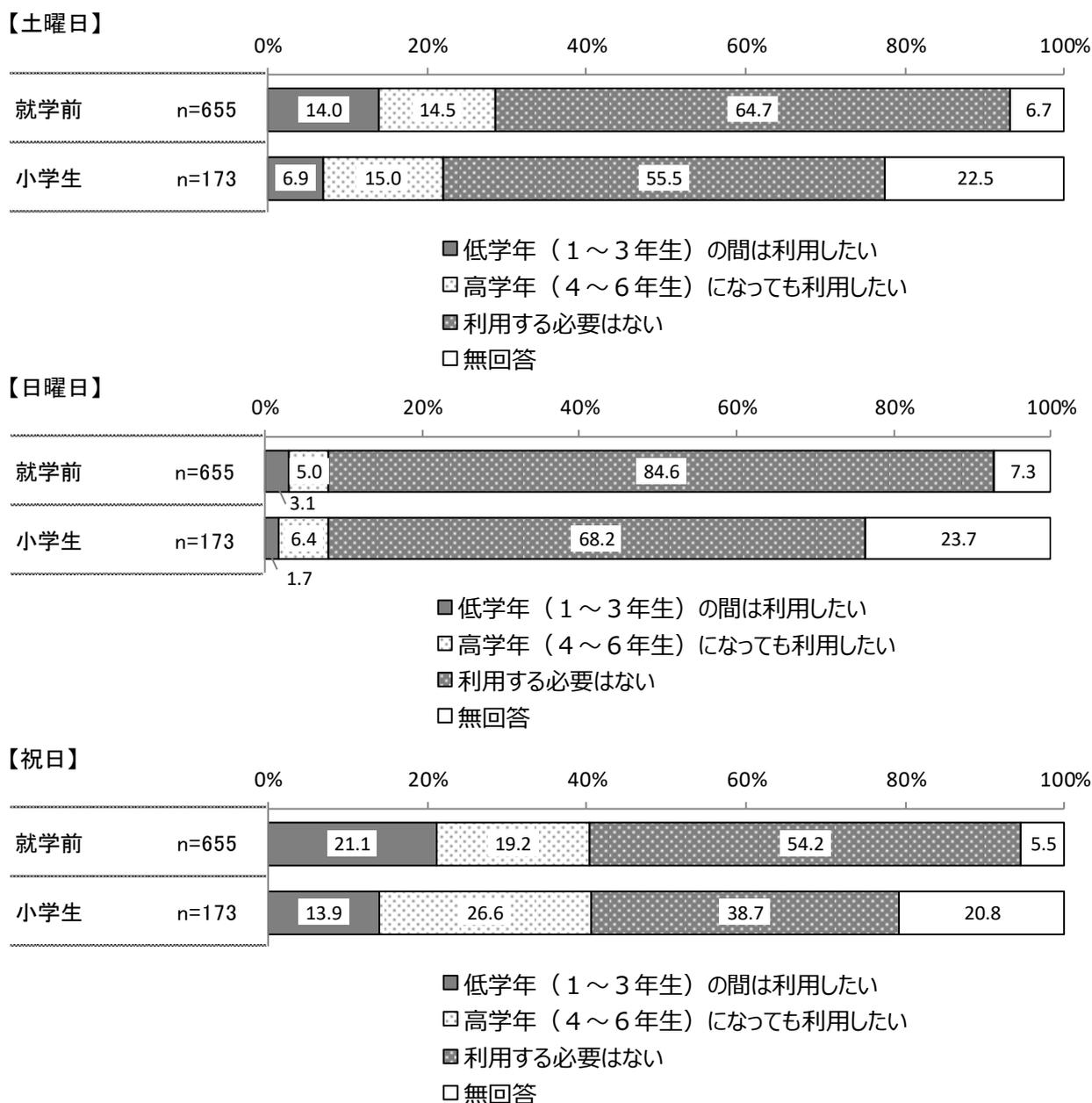
問 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。
【就学前：問 28、小学生：問 19】

〈単数回答・数量回答〉

土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望は、“利用したい”と回答した方が、就学前では、土曜日で28.5%、日曜日で8.1%、祝日で40.3%となっており、小学生では、土曜日で21.9%、日曜日で8.1%、祝日で40.5%となっています。

※ “利用したい”は「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせたもの

図表 82 土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望

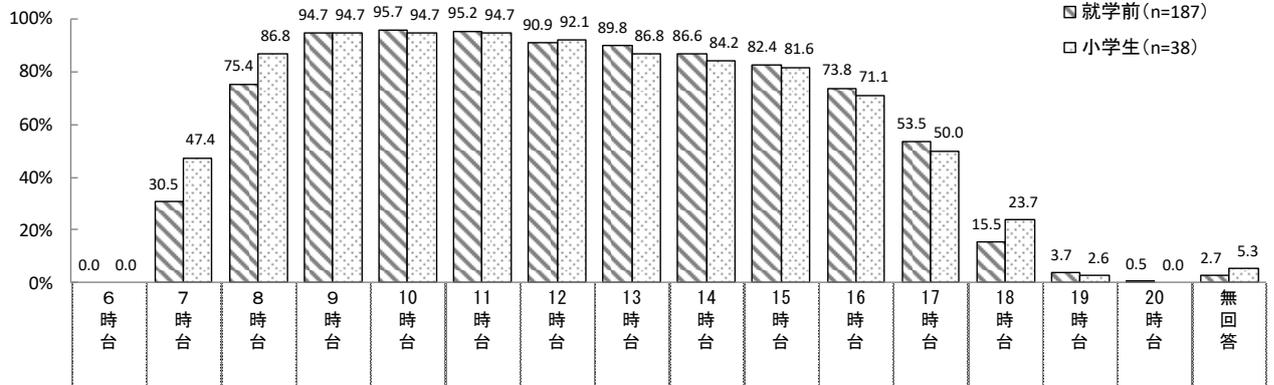


Ⅲ. 調査結果

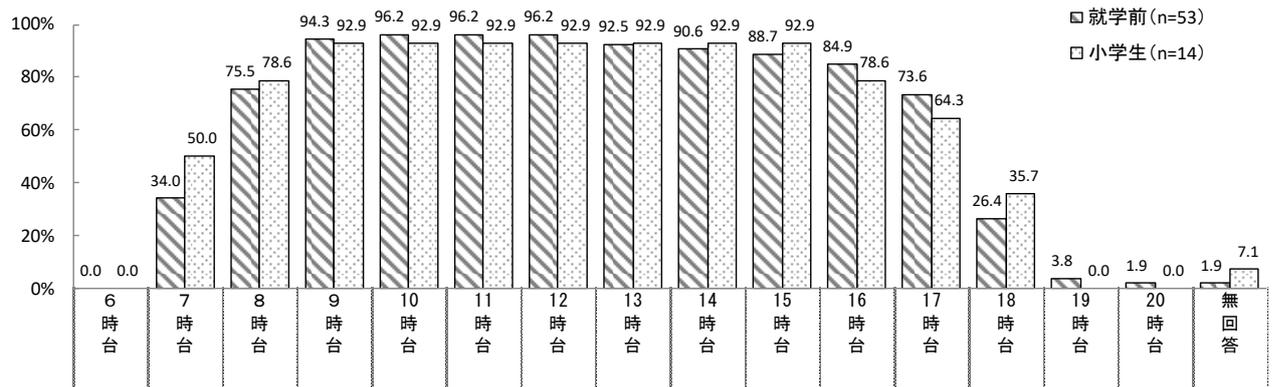
10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

図表 83 土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用したい時間帯

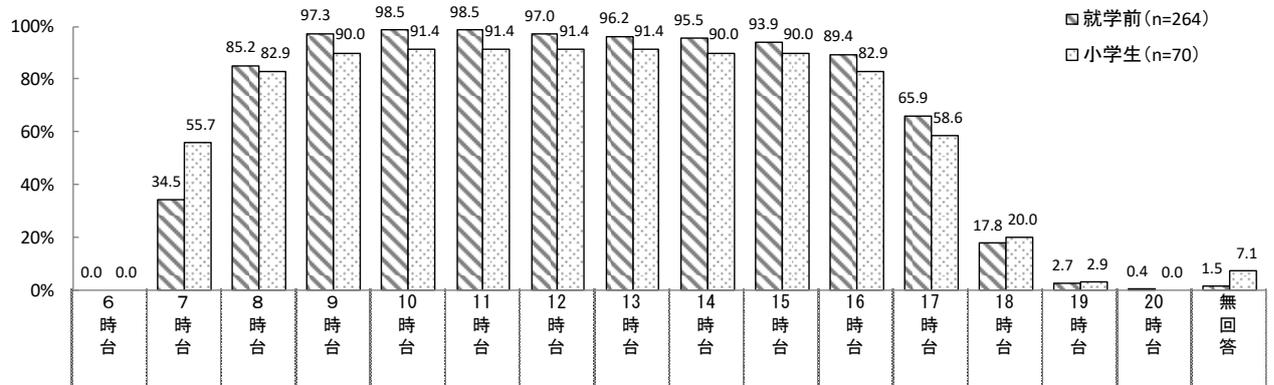
【土曜日】



【日曜日】



【祝日】



10. 就学前児童の小学校就学後及び小学生児童の放課後の過ごし方について

(4) 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望

問 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の学校休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

【就学前：問 29、小学生：問 20】

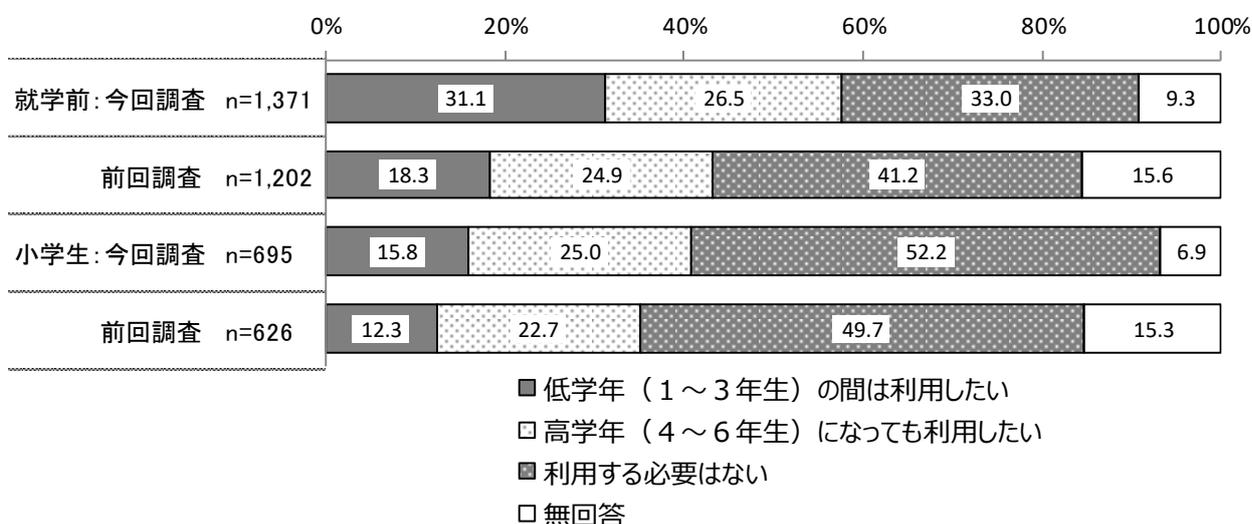
〈単数回答・数量回答〉

長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望は、“利用したい”と回答した方が、就学前で 57.6%、小学生で 40.8%となっています。

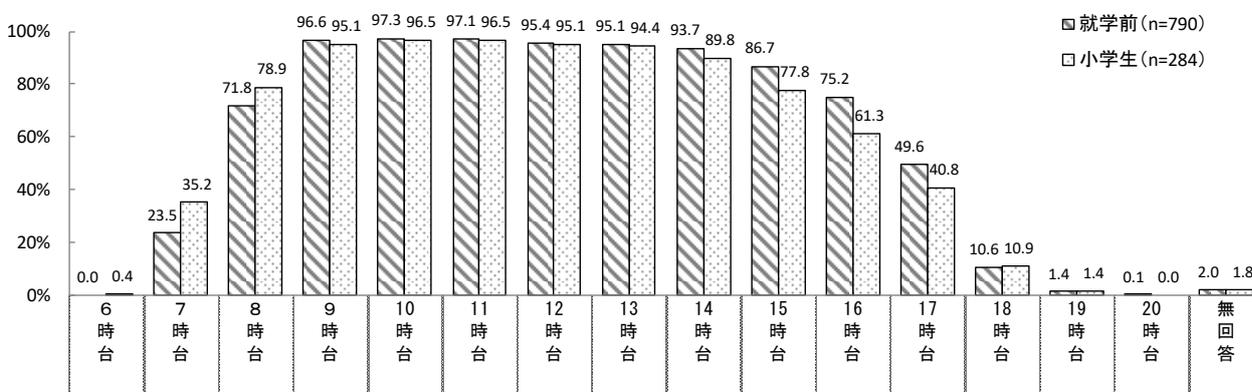
前回調査と比較すると、“利用したい”人は増加しており、特に就学前の「低学年の間は利用したい」人は大きく増加しています。

※ “利用したい”は「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせたもの

図表 84 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望 前回調査との比較



図表 85 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用したい時間帯



Ⅲ. 調査結果

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

1 1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(1) 育児休業取得の有無

問 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

【就学前：問 30】

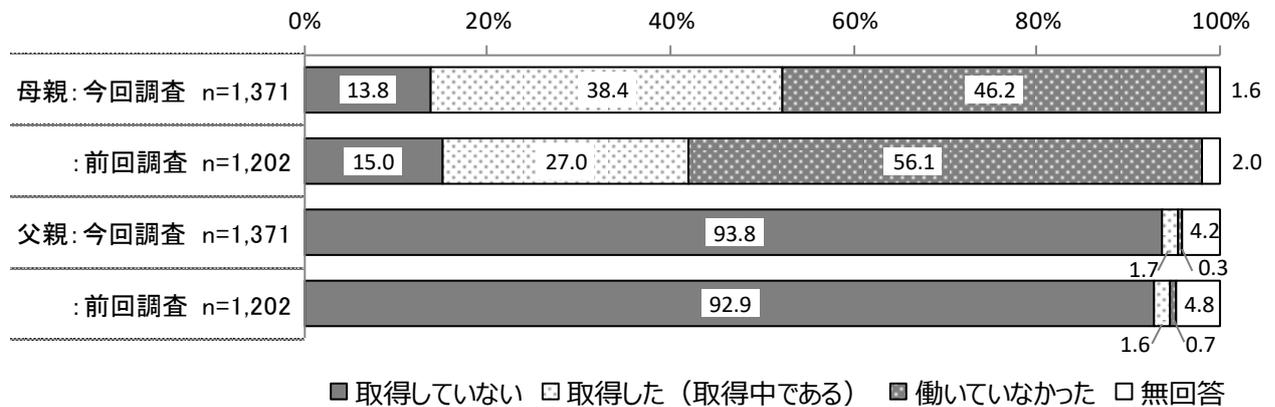
〈単数回答〉

育児休業取得の有無は、母親では、「働いていなかった」が46.2%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」（38.4%）、「取得していない」（13.8%）の順となっています。

父親では、「取得していない」が93.8%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」（1.7%）、「働いていなかった」（0.3%）の順となっています。

前回調査と比較すると、母親で「取得した（取得中である）」人は11.4ポイント増加しています。

図表 86 育児休業取得の有無 前回調査との比較



(2) 育児休業を取得していない理由

『(1) 育児休業取得の有無』で「取得していない」と回答した方のみ

問 育児休業を取得していない理由は何ですか。

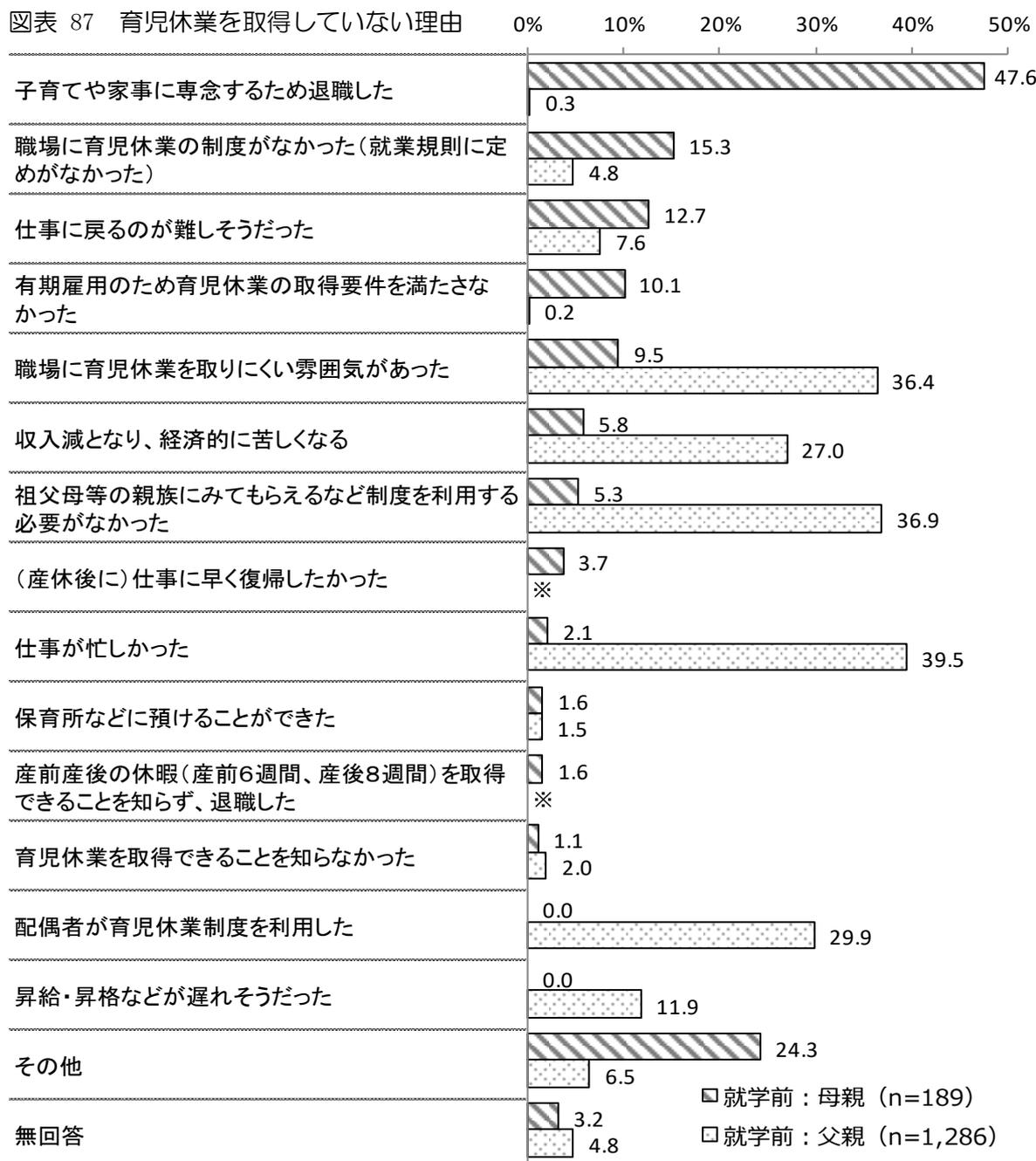
【就学前：問 30-1】

〈複数回答〉

育児休業を取得していない理由は、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が47.6%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(15.3%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(12.7%)の順となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」が39.5%と最も多く、次いで「祖父母等の親族にみてもらえるなど制度を利用する必要がなかった」(36.9%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(36.4%)の順となっています。

図表 87 育児休業を取得していない理由



※父親該当なし

Ⅲ. 調査結果

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(3) 育児休業給付と保険料免除の認知度

問 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

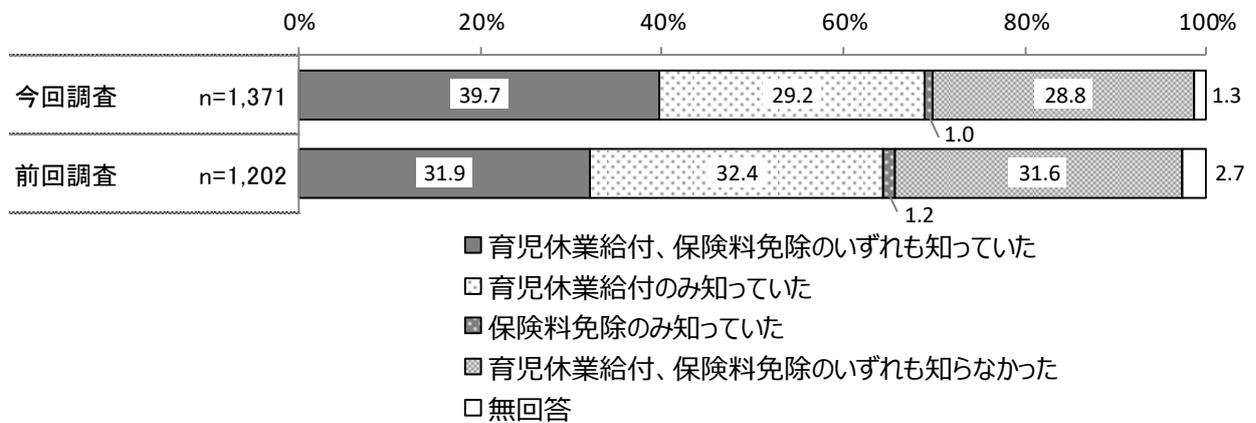
【就学前：問 30-2】

〈単数回答〉

育児休業給付と保険料免除の認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が39.7%と最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」(29.2%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」人は7.8ポイント増加しています。

図表 88 育児休業給付と保険料免除 前回調査との比較



11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(4) 職場復帰の有無

『(1) 育児休業取得の有無』で「取得した」と回答した方のみ

問 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

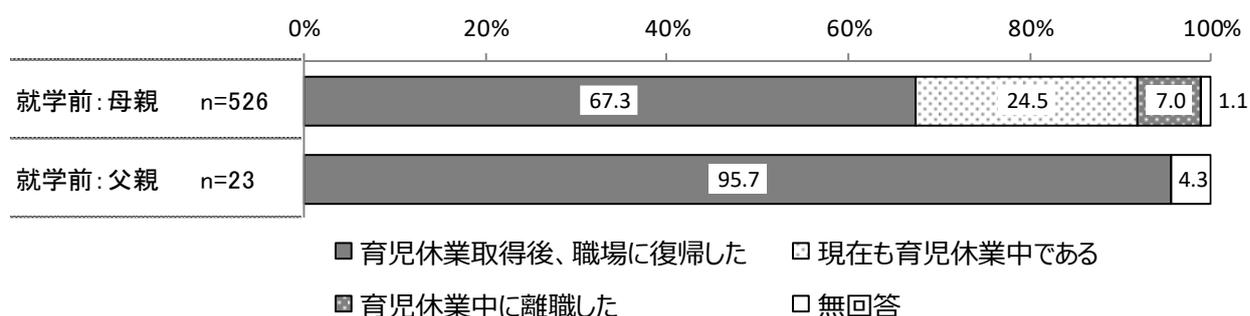
【就学前：問 30-3】

〈単数回答〉

職場復帰の有無は、母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が67.3%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」(24.5%)、「育児休業中に離職した」(7.0%)の順となっています。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が95.7%となっています。

図表 89 職場復帰の有無



(5) 職場復帰のタイミング

『(4) 職場復帰の有無』で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

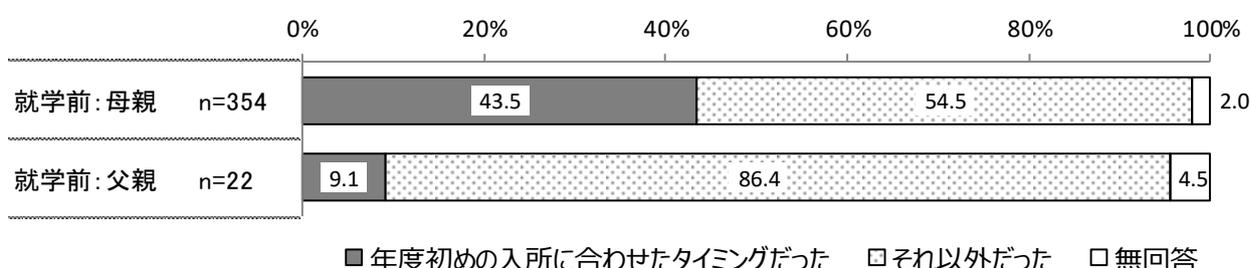
問 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

【就学前：問 30-4】

〈単数回答〉

職場復帰のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が、母親で43.5%、父親で9.1%となっています。

図表 90 職場復帰のタイミング



Ⅲ. 調査結果

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(6) 育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間

『(4) 職場復帰の有無』で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

【就学前：問 30-5】

〈数量回答〉

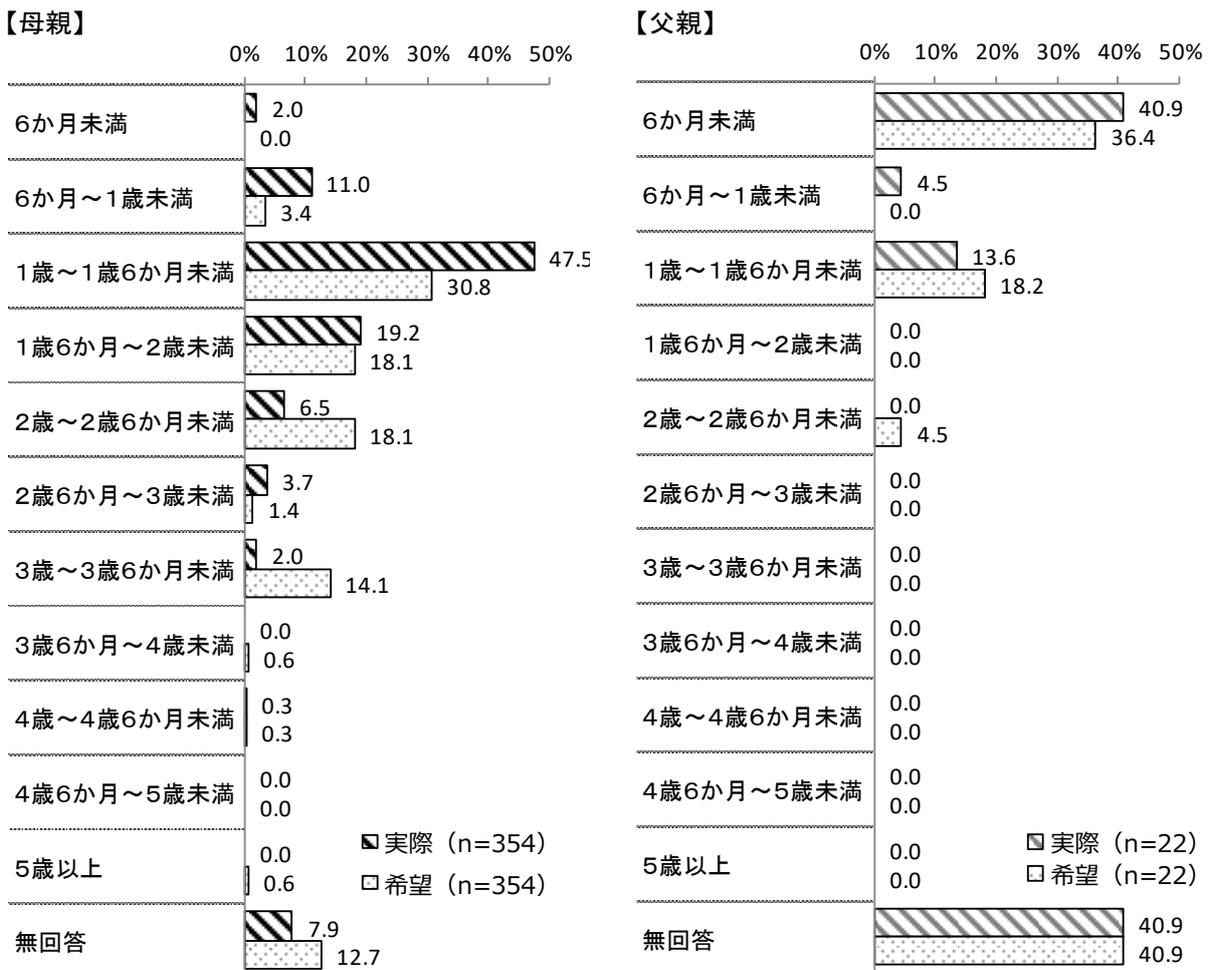
母親の育児休業の取得期間は、実際では、「1歳～1歳6か月未満」が47.5%と最も多く、次いで「1歳6か月～2歳未満」(19.2%)の順となっています。

希望では、「1歳～1歳6か月未満」が30.8%と最も多く、次いで「1歳6か月～2歳未満」「2歳～2歳6か月未満」(18.1%)の順となっています。

父親の育児休業の取得期間は、実際では、「6か月未満」が40.9%と最も多く、次いで「1歳～1歳6か月未満」(13.6%)の順となっています。

希望では、「6か月未満」が36.4%と最も多く、次いで「1歳～1歳6か月未満」(18.2%)の順となっています。

図表 91 育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間



(7) 3歳まで育児のための休暇を取得できる場合の希望期間

『(4) 職場復帰の有無』で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

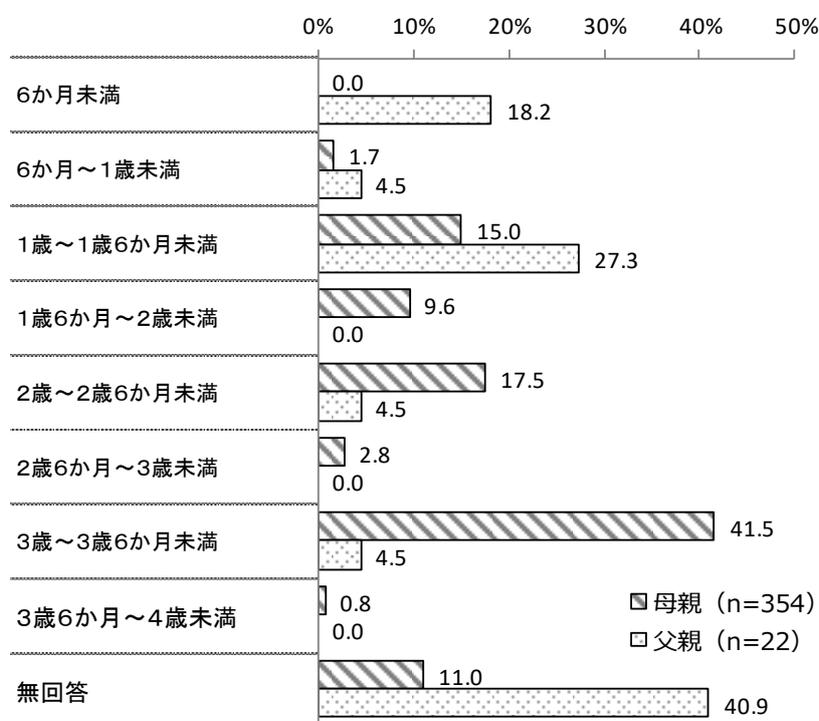
【就学前：問 30-6】

〈数量回答〉

3歳まで育児のための休暇を取得できる場合の希望期間は、母親では、「3歳～3歳6か月未満」が41.5%と最も多く、次いで「2歳～2歳6か月未満」(17.5%)、「1歳～1歳6か月未満」(15.0%)の順となっています。

父親では、「1歳～1歳6か月未満」が27.3%と最も多く、次いで「6か月未満」(18.2%)の順となっています。

図表 92 3歳まで育児のための休暇を取得できる場合の希望期間



Ⅲ. 調査結果

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(8) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

『(6) 育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間』で実際の復帰と希望が異なる方のみ

問 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

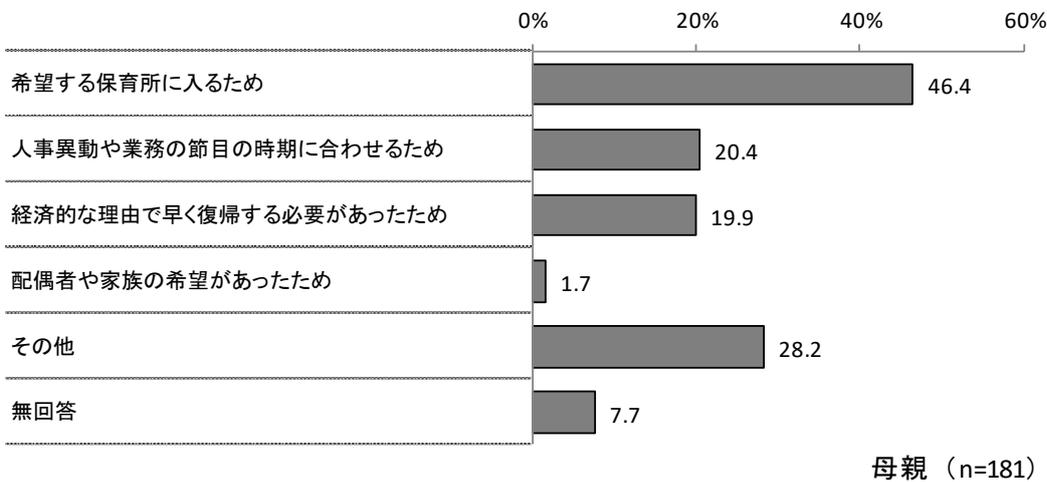
【就学前：問 30-7】

〈複数回答〉

希望よりも早く職場復帰した理由は、母親では、「希望する保育所に入るため」が46.4%と最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(20.4%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(19.9%)の順となっています。

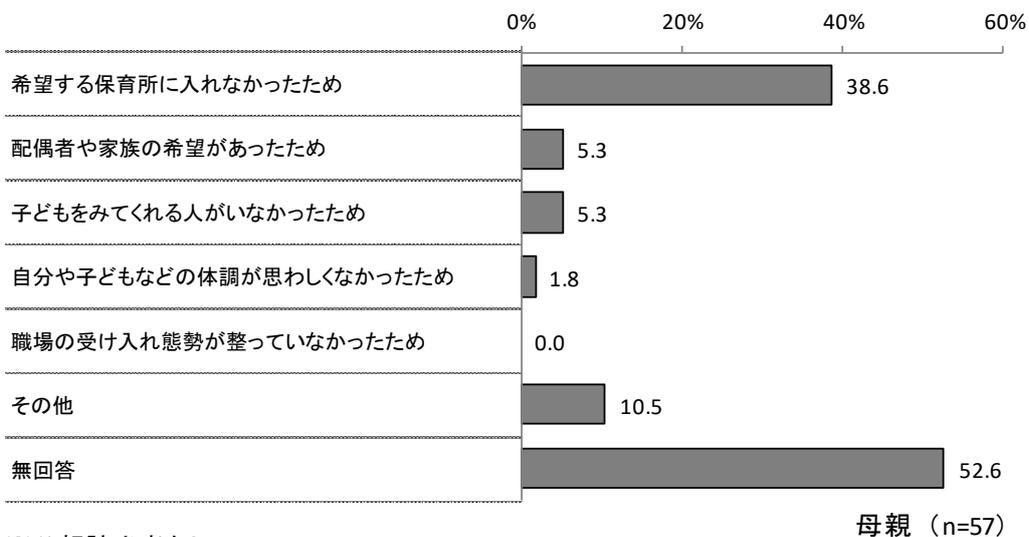
希望よりも遅く職場復帰した理由は、母親では、「希望する保育所に入れなかったため」が38.6%と最も多く、次いで「配偶者や家族の希望があったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」(5.3%)の順となっています。

図表 93 希望よりも早く職場復帰した理由



※父親該当者なし

図表 94 希望よりも遅く職場復帰した理由



※父親該当者なし

(9) 短時間勤務制度の利用の有無

『(4) 職場復帰の有無』で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。【就学前：問 30-8】

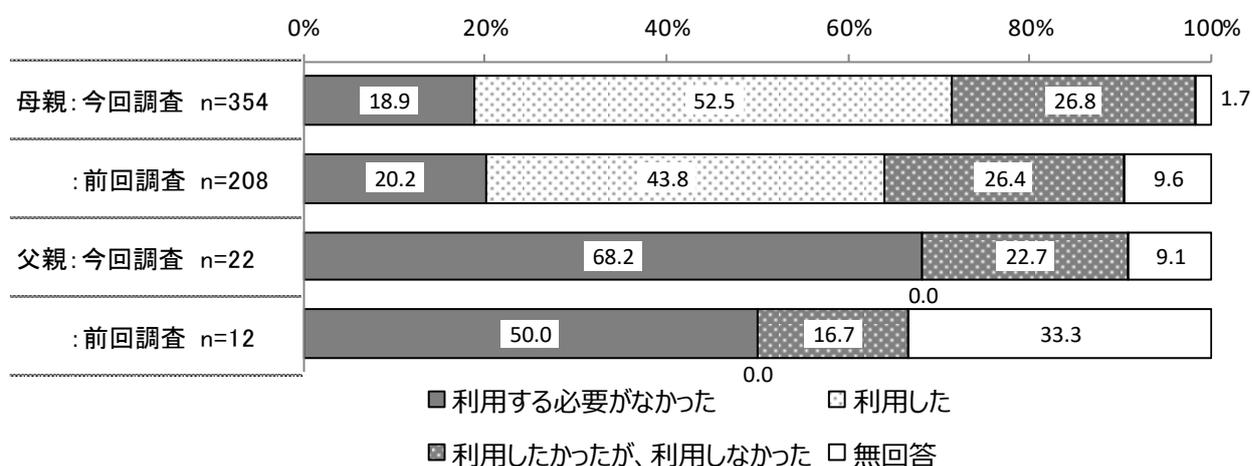
〈単数回答〉

短時間勤務制度の利用の有無は、母親では、「利用した」が52.5%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」(26.8%)、「利用する必要がなかった」(18.9%)の順となっています。

父親では、「利用する必要がなかった」が68.2%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった」(22.7%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「利用した」人が母親では8.7ポイント、増加しています。

図表 95 短時間勤務制度の利用の有無 前回調査との比較



Ⅲ. 調査結果

11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

(10) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

『(9) 短時間勤務制度の利用の有無』で「利用したかったが、利用しなかった」と回答した方のみ

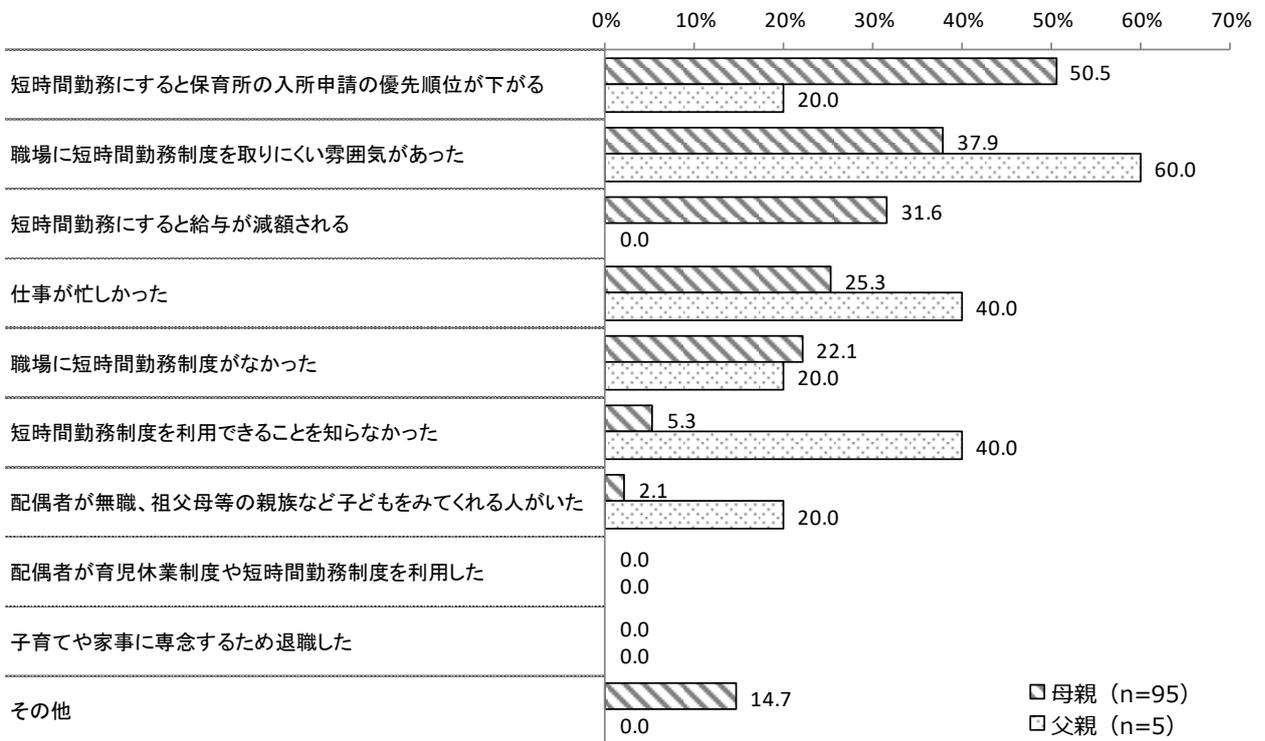
問 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。

【就学前：問 30-9】

〈複数回答〉

短時間勤務制度を利用しなかった理由は、母親では、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が 50.5%と最も多く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(37.9%)、「短時間勤務にすると給与が減額される」(31.6%)の順となっています。

図表 96 短時間勤務制度を利用しなかった理由



(11) 1歳になるまでの育児休業取得希望

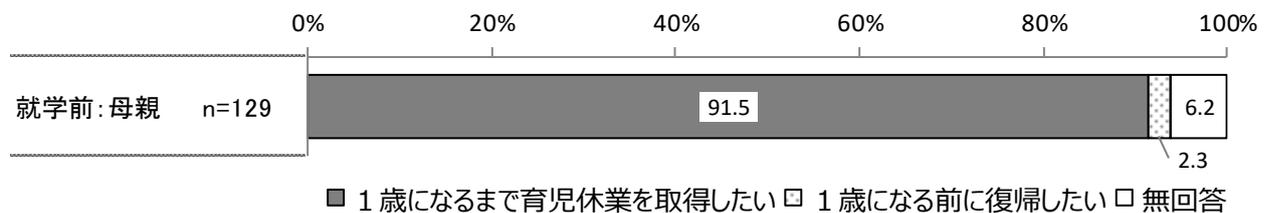
『(4) 職場復帰の有無』で「現在も育児休業中である」と回答した方のみ

問 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる保育所等事業があっても1歳になる前に復帰しますか。
【就学前：問 30-10】

<単数回答>

1歳になるまでの育児休業取得希望は、母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.5%、「1歳になる前に復帰したい」が2.3%となっています。

図表 97 1歳になるまでの育児休業取得希望



※父親該当者なし

Ⅲ. 調査結果

12. 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について

1 2. 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について

(1) 刈谷市の子育てサービスの認知度・利用状況

問 ①～⑮のサービスを知っていますか。また、知っている方は利用したことがありますか。

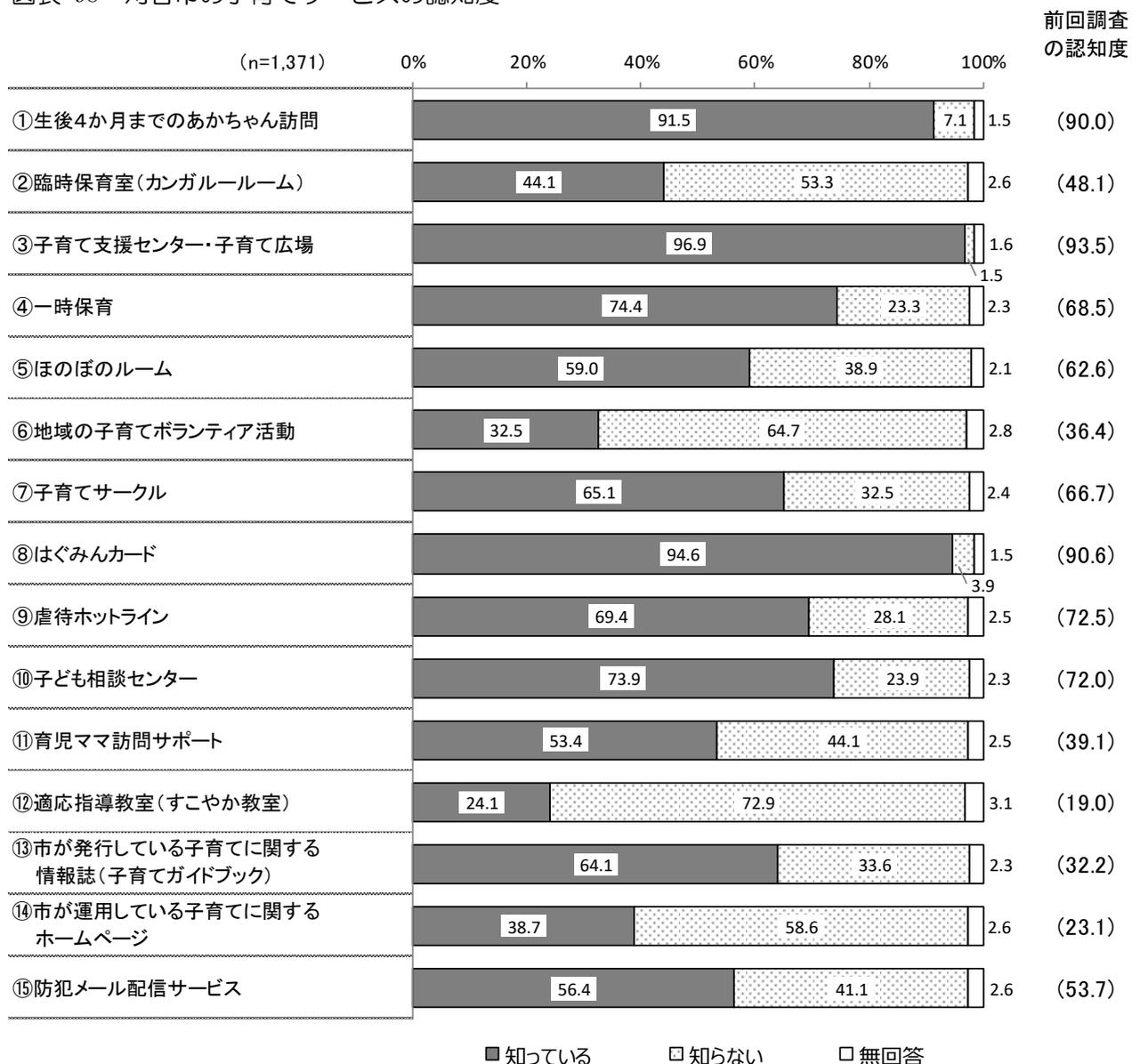
【就学前：問31】

〈単数回答〉

刈谷市の子育てサービスの認知度は、「①生後4か月までのあかちゃん訪問」、「③子育て支援センター・子育て広場」、「⑧はぐみんカード」で「知っている」が9割以上となっています。

一方で、「②臨時保育室（カンガルールーム）」、「⑥地域の子育てボランティア活動」、「⑫適応指導教室（すこやか教室）」、「⑭市が運用している子育てに関するホームページ」では「知らない」が5割以上となっています。

図表 98 刈谷市の子育てサービスの認知度

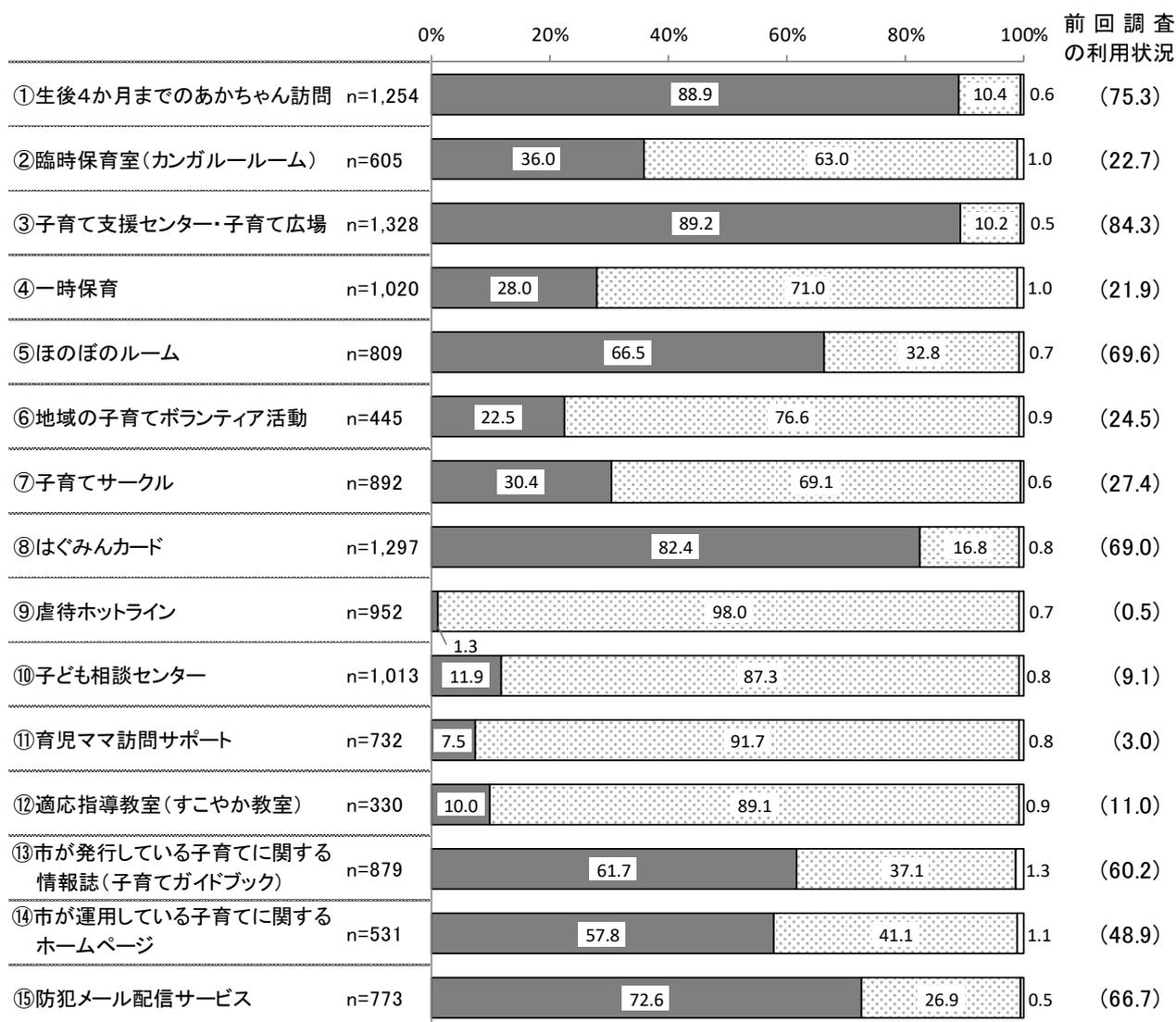


12. 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について

刈谷市の子育てサービスの利用状況は、「①生後4か月までのあかちゃん訪問」、「③子育て支援センター・子育て広場」、「⑧はぐみんカード」で「利用している・利用したことがある」が8割以上となっています。

一方で、「⑨虐待ホットライン」、「⑩子ども相談センター」、「⑪育児ママ訪問サポート」、「⑫適応指導教室（すこやか教室）」では「利用したことはない」が約9割となっています。

図表 99 刈谷市の子育てサービスの利用状況



■ 利用している・利用したことがある □ 利用したことはない □ 無回答

Ⅲ. 調査結果

12. 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について

(2) 刈谷市の子育てサービスの満足度・利用意向

問 利用している・利用したことがある方はそれぞれのサービスの満足度について、利用したことのない方は今後の利用意向についてお答えください。

【就学前：問 31-1】

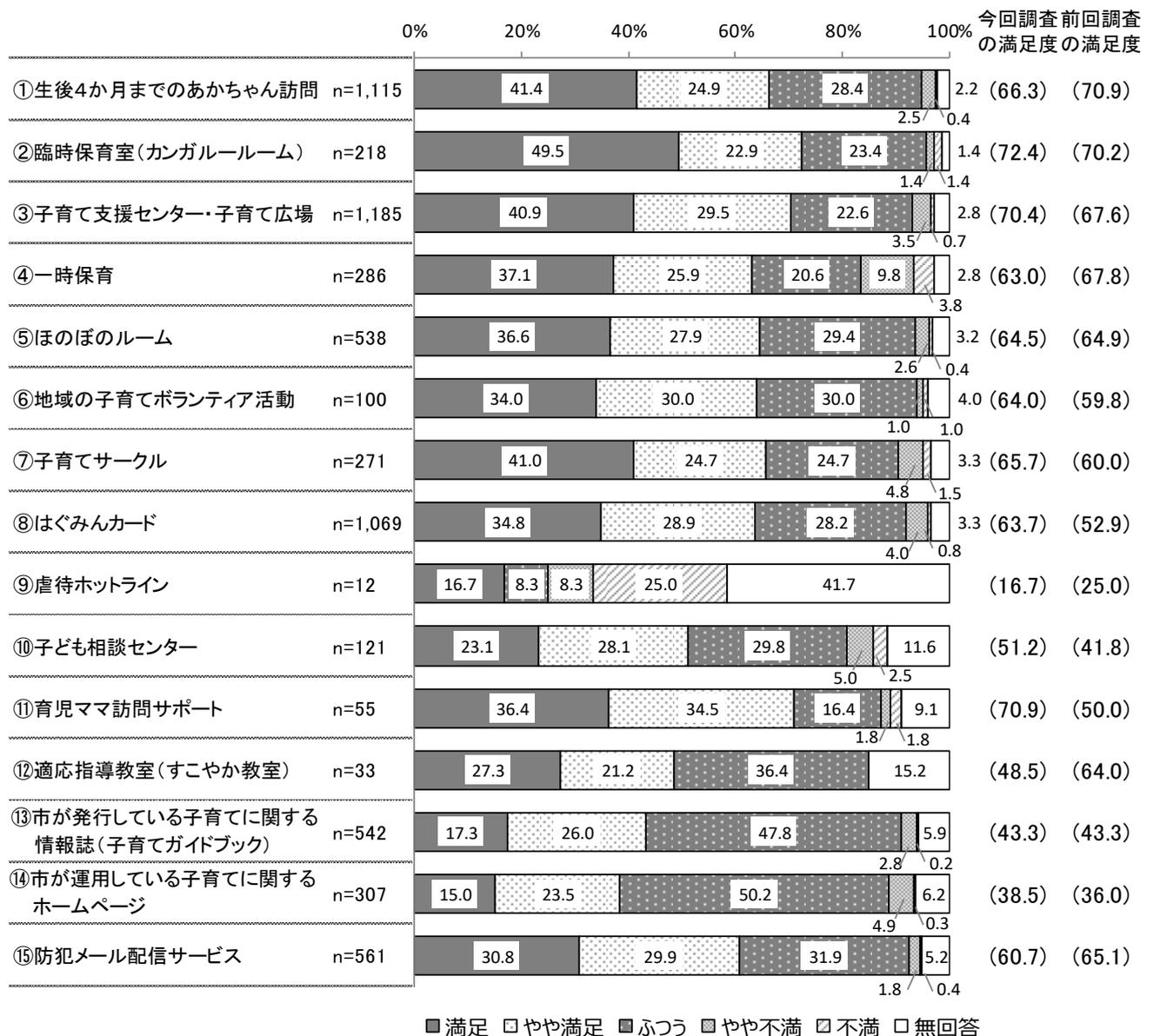
〈単数回答〉

刈谷市の子育てサービスの満足度は、「②臨時保育室（カンガルールーム）」、「③子育て支援センター・子育て広場」、「⑪育児ママ訪問サポート」では、“満足である”と回答した方が7割以上となっています。

※ “満足である”は「満足」と「やや満足」を合わせたもの

“不満である”は「不満」と「やや不満」を合わせたもの

図表 100 刈谷市の子育てサービスの満足度

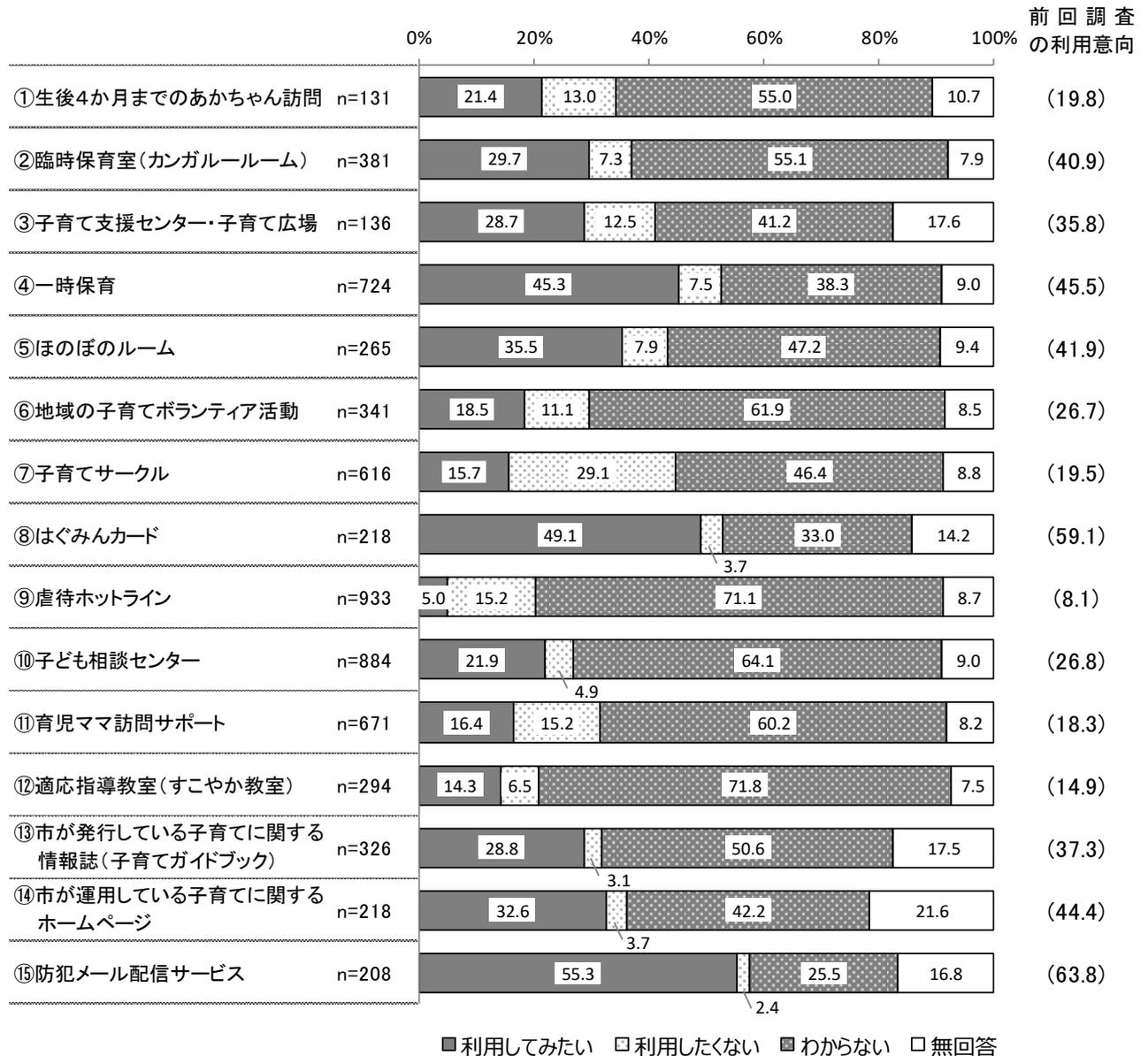


12. 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について

刈谷市の子育てサービスの利用意向は、「④一時保育」、「⑧はぐみんカード」、「⑮防犯メール配信サービス」では、「利用してみたい」が4割以上となっています。

一方で、「⑦子育てサークル」では、「利用したくない」が約3割となっています。

図表 101 刈谷市の子育てサービスの利用意向



Ⅲ. 調査結果

12. 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度について

(3) 刈谷市の子育てに関連する分野の満足度

問 あなたは、刈谷市における下記①～⑦の分野についてどのように感じていますか。

【就学前：問 32、小学生：問 21】

〈単数回答〉

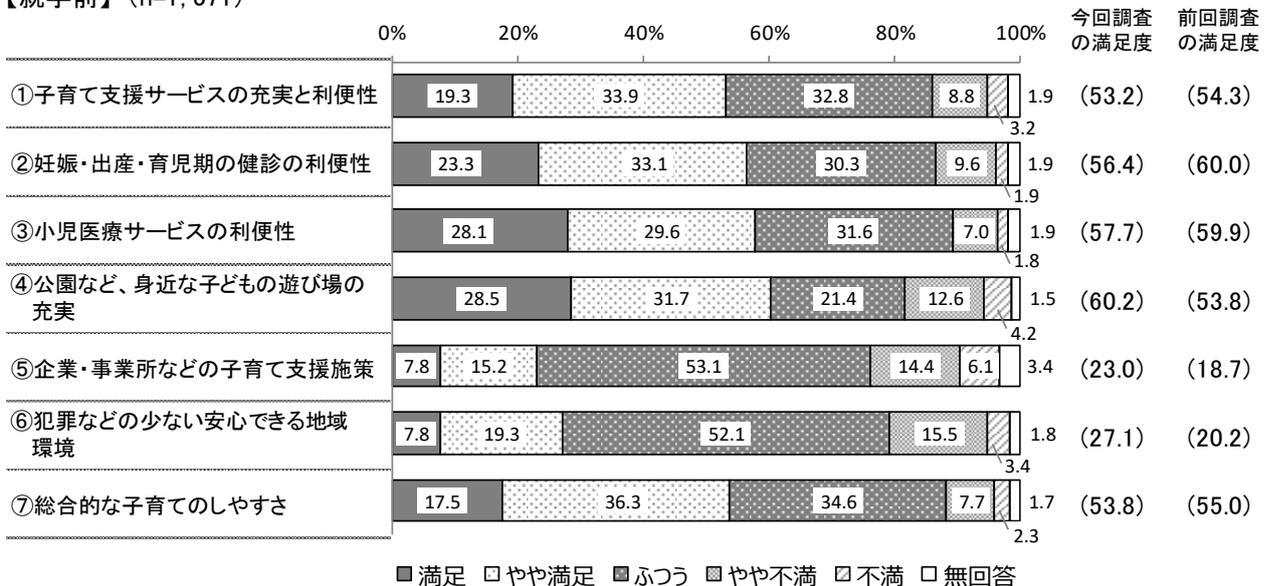
刈谷市の子育てに関連する分野の満足度は、就学前では、「②妊娠・出産・育児期の健診の利便性」、「③小児医療サービスの利便性」、「④公園など、身近な子どもの遊び場の充実」で“満足である”と回答した方が約6割となっています。

小学生では、「②妊娠・出産・育児期の健診の利便性」、「③小児医療サービスの利便性」、「④公園など、身近な子どもの遊び場の充実」、「⑦総合的な子育てのしやすさ」で“満足である”と回答した方が4割以上となっています。

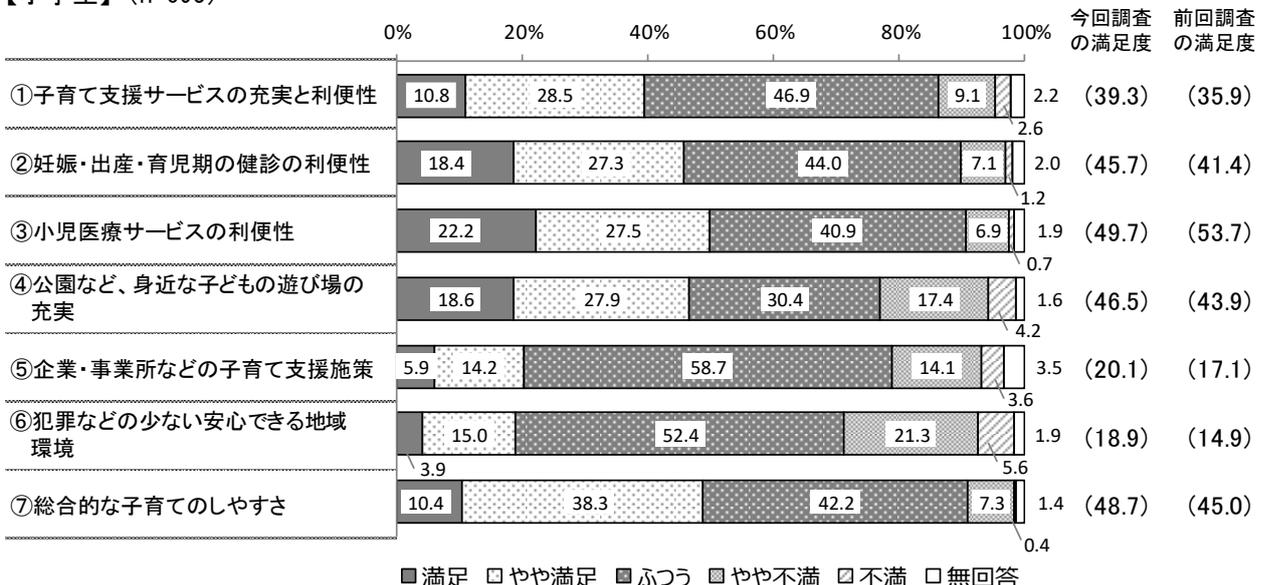
※ “満足である”は「満足」と「やや満足」を合わせたもの

図表 102 刈谷市の子育てに関連する分野の満足度

【就学前】(n=1,371)



【小学生】(n=695)



13. 幼児教育・保育の無償化について

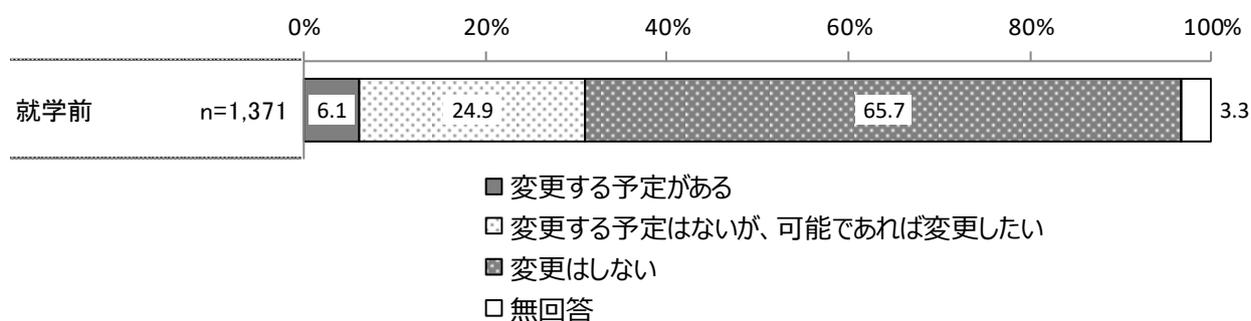
(1) 無償化による幼児教育・保育の利用変更の考え

問 あなたは、無償化によって、幼児教育・保育の利用を変更したいと考えますか。
【就学前：問33】

〈単数回答〉

無償化による幼児教育・保育の利用変更の考えは、「変更はしない」が65.7%と最も多く、次いで「変更する予定はないが、可能であれば変更したい」(24.9%)、「変更する予定がある」(6.1%)の順となっています。

図表 103 無償化による幼児教育・保育の利用変更の考え



Ⅲ. 調査結果

13. 幼児教育・保育の無償化について

(2) 無償化による幼児教育・保育への影響や効果

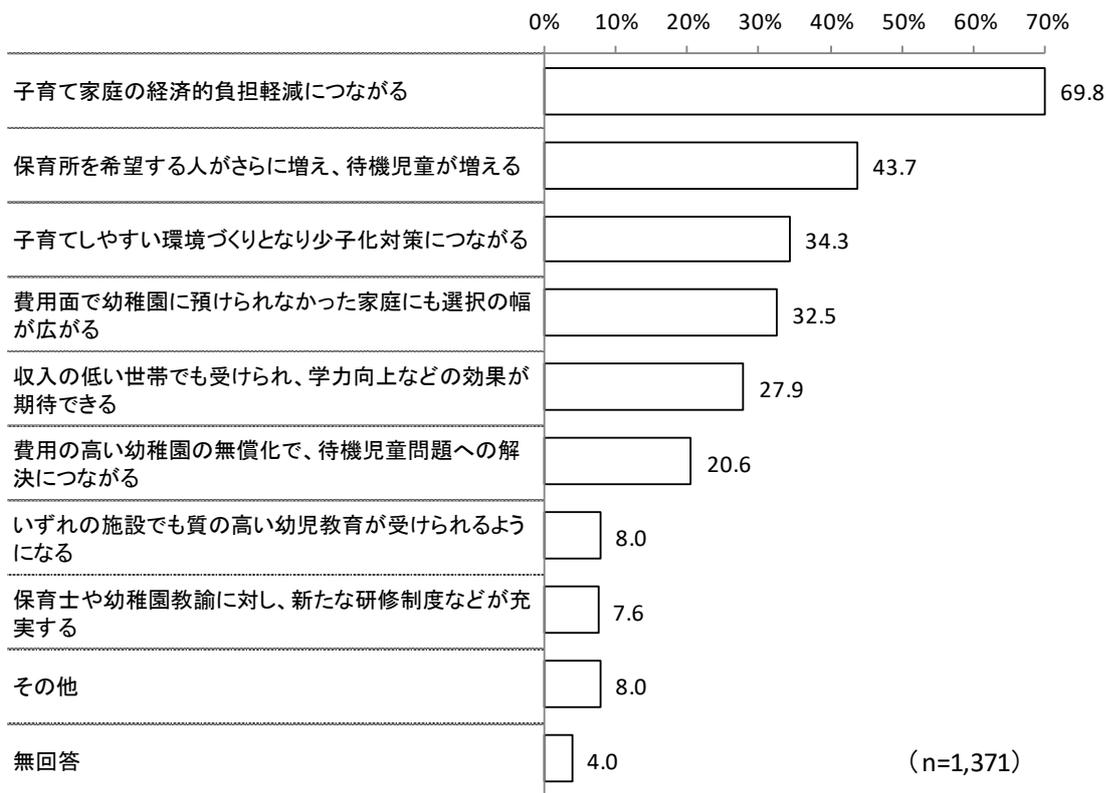
問 あなたは、無償化によって、幼児教育・保育にどのような影響や効果があると思いますか。

【就学前：問 34】

〈複数回答〉

無償化による幼児教育・保育への影響や効果は、「子育て家庭の経済的負担軽減につながる」が69.8%と最も多く、次いで「保育所を希望する人がさらに増え、待機児童が増える」(43.7%)、「子育てしやすい環境づくりとなり少子化対策につながる」(34.3%)の順となっています。

図表 104 無償化による幼児教育・保育への影響や効果



14. 子育て全般について

(1) 子育ての楽しさの程度

問 あなたは、自身の子育てについての楽しさの程度はどのように感じていますか。

【就学前：問 35、小学生：問 22】

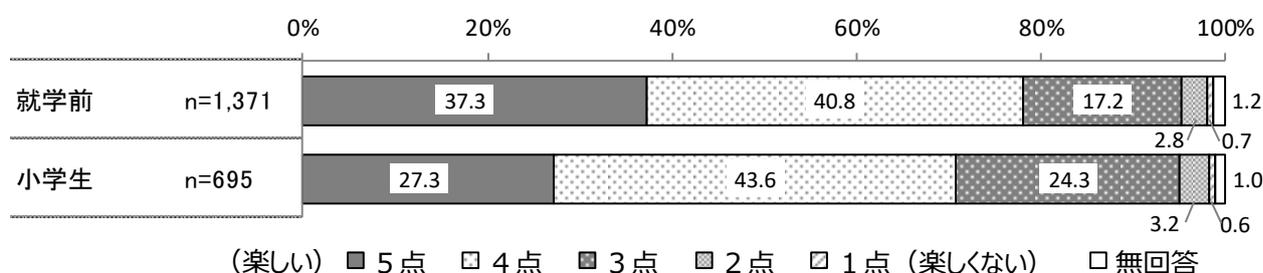
〈単数回答〉

子育ての楽しさの程度は、就学前では、「4点」が40.8%と最も多く、次いで「5点」(37.3%)、「3点」(17.2%)、「2点」(2.8%)、「1点」(0.7%)の順となっています。

小学生でも、「4点」が43.6%と最も多く、次いで「5点」(27.3%)、「3点」(24.3%)、「2点」(3.2%)、「1点」(0.6%)の順となっています。

※点数が上がるにしたがって楽しい

図表 105 子育ての楽しさの程度



(2) 子育てのつらさの程度

問 あなたは、自身の子育てについてのつらさの程度はどのように感じていますか。

【就学前：問 36、小学生：問 23】

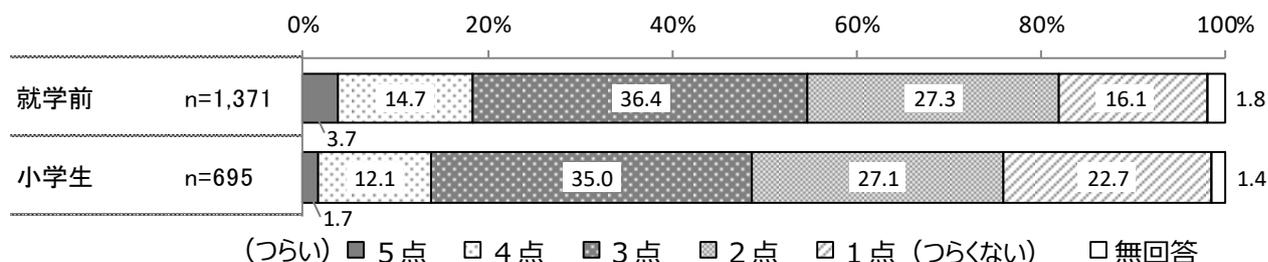
〈単数回答〉

子育てのつらさの程度は、就学前では、「3点」が36.4%と最も多く、次いで「2点」(27.3%)、「1点」(16.1%)、「4点」(14.7%)、「5点」(3.7%)の順となっています。

小学生でも、「3点」が35.0%と最も多く、次いで「2点」(27.1%)、「1点」(22.7%)、「4点」(12.1%)、「5点」(1.7%)の順となっています。

※点数が上がるにしたがってつらい

図表 106 子育てのつらさの程度



Ⅲ. 調査結果

14. 子育て全般について

(3) 子育て支援にかかる地域の状況

問 あなたは、子どもが生まれてからの子育て支援にかかる地域の状況についてどのように感じていますか。

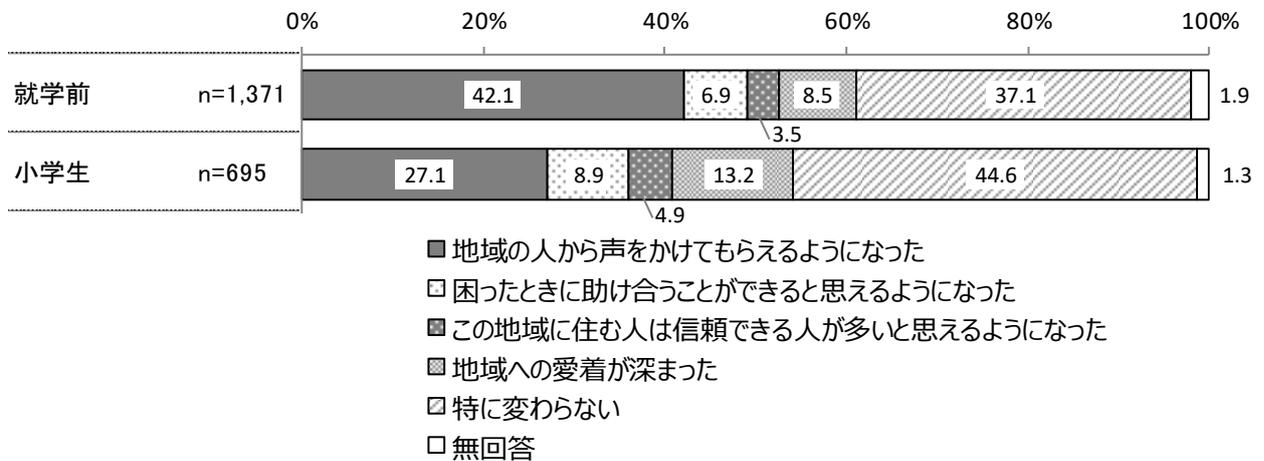
【就学前：問 37、小学生：問 24】

〈単数回答〉

子育て支援にかかる地域の状況は、就学前では、「地域の人から声をかけてもらえるようになった」が42.1%と最も多く、次いで「特に変わらない」(37.1%)、「地域への愛着が深まった」(8.5%)の順となっています。

小学生では、「特に変わらない」が44.6%と最も多く、次いで「地域の人から声をかけてもらえるようになった」(27.1%)、「地域への愛着が深まった」(13.2%)の順となっています。

図表 107 子育て支援にかかる地域の状況



(4) 刈谷市の子ども遊び場について不満に感じること

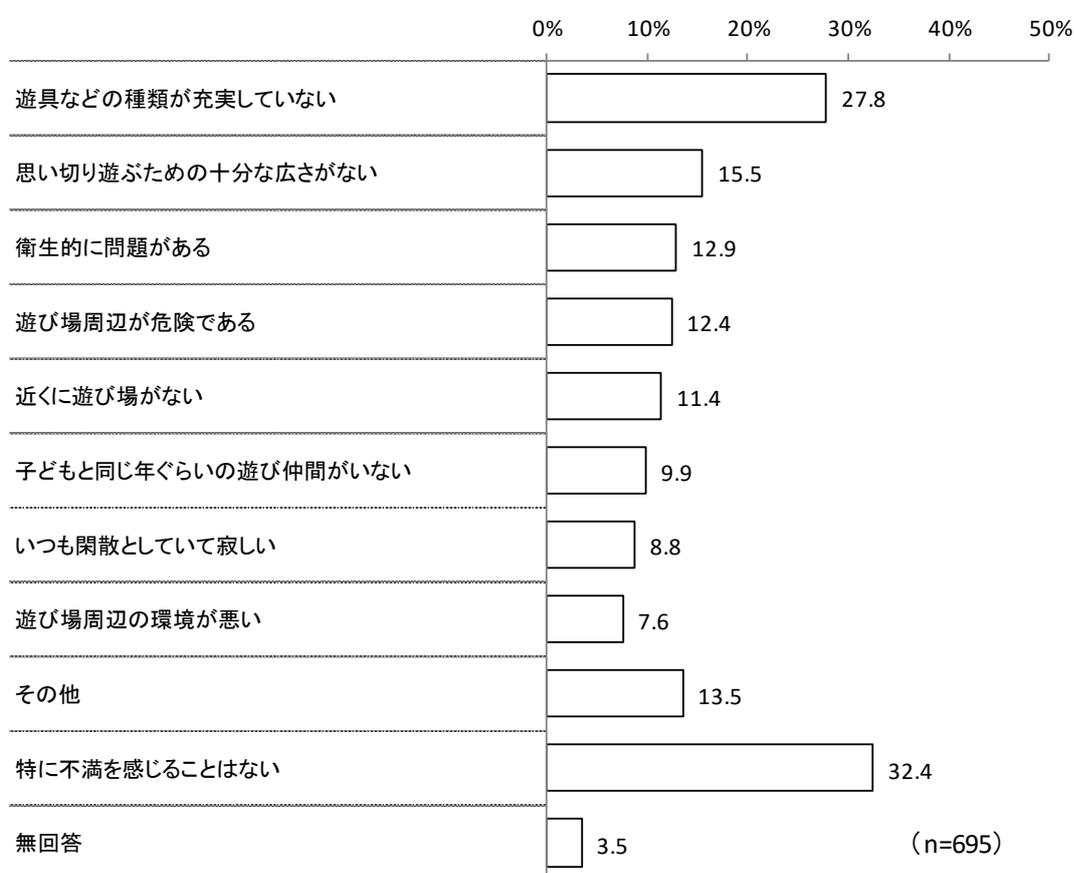
問 あなたは、刈谷市の地域の子ども遊び場について日ごろから不満を感じていることはありますか。

【小学生：問 25】

〈複数回答〉

刈谷市の子ども遊び場について不満に感じることは、「遊具などの種類が充実していない」が27.8%と最も多く、次いで「思い切り遊ぶための十分な広さがない」(15.5%)、「衛生的に問題がある」(12.9%)、「遊び場周辺が危険である」(12.4%)、「近くに遊び場がない」(11.4%)の順となっています。

図表 108 刈谷市の子ども遊び場について不満に感じること



Ⅲ. 調査結果

14. 子育て全般について

(5) 刈谷市の子育て施策の満足度

問 あなたは、刈谷市の子育て施策についてどのように感じていますか。

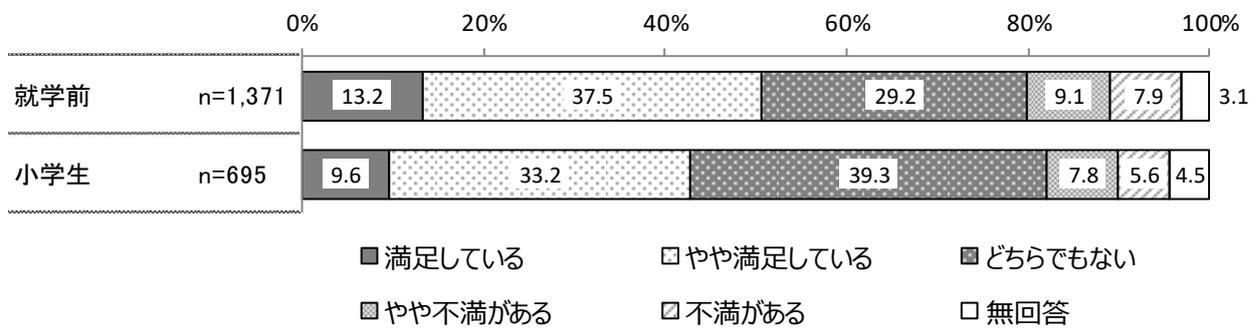
【就学前：問 38、小学生：問 26】

〈単数回答〉

刈谷市の子育て施策の満足度は、就学前では、「やや満足している」が 37.5%と最も多く、次いで「どちらでもない」(29.2%)、「満足している」(13.2%)、「やや不満がある」(9.1%)、「不満がある」(7.9%)の順となっています。

小学生では、「どちらでもない」が 39.3%と最も多く、次いで「やや満足している」(33.2%)、「満足している」(9.6%)、「やや不満がある」(7.8%)、「不満がある」(5.6%)の順となっています。

図表 109 刈谷市の子育て施策の満足度



就学前の刈谷市の子育て施策の満足度別子育てに関連する分野の満足度をみると、施策に対し“不満に感じている人”（「不満がある」＋「やや不満がある」）の中でも、「②妊娠・出産・育児期の健診の利便性」、「③小児医療サービスの利便性」、「④公園など、身近な子どもの遊び場の充実」では満足（「満足」＋「やや満足」）が不満（「不満」＋「やや不満」）を上回っています。

図表 110 子育て施策の満足度別子育てに関連する分野の満足度 (%)

【就学前】

		調査数	①子育て支援サービスの充実と利便性					無回答
			満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
調査数		1,371	19.3	33.9	32.8	8.8	3.2	1.9
て刈谷市の満足度	満足	695	33.5	46.8	16.5	1.7	0.3	1.2
	どちらでもない	401	3.5	24.4	62.3	7.0	1.2	1.5
	不満	233	3.4	14.6	30.5	34.3	15.5	1.7
		調査数	②妊娠・出産・育児期の健診の利便性					
調査数		1,371	23.3	33.1	30.3	9.6	1.9	1.9
て刈谷市の満足度	満足	695	36.4	41.6	15.3	4.9	0.4	1.4
	どちらでもない	401	7.2	25.2	53.4	12.0	1.5	0.7
	不満	233	12.9	21.9	36.9	18.9	7.3	2.1
		調査数	③小児医療サービスの利便性					
調査数		1,371	28.1	29.6	31.6	7.0	1.8	1.9
て刈谷市の満足度	満足	695	41.7	35.1	18.6	3.2	0.3	1.2
	どちらでもない	401	11.7	25.9	50.4	9.7	1.0	1.2
	不満	233	15.9	21.5	39.1	14.2	7.7	1.7
		調査数	④公園など、身近な子どもの遊び場の充実					
調査数		1,371	28.5	31.7	21.4	12.6	4.2	1.5
て刈谷市の満足度	満足	695	39.9	35.8	14.2	7.5	1.6	1.0
	どちらでもない	401	13.7	29.9	33.4	17.5	5.0	0.5
	不満	233	18.9	24.9	22.3	21.5	10.7	1.7
		調査数	⑤企業・事業所などの子育て支援施策					
調査数		1,371	7.8	15.2	53.1	14.4	6.1	3.4
て刈谷市の満足度	満足	695	12.9	22.7	51.7	7.8	2.0	2.9
	どちらでもない	401	1.5	8.5	61.8	19.0	7.0	2.2
	不満	233	3.0	5.2	42.9	27.9	16.7	4.3
		調査数	⑥犯罪などの少ない安心できる地域環境					
調査数		1,371	7.8	19.3	52.1	15.5	3.4	1.8
て刈谷市の満足度	満足	695	12.5	27.3	46.5	10.5	2.0	1.2
	どちらでもない	401	1.7	10.5	63.8	20.2	2.7	1.0
	不満	233	3.9	12.0	50.2	23.6	8.2	2.1
		調査数	⑦総合的な子育てのしやすさ					
調査数		1,371	17.5	36.3	34.6	7.7	2.3	1.7
て刈谷市の満足度	満足	695	29.4	50.9	17.1	1.3	0.1	1.2
	どちらでもない	401	4.2	23.4	64.3	6.7	0.7	0.5
	不満	233	3.0	17.2	37.8	28.8	11.6	1.7

Ⅲ. 調査結果

14. 子育て全般について

小学生の刈谷市の子育て施策の満足度別子育てに関連する分野の満足度をみると、施策に対し“不満に感じている人”（「不満がある」＋「やや不満がある」）は、「②妊娠・出産・育児期の健診の利便性」や「③小児医療サービスの利便性」は、満足が不満を上回っています。一方で、「①子育て支援サービスの充実と利便性」や「⑥犯罪などの少ない安心できる地域環境」では不満度が高くなっています。

図表 111 子育て施策の満足度別子育てに関連する分野の満足度 (％)

【小学生】		調査数	①子育て支援サービスの充実と利便性					無回答
			満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	
調査数		695	10.8	28.5	46.9	9.1	2.6	2.2
て刈 施 策 市 満 足 子 度 育	満足	298	22.5	41.9	31.9	2.3	-	1.3
	どちらでもない	273	1.8	19.0	65.6	10.6	1.1	1.8
	不満	93	2.2	12.9	40.9	28.0	14.0	2.2
		調査数	②妊娠・出産・育児期の健診の利便性					
調査数		695	18.4	27.3	44.0	7.1	1.2	2.0
て刈 施 策 市 満 足 子 度 育	満足	298	31.5	36.6	27.9	2.7	0.3	1.0
	どちらでもない	273	8.4	19.8	60.4	8.4	0.7	2.2
	不満	93	9.7	19.4	47.3	18.3	4.3	1.1
		調査数	③小児医療サービスの利便性					
調査数		695	22.2	27.5	40.9	6.9	0.7	1.9
て刈 施 策 市 満 足 子 度 育	満足	298	32.9	35.2	28.5	2.7	-	0.7
	どちらでもない	273	13.2	22.7	51.6	9.2	1.1	2.2
	不満	93	18.3	17.2	49.5	11.8	2.2	1.1
		調査数	④公園など、身近な子どもの遊び場の充実					
調査数		695	18.6	27.9	30.4	17.4	4.2	1.6
て刈 施 策 市 満 足 子 度 育	満足	298	30.9	34.2	24.2	9.1	1.0	0.7
	どちらでもない	273	9.2	24.5	37.7	22.7	4.4	1.5
	不満	93	9.7	17.2	33.3	26.9	11.8	1.1
		調査数	⑤企業・事業所などの子育て支援施策					
調査数		695	5.9	14.2	58.7	14.1	3.6	3.5
て刈 施 策 市 満 足 子 度 育	満足	298	12.4	22.1	56.0	6.7	0.3	2.3
	どちらでもない	273	1.1	7.3	65.9	19.4	3.3	2.9
	不満	93	1.1	8.6	48.4	23.7	15.1	3.2
		調査数	⑥犯罪などの少ない安心できる地域環境					
調査数		695	3.9	15.0	52.4	21.3	5.6	1.9
て刈 施 策 市 満 足 子 度 育	満足	298	7.4	24.2	51.3	14.1	2.0	1.0
	どちらでもない	273	1.5	7.7	56.8	26.0	6.6	1.5
	不満	93	1.1	8.6	45.2	32.3	11.8	1.1
		調査数	⑦総合的な子育てのしやすさ					
調査数		695	10.4	38.3	42.2	7.3	0.4	1.4
て刈 施 策 市 満 足 子 度 育	満足	298	21.5	60.4	16.4	1.0	-	0.7
	どちらでもない	273	1.8	25.6	62.6	8.8	-	1.1
	不満	93	2.2	8.6	62.4	23.7	2.2	1.1

(6) 実際に持つ予定の子どもの数

問 あなたは、実際に何人の子どもを持つ予定ですか。

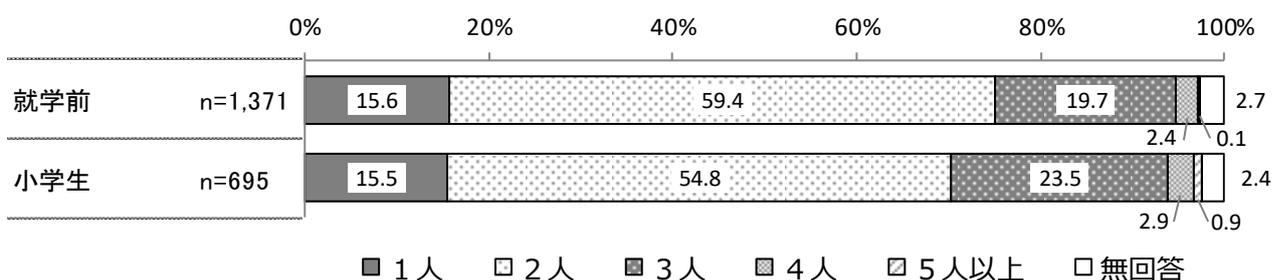
【就学前：問 39、小学生：問 27】

〈単数回答〉

実際に持つ予定の子どもの数は、就学前では、「2人」が59.4%と最も多く、次いで「3人」(19.7%)、「1人」(15.6%)の順となっています。

小学生でも、「2人」が54.8%と最も多く、次いで「3人」(23.5%)、「1人」(15.5%)の順となっています。

図表 112 実際に持つ予定の子どもの数



(7) 理想として持ちたい子どもの数

問 あなたは、理想として何人の子どもを持ちたいと考えますか。

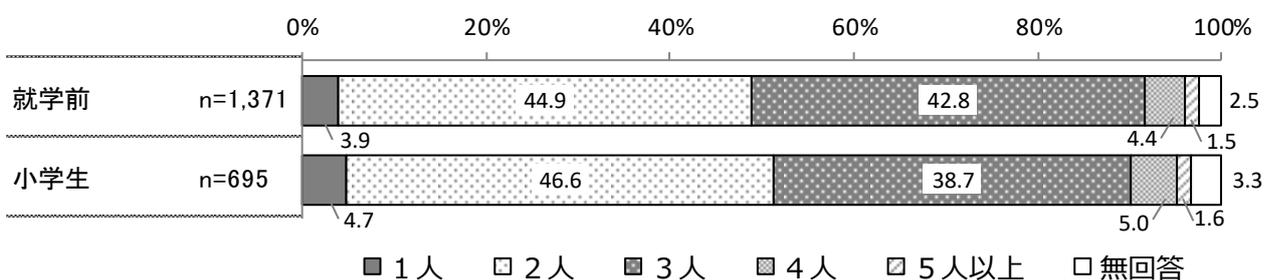
【就学前：問 40、小学生：問 28】

〈単数回答〉

理想として持ちたい子どもの数は、就学前では、「2人」が44.9%と最も多く、次いで「3人」(42.8%)の順となっています。

小学生でも、「2人」が46.6%と最も多く、次いで「3人」(38.7%)の順となっています。

図表 113 理想として持ちたい子どもの数



Ⅲ. 調査結果

14. 子育て全般について

実際に持つ予定の子どもの数と理想として持ちたい子どもの数との比較については、就学前では、実際の子どもを持つ予定が「1人」の場合は理想より少ない人が75.7%となっており、予定と理想の間に乖離がみられます。小学生においても同様の傾向がみられます。

図表 114 実際の子どもを持つ予定別理想として持ちたい子どもの数 (％)

【就学前】

		調査数	理想の子どもの人数					無回答
			1人	2人	3人	4人	5人以上	
調査数(就学前)		1,371	3.9	44.9	42.8	4.4	1.5	2.5
実際の子どもを持つ予定	1人	214	23.8	62.1	13.1	-	0.5	0.5
	2人	815	0.2	57.7	40.1	1.2	0.6	0.1
	3人	270	0.4	2.6	85.2	9.6	2.2	-
	4人	33	-	6.1	-	75.8	18.2	-
	5人以上	2	-	-	-	-	100.0	-
調査数(小学生)		695	4.7	46.6	38.7	5.0	1.6	3.3
実際の子どもを持つ予定	1人	108	29.6	54.6	12.0	-	-	3.7
	2人	381	-	65.6	30.2	2.4	0.8	1.0
	3人	163	0.6	5.5	84.7	7.4	0.6	1.2
	4人	20	-	10.0	5.0	70.0	10.0	5.0
	5人以上	6	-	16.7	-	-	83.3	-

(8) 市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度

問 あなたが、刈谷市外に住む友人や知人等へ刈谷市をおすすめするとしたら、おすすめの種類はどのように感じていますか。
 【就学前：問 41、小学生：問 29】

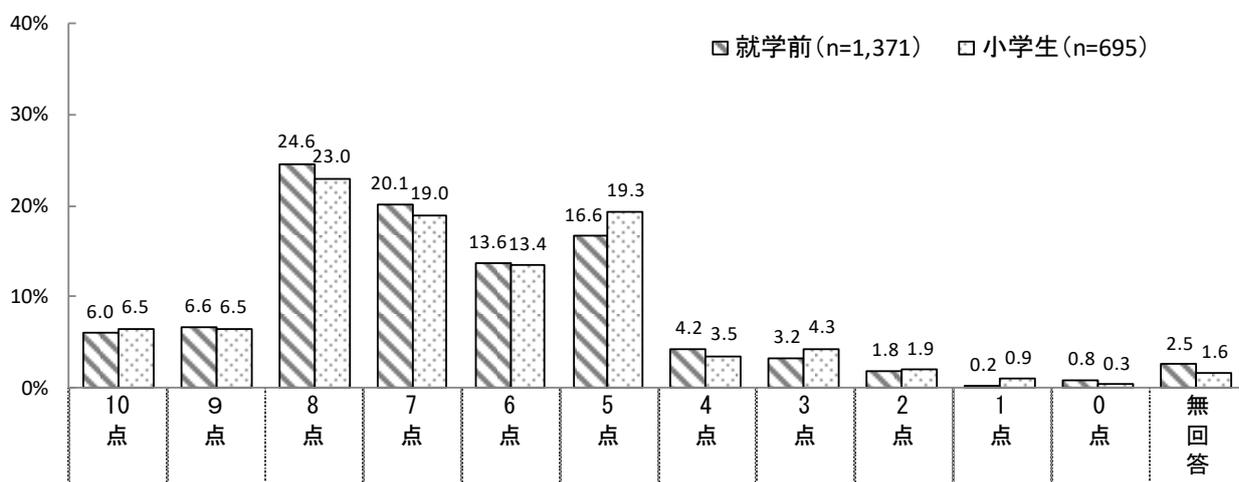
〈単数回答〉

市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度は、就学前では、「8点」が24.6%と最も多く、次いで「7点」(20.1%)、「5点」(16.6%)の順となっています。

小学生では、「8点」が23.0%と最も多く、次いで「5点」(19.3%)、「7点」(19.0%)の順となっています。

刈谷市の子育て施策の満足度別市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度をみると、就学前、小学生ともに満足度が高いほどおすすめの種類も高くなっています。

図表 115 市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度



図表 116 子育て施策の満足度別市外在住の友人・知人に対する刈谷市のおすすめの程度 (%)

	調査数	刈谷市外に住む友人や知人への刈谷市のおすすめ度											
		10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点	無回答
調査数(就学前)	1,371	6.0	6.6	24.6	20.1	13.6	16.6	4.2	3.2	1.8	0.2	0.8	2.5
て刈谷市 策市 満の 足子 度育	満足	695	9.5	10.9	38.3	23.3	9.1	6.8	0.7	0.6	0.4	-	0.4
	どちらでもない	401	2.2	2.5	12.0	19.2	23.7	28.9	5.5	3.5	1.0	-	0.5
	不満	233	1.7	1.7	8.6	14.2	11.2	25.8	12.9	11.2	7.7	1.3	3.9
調査数(小学生)	695	6.5	6.5	23.0	19.0	13.4	19.3	3.5	4.3	1.9	0.9	0.3	1.6
て刈谷市 策市 満の 足子 度育	満足	298	11.4	11.4	35.2	21.8	9.7	8.1	1.0	1.0	-	-	0.3
	どちらでもない	273	2.6	2.9	15.8	19.4	16.8	30.4	3.3	4.8	1.8	1.1	1.1
	不満	93	2.2	1.1	9.7	9.7	14.0	24.7	9.7	15.1	8.6	3.2	1.1

Ⅲ. 調査結果

15. 自由意見（主なもの）

15. 自由意見（主なもの）

(1) 就学前児童保護者

問 12 子育てや教育をする上で、周囲からどのようなサポートがあるとよいと考えますか。		
自由回答（問 12）	内容	件数
教育・保育事業全般	気軽に預けられる場所の充実（病院・買い物時等）	30 件
	緊急時の預かり等の支援（夜間含む）	22 件
	安心して子どもを預けられる施設の整備	5 件
	身近な場所での保育・教育施設の整備	3 件
	教育・保育施設の充実・拡充	2 件
保育	一時預かりの充実・拡充	41 件
	保育園の充実・拡充	19 件
	病児・病後児保育の充実	14 件
	ベビーシッターの紹介	5 件
	待機児童の解消	4 件
	病児・病後児保育の利用しにくさの解消	2 件
	土日・夜間保育の実施	2 件
	延長保育時間の拡充	1 件
	こども園の実施	1 件
	宅配サービスの実施	1 件
幼稚園	幼稚園の預かり保育の拡充	8 件
	公立幼稚園等におけるバスの送迎	2 件
	幼稚園における保護者会の実施	1 件
	先生とのコミュニケーションの増加	1 件
	教育セミナーの実施	1 件
子育て支援センター、児童館、ファミリー・サポート・センター等	ファミリー・サポート・センターの充実	8 件
	子育て支援センターの充実・拡充	7 件
	児童館の充実・拡充	3 件
	緊急時のサポート支援	2 件
	カンガルールームの充実	1 件
	入園一年前位の時期の過ごし方の指導	1 件
乳幼児健診	問診票などの共有	1 件
	小児健診を集団で実施、相談やアドバイス	1 件
	乳幼児健診の際の託児	1 件
保護者支援全般	保護者同士の交流、仲間づくり支援	14 件
	保護者への精神的サポート・話し相手等	9 件
	幼稚園・保育園・習い事などへの送迎支援	8 件
	預かり等による保護者のリフレッシュの機会の確保	4 件
	家事・育児支援	1 件
	障害児に対する行政の支援	1 件

15. 自由意見（主なもの）

自由回答（問 12）	内容	件数
相談支援	気軽に相談できる場、環境の整備	38 件
	専門家や経験者からのアドバイス	17 件
	子育て・教育に関する相談支援	13 件
	電話相談、ネット・ライン・メール相談等の充実	11 件
	訪問による相談支援	9 件
	相談方法の周知	2 件
	24 時間対応の相談窓口	1 件
	行政による定期的な面談	1 件
情報提供	子育て・教育の情報提供	17 件
	子育て・教育の情報誌・マップ等	4 件
	予防接種に関する情報	2 件
	アレルギーに関する情報提供	2 件
	情報提供してくれる場の設置	1 件
	メールやアプリによる情報提供	1 件
地域・周囲の支援等	周囲の育児サポート	7 件
	外出しやすい環境	6 件
	地域の子育てへの理解の促進	6 件
	地域における交流の増加	4 件
	地域の見守りの強化	2 件
教育・遊び場、イベント等	親子で参加できるイベント、教室等の充実	17 件
	子どもが集まる機会・場の確保	7 件
	習い事の斡旋	6 件
	農業や食育など体験教育の充実	3 件
	雨天時に利用できる遊び場の確保	2 件
	公園の整備	2 件
	幼児が参加できるイベント	1 件
	月齢に合わせた子育て、遊び等の指導	1 件
仕事と子育ての両立	父親の子育て参加に向けた支援	5 件
	仕事と子育てが両立できる環境	1 件
	父親が休める環境整備の拡充（有給消化の義務化）	1 件
手当等	経済的支援・手当の拡充	12 件
	保育料の軽減	2 件
その他	市役所の対応に対する不満	2 件
	行政手続きの代行	1 件
	夜間窓口の実施	1 件
	不妊治療のサポート	1 件
	平日の行事の廃止	1 件
	日・祝日に医療機関の開設	1 件
	施設職員の対応に対する不満	1 件

Ⅲ. 調査結果

15. 自由意見（主なもの）

問 42 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して		
自由回答（問 42）	内容	件数
保育園	預ける条件の見直し・拡大	60 件
	施設数・定員数の拡大	41 件
	待機児童の解消	19 件
	保育士の待遇の改善	8 件
	保育内容への不満、質の向上に向けた要望	8 件
	園・職員の対応に対する不満	7 件
	休日保育の実施	6 件
	利用時間の延長・拡大	6 件
	乳児型保育園の充実	6 件
	園庭開放の延長	4 件
	医師や看護師の常駐、病院と連携した保育所	3 件
	保育料の軽減	2 件
	行事の開催日等の配慮	2 件
	設備の改善	2 件
	兄弟で同じ園に入れてほしい	2 件
	入園手続き・入園決定時期の見直し	1 件
	早めの入所可否の連絡	1 件
病児・病後児保育	利用のしやすさ	4 件
	利用時間の延長・拡大	4 件
	施設の増加	2 件
一時保育	利用のしやすさ	21 件
	一時保育の充実	13 件
認可外保育施設	保育環境の改善・充実	1 件
認定こども園	認定こども園の設置希望	7 件
幼稚園	預かり保育の利用時間の拡大	32 件
	送迎（車・バス）	9 件
	施設数・定員数の拡大	8 件
	駐車場の設置	8 件
	教育の充実	7 件
	職員の教育	3 件
	アレルギー児への対応	3 件
	申し込み方法・期限の改善	3 件
	預かり保育の預ける条件の緩和	2 件
	保育料の軽減	2 件
	給食の充実	1 件
	P T A活動の負担軽減	1 件
	不審者等に対する安全対策	1 件
	兄弟で同じ園に入れてほしい	1 件

15. 自由意見（主なもの）

自由回答（問 42）	内容	件数
子育て支援センター	職員の対応に対する不満	7 件
	設備・環境の改善	5 件
	飲食スペースの確保	5 件
	利用対象の拡大	3 件
	駐車場の設置	3 件
	土日の開放	3 件
	イベントの充実	3 件
	保護者への支援	1 件
放課後児童クラブ	サービスの質の向上	4 件
	給食・夕食・おやつを提供	4 件
	施設数の拡大	3 件
	利用時間の拡大	2 件
	高学年の利用拡大	1 件
	祝日の開放	1 件
児童館	施設の設置・充実	3 件
	設備の充実	2 件
	衛生面の充実	1 件
小学校	制服の廃止	2 件
	小学校区の変更	1 件
	親の負担の軽減	1 件
	設備の充実	1 件
	給食費の無料化	1 件
ファミリー・サポート・センター	利用方法の改善	1 件
子育て環境	施設・サービスの充実	11 件
	イベントの開催	7 件
	地域の人との交流	6 件
	親への負担軽減	5 件
	親同士が交流できる場の設置	5 件
	子育てしやすい環境づくり	3 件
	子育てボランティアへのサポート	1 件
	親の教育する機会の実施	1 件
	幼稚園のPTAの負担	1 件
子育て関連施設	雨天時等に利用できる室内施設の整備	14 件
	図書館の充実	7 件
	子どもたちだけで遊べる場所の充実	2 件

Ⅲ. 調査結果

15. 自由意見（主なもの）

自由回答（問 42）	内容	件数
公園	設備の充実	19 件
	新しい公園の整備	6 件
	公園の整備（汚いから）	4 件
	自然とのふれあいが少ない	3 件
	トイレの整備	2 件
	安全面の確保	1 件
安全・安心	防犯対策	11 件
	交通安全対策	10 件
	地域における見守り	3 件
	不審者対策	1 件
障害児	施設・サービスの充実	3 件
	障害児に対する支援の充実	2 件
	安心して預けられる環境の整備	1 件
	発達に関する情報共有の手段	1 件
	学校の先生の知識不足	1 件
ひとり親	ひとり親家庭の理解と支援	4 件
仕事と子育ての両立	職場の理解	4 件
	育児をしながら働ける環境の整備	4 件
	地域における理解	1 件
小児保健・小児医療	インフルエンザ等の予防接種の補助	9 件
	小児科の設置	3 件
	土曜・日曜日の診察の実施	2 件
	予防接種実施日の見直し	1 件
	子どもの医療費の 18 歳まで無料化	1 件
	母子健康手帳の交付時間の曜日・時間の見直し	1 件
乳幼児健診	実施日・時間の配慮・工夫	6 件
	待ち時間が出ないような工夫・改善	2 件
	実施場所の増加	2 件
	受付の工夫	1 件
	内容の充実・不満	1 件
出産	不妊治療に対する周知・補助	5 件
	産後うつへの対応	5 件
	産後のサポート	3 件
	産婦人科の充実	2 件
	出産祝い金制度の導入	1 件
	妊娠中の妊婦検診の無料化	1 件
保護者向け講座・教室	カンガールームの充実	6 件
相談支援	気軽に相談できる場	5 件
	シングルマザーの相談所	1 件
情報提供	子育て情報の充実	14 件

15. 自由意見（主なもの）

自由回答（問 42）	内容	件数
無償化	保育料の無償化	5 件
	無償化は不公平	2 件
	無償化はあまり意味がない・反対	2 件
	給食費の無償化	2 件
	成人するまで無償化	1 件
	障害のある子も無償化	1 件
	無償化の情報提供	1 件
	保育時間の統一化	1 件
行政	子育て関連施策の充実	5 件
	窓口・職員の対応に対する不満	4 件
	税金の使い道への要望	3 件
	書類等の手続きの簡素化	2 件
	課の連携の強化	1 件
	行政の柔軟性の強化	1 件
公共交通機関	利用しやすさへの要望	3 件
アンケート	内容への要望	11 件
	返信用封筒のサイズ	1 件
	対象年齢について	1 件
	個人情報について	1 件
経済的支援	子どもが多い家庭に対する経済的支援	3 件
	成人まで教育料の無料化	1 件
	子育て給付金の増額	1 件
	子育て家庭に対する経済的支援	1 件
	働けなくなったときのサポート	1 件
その他	家から施設（市の施設、ごみ置き場）が遠い	2 件
	不登校の施設の充実	1 件
	ひかりっこの充実	1 件
	外国人の子育て支援	1 件
	教室での遠隔カメラの設置	1 件
	健康診断における託児サービスの設置	1 件

Ⅲ. 調査結果

15. 自由意見（主なもの）

（2）小学生児童保護者

問 10 子育てや教育をする上で、周囲からどのようなサポートがあるとよいと考えますか。		
自由回答（問 10）	内容	件数
放課後児童クラブ等	緊急時の預かり等の支援	27 件
	長期休業中の預かり支援	5 件
	放課後児童クラブの対象年齢の拡充	4 件
	夜間の預かり支援	4 件
	祝日の預かり支援	3 件
	気軽に利用できる預かり支援	3 件
	放課後児童クラブの時間延長、曜日の拡充	2 件
	放課後児童クラブの内容の充実	2 件
	放課後子ども教室の充実	2 件
	長期休業期間中の預かり時の昼食の支給	2 件
	放課後児童クラブの職員の対応に対する不満	1 件
	放課後児童クラブでの職員の加配	1 件
	制限があるため兄弟での利用ができない	1 件
病児・病後児保育	病児・病後児保育の充実	10 件
ファミリー・サポート・センター	ファミリー・サポート・センターの充実	3 件
	ファミリー・サポート・センターの使いづらさ	3 件
	地域間の連携の強化	1 件
学校	学校生活における教育等の支援	2 件
	学校や専門の人にメールによる相談	2 件
	学校でのカウンセリング	2 件
	学校での様子の伝達	1 件
	登下校の安全	1 件
	障害に対する理解を深める教育	1 件
	職員の資質の向上	1 件
	経済的支援	1 件
相談支援	気軽に相談できる場、環境	16 件
	保健センターや健診時での相談	2 件
	子育て・教育に関する相談支援	2 件
	体験談やアドバイス	2 件
	発達障害に対する相談	2 件
	子どもに対するアドバイス	1 件
	土日の相談窓口の設置	1 件
	誰にも口外しない相談先	1 件
	相談先がわからない	1 件
	行政の窓口の対応に対する不満	1 件
情報提供	声掛けや情報提供	3 件
	予防接種の情報提供	1 件
	習い事の口コミ情報	1 件
	福祉の情報提供	1 件
	子育てブック刈谷版の作成	1 件
	一斉メールによる案内	1 件

15. 自由意見（主なもの）

自由回答（問 10）	内容	件数
地域・周囲の支援等	地域における交流の増加	6 件
	登下校時等の見守りの充実	3 件
	周囲の子育てへの理解促進、支援	2 件
	災害時の見守り支援	2 件
	公園などにカメラの設置（不審者対策）	1 件
	障害に対する周囲の理解	1 件
	交通当番に対する支援	1 件
教育・遊びの場、イベント等	子どもたちが交流するイベント	1 件
	子育て中の親の講座	1 件
	安全な公園	1 件
送迎等	塾や習い事への送迎	7 件
	小学校への送迎	1 件
施設	児童館の設置	6 件
	子育て施設の充実	4 件
	学校での預かり	1 件
	児童館の職員の対応に対する不満	1 件
その他	経済的な支援	3 件
	母親の負担を減らし安心できるサポート	1 件
	公民館でそろばんなど教育の場の提供	1 件
	職員の対応に対する不満	1 件
	時間外に預けられる託児所	1 件

Ⅲ. 調査結果

15. 自由意見（主なもの）

問 30 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して		
自由回答（問 30）	内容	件数
保育園	施設数・定員数の拡大	6 件
	審査時の対応改善	2 件
	時間外保育の充実	1 件
	待機児童の解消	1 件
	保育内容への不満	1 件
	保育所の安全面の整備	1 件
	オムツの持ち帰り	1 件
一時預かり	小学校低学年の祝日の預かり	1 件
	長期休業中の預かり	1 件
児童館	施設数・規模の拡大	2 件
放課後児童クラブ	職員の対応・質に対する不満	4 件
	預ける条件の緩和	3 件
	日曜日・祝日の実施	2 件
	内容の充実	2 件
	高学年の利用拡大	1 件
	長期休業期間中の利用拡大	1 件
	金額が高い	1 件
放課後子ども教室	放課後子ども教室の拡大	1 件
	迎えが必要なので不便	1 件
小学校	部活動の充実	3 件
	かりがね地区の児童・生徒数の増加	2 件
	学校行事の充実	2 件
	支援学校の充実	2 件
	学校教育内容の充実	2 件
	設備・施設の充実	1 件
	持ち物の軽減	1 件
	通学団集団登校に対する不満（平成小）	1 件
	小学校生活のサポートの充実	1 件
公園	安全面の確保	4 件
	トイレの整備	3 件
	設備の充実	2 件
子育て環境	安心できるサポート	5 件
	ファミリーサポートへの支援	2 件
	施設の充実	2 件
	経済的支援	2 件
	ネットワークづくり	1 件
	相談窓口の充実	1 件
	地域活動の負担軽減	1 件

15. 自由意見（主なもの）

自由回答（問 30）	内容	件数
安全・安心	交通安全対策	5 件
	不審者対策	3 件
	安心して遊べる場所・環境の整備	1 件
	個人情報の保護	1 件
子どもの居場所	雨天時等に利用できる場所の確保	3 件
	自然と触れ合える場所の確保	3 件
	子どもが安心して遊べる場所の提供	1 件
障害児	まわりの人の障害に対する理解	2 件
	イベントへの参加方法の改善	2 件
	障害のある子どもを預けられる所の拡充	1 件
	スタッフの加配	1 件
仕事と子育ての両立	母親が働きやすい環境の整備	2 件
小児保健・小児医療	インフルエンザ等の予防接種の補助	3 件
	子どもの医療費を高校卒業まで無償化	2 件
アンケート	質問内容に対する不満	3 件
その他	市役所職員の対応に対する不満	2 件
	不妊治療に対する支援	1 件
	子ども手当の対象年齢の制限の拡充（撤廃）	1 件

IV. 調査票

就学前児童保護者

IV. 調査票

刈谷市の子ども・子育てに関するアンケート調査

【就学前児童保護者の方への調査ご協力をお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

さて、国の「子ども・子育て支援新制度」は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、「第2次刈谷市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見などを把握するべく、「刈谷市の子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施することとなりました。

この調査は、刈谷市にお住まいの、就学前のお子さんをお持ちの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

刈谷市長 竹中 良則

【調査票をお送りした方の選び方】

- 刈谷市内の0～5歳児の方の中から無作為に選びました。
- 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについて、お子さんの保護者の方がご記入ください。

【プライバシーへの配慮】

- 名前や住所を書く必要はありません。回答は統計的に処理し、個人を特定することはありません。また、上記の調査目的以外には使用しません。

【回答にあたってのお願い】

- 設問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。「○は1つ」、「あてはまる番号すべてに○」などの指示にしたがって回答してください。
- 設問によっては、□内に人数や時間を直接記入するものがありますのでご注意ください。
- 選択肢の内、その他を選んだ場合は（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- 答えたくない質問やあてはまらない質問には、答えなくても結構です。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて11月30日(金)までにポストに投函してくださるようお願いいたします。

記入にあたって

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

刈谷市 次世代育成部 子育て推進課

電話：0566-62-1061（ダイヤルイン）

FAX：0566-24-3481

e-mail：ksuishin@city.kariya.lg.jp

IV. 調査票

就学前児童保護者

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問7 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親
3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他 ()

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問8 あて名のお子さんの子育てや教育に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. 祖父母
4. 幼稚園 5. 保育所 6. 認定こども園
7. その他 ()

問9 あて名のお子さんの子育てや教育に、影響すると思われる環境について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園
4. 保育所 5. 認定こども園 6. その他 ()

問10 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる } ⇒問10-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる }
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる } ⇒問10-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる }
5. いずれもない ⇒問11へ

IV. 調査票

就学前児童保護者

4. あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

問 13（1） 母親についてうかがいます。【父子家庭の場合は記入不要です】
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|---------------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している | } ⇒問 13
(1) - 1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒問 13（2）へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

問 13（1） - 1 問 13（1）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字です。）

1週当たり 日 1日当たり 時間 分

問 13（1） - 2 問 13（1）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず「(例) 08時00分、18時30分」のように、24時間制でご記入ください。
（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字です。）

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問 13 (2) 父親についてうかがいます。【母子家庭の場合は記入不要です】
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している
- 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している
- 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
- 6. これまで就労したことがない

⇒問 13
(2) - 1へ

⇒問 15へ

問 13 (2) - 1 問 13 (2) で「1～4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字です。)

1週当たり 日 1日当たり 時間 分

問 13 (2) - 2 問 13 (2) で「1～4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時刻は、必ず「(例) 08時00分、18時30分」のように、24時間制でご記入ください。

(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字です。)

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問 14 問 13 (1) または問 13 (2) で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	フルタイムへの転換希望（当てはまる番号1つに○）
1	1	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

IV. 調査票

就学前児童保護者

問 15 問 13 (1) または問 13 (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。(1) 母親、(2) 父親それぞれについて、当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

5. あて名のお子さんの平日(月曜日から金曜日)の定期的な幼稚園や保育所などの利用状況についてうかがいます

問 16 あて名のお子さんは現在、定期的に幼稚園や保育所など子どもを預かる施設やサービスを利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒問 16-1へ

2. 利用していない ⇒問 16-5へ

問 16-1 問 16-1～問 16-4 は、問 16 で、「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さんは、平日どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用しているサービスについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間だけ利用している）
2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらっている）
3. 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育園や私立保育園）
4. 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育園がある施設）
5. 家庭的保育（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス）
6. 事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
7. その他の認可外の保育施設
8. 居宅訪問型保育（保育士などが自宅を訪問して子どもをみてるサービス）
9. ファミリー・サポート・センター
（市役所の委託を受けたセンターに登録している地域住民が子どもを預かるサービス）
10. その他（)

問 16-2 平日に定期的に利用している幼稚園や保育所などについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、利用時間帯は何時何分から何時何分までかを、□内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず「(例) 09 時 00 分～18 時 30 分」のように 24 時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字です。）

	1 週当たり	利用時間帯							
①現在	□ □ 日	□ □ 時	□ □ 分	～	□ □ 時	□ □ 分	□ □ 時	□ □ 分	□ □ 分
②希望	□ □ 日	□ □ 時	□ □ 分	～	□ □ 時	□ □ 分	□ □ 時	□ □ 分	□ □ 分

問 16-3 現在、利用している幼稚園や保育所などはどこにありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。なお、「2. 刈谷市外」を選択した方は、() 内に具体的な市町村名をご記入ください。

1. 刈谷市内
2. 刈谷市外（市町村名：)

問 16-4 平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用している理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定である／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育てをしている方が病気や障害がある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（)

IV. 調査票

就学前児童保護者

問 16-5 問 16 で「2. 利用していない」に○をつけた方にかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。
なお、「8」を選択した方は、何歳くらいになったら利用したいかをご記入ください。

1. 子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、幼稚園や保育所などに空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、サービスの質や場所など、納得できる幼稚園や保育所などが無い
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ ）

問 17 すべての方にかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日利用できる施設やサービスとして、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担（保育料等）が発生します。

1. 幼稚園（通常の就園時間だけ利用する）
2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育
（通常の就園時間に利用し、さらに時間を延長して、定期的に預かってもらう）
3. 認可保育所（市役所に申し込んで入る公立保育園や私立保育園）
4. 認定こども園（施設の中に幼稚園と保育園がある施設）
5. 小規模な保育施設
（主に3歳未満の子どもをおおむね6～19人預かる施設で、市役所が認可したもの）
6. 家庭的保育（保育士などがその自宅などで子どもを預かるサービス）
7. 事業所内保育施設（会社や病院が主に従業員のために子どもを預かる施設）
8. 市役所が認証・認定した保育施設（認可外だが、市役所が定める基準を満たした施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（保育士などが自宅を訪問して子どもをみてるサービス）
11. ファミリー・サポート・センター
（市役所の委託を受けたセンターに登録している地域住民が子どもを預かるサービス）
12. その他（ ）

問 17-1 幼稚園や保育所などを利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。「2. 刈谷市外」を選択した方は、（ ）内に具体的な市町村名をご記入ください。

1. 刈谷市内
2. 刈谷市外（市町村名：）

問 17-2 問 17 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園＋幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3～12」のいずれかに○をつけた方にかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい
2. いいえ

6. あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問 18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」「子育て広場」等と呼ばれています。）を利用してありますか。次の中から、利用しているものについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字です。）

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）

→1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度

2. その他、市で実施している類似の事業（具体名： ）

→1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度

3. 利用していない

問 19 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字です。）

1. 利用していないが、今後利用したい

→1週当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

→1週当たり さらに 回 もしくは 1か月当たり さらに 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

IV. 調査票

就学前児童保護者

7. あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問 20 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日それぞれに、定期的な幼稚園や保育所などの利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます。）（1）～（3）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また希望がある場合は、利用したい時間帯を、□内に必ず「(例) 09時00分から18時30分」のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字です。）

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担（保育料等）が発生します。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

⇒利用したい時間帯

□ □ 時 □ □ 分から □ □ 時 □ □ 分まで

（2）日曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

⇒利用したい時間帯

□ □ 時 □ □ 分から □ □ 時 □ □ 分まで

（3）祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

⇒利用したい時間帯

□ □ 時 □ □ 分から □ □ 時 □ □ 分まで

問 20-1 問 20（1）～（3）いずれかで、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため

2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため

3. 親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他（

）

IV. 調査票

就学前児童保護者

問 22-2 問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ア」「イ」の日数のうち利用しなかった日数についても口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料(保育料等)がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 日 ⇒問 22-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育所などに併設した施設で子どもをみてるサービス
2. 小児科に併設した施設で子どもをみてるサービス
3. 地域住民などがその自宅などで子どもをみてるサービス(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. 子育て支援センターなどに併設した施設で子どもをみてるサービス
5. 勤務先に併設した施設で子どもをみてるサービス
6. その他()

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思う理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()

問 22-5 問 22-1 で「ウ~ケ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ~ケ」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい ⇒ 日 ⇒問 23 へ
2. 休んで子どもをみることは非常に難しい ⇒問 22-6 へ

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

そう思う理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他()

IV. 調査票

就学前児童保護者

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園や保育所などの大規模施設で子どもを保育するサービス
2. 地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもを保育するサービス
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育するサービス（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）「1. あった」場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字です。）

1. あった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった ⇒問 25-1 へ				泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）				泊
	ウ. 「イ」以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した				泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた				泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた				泊
	カ. その他（ ）				泊
2. なかった					

問 25-1 問 25 で、「1. あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかという困難
3. 特に困難ではない

10. あて名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

問 26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず「(例) 18時00分」のように24時間制でご記入ください。(数字は一桁に一字です。)

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 放課後児童クラブ ^{※1}	週	<input type="text"/>	日くらい
⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで			
5. 放課後子ども教室 ^{※2}	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

※1 「放課後児童クラブ」・・・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2 「放課後子ども教室」・・・地域の方々に協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供するものです。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用でき、事業の利用にあたっては、事前登録が必要になります。

IV. 調査票

就学前児童保護者

問 27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず「(例) 18時00分」のように24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

※かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 放課後児童クラブ	週	<input type="text"/>	日くらい
⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで			
5. 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

問 28 問 26 または問 27 で「4. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)～(3)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に必ず「(例) 09時00分から18時30分」のように24時間制でご記入ください。

(数字は一枠に一字です。) なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
⇒ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
⇒ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで	
3. 利用する必要はない	

(3) 祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	⇒利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
⇒ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで	
3. 利用する必要はない	

問 29 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の学校休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に必ず「(例) 09時00分から18時30分」のように24時間制でご記入ください。
(数字は一枠に一字です。)

なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	} ⇒利用したい時間帯													
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		□	□	時	□	□	分	□	□	時	□	□	分	まで
3. 利用する必要はない														

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます

問 30 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。
①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	育児休業の取得状況(当てはまる番号1つに○)
1	1	取得していない ⇒問 30-1へ
2	2	取得した(取得中である) ⇒問 30-2へ
3	3	働いていなかった

問 30-1 問 30で「1. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

取得していない理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	②父親	取得していない理由(当てはまる番号すべてに○)
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3	/	(産休後に)仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に戻るのが難しそうだった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	保育所などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10	10	子育てや家事に専念するため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14	/	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15	/	その他()
/	15	その他()

IV. 調査票

就学前児童保護者

問 30-2 すべての方にうかがいます。

子どもが原則1歳（保育の実施が行われななど一定の要件を満たす場合は1歳6か月または2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30-3 問 30 で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。取得していない方は問 31 へお進みください。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	育児休業取得後の職場復帰状況（当てはまる番号1つに○）
1	1	育児休業取得後、職場に復帰した
2	2	現在も育児休業中である
3	3	育児休業中に離職した

問 30-4 問 30-4～問 30-6 は、問 30-3 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

①母親	②父親	育児休業取得について（当てはまる番号1つに○）
1	1	年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2	2	それ以外だった

問 30-5 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

①母親、②父親それぞれについて、口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字です。）

	①母親			②父親						
実際の取得期間	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	か月	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	か月
希望	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	か月	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	か月

問 30-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

①母親、②父親それぞれについて、口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字です。）

	①母親			②父親						
3歳まで休暇を取得できる場合の希望	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	か月	<input type="text"/>	歳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	か月

問 30-7 問 30-5 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由はなんですか。①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 「希望」より早く職場復帰した方

①母親	②父親	希望より早く職場復帰した理由（当てはまる番号すべてに○）
1	1	希望する保育所に入るため
2	2	配偶者や家族の希望があったため
3	3	経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4	4	人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5		その他（ ）
	5	その他（ ）

(2) 「希望」より遅く職場復帰した方

①母親	②父親	希望より遅く職場復帰した理由（当てはまる番号すべてに○）
1	1	希望する保育所に入れなかったため
2	2	自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3	3	配偶者や家族の希望があったため
4	4	職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5	5	子どもをみてくれる人がいなかったため
6		その他（ ）
	6	その他（ ）

問 30-8 問 30-3 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	職場復帰時の短時間勤務制度利用の有無（当てはまる番号1つに○）
1	1	利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2	2	利用した
3	3	利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問 30-9 問 30-8 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由はなんですか。

①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親	②父親	短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由（当てはまる番号すべてに○）
1	1	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が忙しかった
3	3	短時間勤務にすると給与が減額される
4	4	短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5	5	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6	6	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7	7	子育てや家事に専念するため退職した
8	8	職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9	9	短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10		その他（ ）
	10	その他（ ）

IV. 調査票

就学前児童保護者

問 30-10 問 30-3 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる保育所等事業があっても1歳になる前に復帰しますか。①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	育児休業取得について（当てはまる番号1つに○）
1	1	1歳になるまで育児休業を取得したい
2	2	1歳になる前に復帰したい

12. 刈谷市の子育てサービス、子育てに関連する分野の満足度についてうかがいます

問 31 下記の①～⑮のサービスを知っていますか。また、知っている方は利用したことがありますか。それぞれのサービスについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

サービスの種類	(1) 認知度		(2) 利用状況	
	知っている	知らない	利用している・ 利用したことがある	利用したことはない
①生後4か月までのあかちゃん訪問	1	2	1	2
②臨時保育室（カンガルールーム）	1	2	1	2
③子育て支援センター・子育て広場	1	2	1	2
④一時保育	1	2	1	2
⑤ほのぼのルーム	1	2	1	2
⑥地域の子育てボランティア活動	1	2	1	2
⑦子育てサークル	1	2	1	2
⑧はぐみんカード	1	2	1	2
⑨虐待ホットライン	1	2	1	2
⑩子ども相談センター	1	2	1	2
⑪育児ママ訪問サポート	1	2	1	2
⑫適応指導教室（すこやか教室）	1	2	1	2
⑬市が発行している子育てに関する情報誌（子育てガイドブック）	1	2	1	2
⑭市が運用している子育てに関するホームページ	1	2	1	2
⑮防犯メール配信サービス	1	2	1	2

↓(1) 認知度で、「1. 知っている」と回答した項目について、利用状況をお答えください。

問 31-1 問 31 (2) 利用状況で「1. 利用している・利用したことがある」「2. 利用したことはない」に○をつけた方にそれぞれうかがいます。利用している・利用したことがある方はそれぞれのサービスの満足度について、利用したことのない方は今後の利用意向についてお答えください。それぞれのサービスについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

サービスの種類	(1) 利用している・利用したことがある方の満足度					(2) 利用したことはない方の利用意向		
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	利用してみたい	利用したくない	わからない
①生後4か月までのあかちゃん訪問	5	4	3	2	1	1	2	3
②臨時保育室（カンガルールーム）	5	4	3	2	1	1	2	3
③子育て支援センター・子育て広場	5	4	3	2	1	1	2	3
④一時保育	5	4	3	2	1	1	2	3
⑤ほのぼのルーム	5	4	3	2	1	1	2	3
⑥地域の子育てボランティア活動	5	4	3	2	1	1	2	3
⑦子育てサークル	5	4	3	2	1	1	2	3
⑧はぐみんカード	5	4	3	2	1	1	2	3
⑨虐待ホットライン	5	4	3	2	1	1	2	3
⑩子ども相談センター	5	4	3	2	1	1	2	3
⑪育児ママ訪問サポート	5	4	3	2	1	1	2	3
⑫適応指導教室（すこやか教室）	5	4	3	2	1	1	2	3
⑬市が発行している子育てに関する情報誌（子育てガイドブック）	5	4	3	2	1	1	2	3
⑭市が運用している子育てに関するホームページ	5	4	3	2	1	1	2	3
⑮防犯メール配信サービス	5	4	3	2	1	1	2	3

問 32 あなたは、刈谷市における下記①～⑦の分野についてどのように感じていますか。それぞれの満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
①子育て支援サービスの充実と利便性	5	4	3	2	1
②妊娠・出産・育児期の健診の利便性	5	4	3	2	1
③小児医療サービスの利便性	5	4	3	2	1
④公園など、身近な子どもの遊び場の充実	5	4	3	2	1
⑤企業・事業所などの子育て支援施策	5	4	3	2	1
⑥犯罪などの少ない安心できる地域環境	5	4	3	2	1
⑦総合的な子育てのしやすさ	5	4	3	2	1

IV. 調査票

就学前児童保護者

13. 国では2019年10月から実施する消費税増税分を使って、幼児教育・保育の無償化を一部導入する予定としています。幼児教育・保育の無償化についてうかがいます

問 33 あなたは、無償化によって、幼児教育・保育の利用を変更したいと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 変更する予定がある
2. 変更する予定はないが、可能であれば変更したい
3. 変更はしない

問 34 あなたは、無償化によって、幼児教育・保育にどのような影響や効果があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼児教育が収入の低い世帯でも受けられ、学力向上などの効果が期待できる
2. 子育てしやすい環境づくりとなり少子化対策につながる
3. 費用の高い幼稚園の無償化で、待機児童問題への解決につながる
4. 保育所を希望する人がさらに増え、待機児童が増える
5. 子育て家庭の経済的負担軽減につながる
6. 幼稚園・保育所のいずれの施設でも質の高い幼児教育が受けられるようになる
7. 今まで費用面で幼稚園に預けられなかった家庭にも選択の幅が広がる
8. 教育の質向上を目指すため、保育士や幼稚園教諭に対し、新たな研修制度などが充実する
9. その他 ()

14. 子育て全般、その他自由意見についてうかがいます

問 35 あなたは、自身の子育てについての楽しさの程度はどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけ、その理由をご記入ください。

(楽しい) 5 4 3 2 1 (楽しくない)
(理由:)

問 36 あなたは、自身の子育てについてのつらさの程度はどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけ、その理由をご記入ください。

(つらい) 5 4 3 2 1 (つらくない)
(理由:)

問 37 あなたは、子どもが生まれてからの子育て支援にかかる地域の状況についてどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 地域の人から声をかけてもらえるようになった
2. 困ったときに助け合うことができると思えるようになった
3. この地域に住む人は信頼できる人が多いと思えるようになった
4. 地域への愛着が深まった
5. 特に変わらない

問 38 あなたは、刈谷市の子育て施策についてどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なお、「5. 不満がある」を選択した方は、その理由をご記入ください。

- | | | |
|------------|-------------------|------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満がある | 5. 不満がある → (不満の理由 |) |

問 39 あなたは、実際に何人の子どもを持つ予定ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | |

問 40 あなたは、理想として何人の子どもを持ちたいと考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 |
| 4. 4人 | 5. 5人以上 | |

問 41 あなたが、刈谷市外に住む友人や知人等へ刈谷市をおすすめするとしたら、おすすめの程度はどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 高 | | | | | | | | | | 低 |

問 42 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。

切手を貼らずに同封の封筒に入れ、投函をお願いいたします。

IV. 調査票

小学生児童保護者

刈谷市の子ども・子育てに関するアンケート調査

【小学生児童保護者の方への調査ご協力をお願い】

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまり誠にありがとうございます。

さて、国の「子ども・子育て支援新制度」は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

本市では、より一層の子育て支援施策の充実に向け、「第2次刈谷市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

このため、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見などを把握するべく、「刈谷市の子ども・子育てに関するアンケート調査」を実施することとなりました。

この調査は、刈谷市にお住まいの、小学生のお子さんをお持ちの保護者の方にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子ども・子育て施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

刈谷市長 竹中 良則

記入にあたって

【調査票をお送りした方の選び方】

- 刈谷市内の1～3年生の方の中から無作為に選びました。
- 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについて、お子さんの保護者の方がご記入ください。

【プライバシーへの配慮】

- 名前や住所を書く必要はありません。回答は統計的に処理し、個人を特定することはありません。また、上記の調査目的以外には使用しません。

【回答にあたってのお願い】

- 設問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。「○は1つ」、「あてはまる番号すべてに○」などの指示にしたがって回答してください。
- 設問によっては、□内に人数や時間を直接記入するものがありますのでご注意ください。
- 選択肢の内、その他を選んだ場合は（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- 答えたくない質問やあてはまらない質問には、答えなくても結構です。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて11月30日(金)までにポストに投函してくださいようお願いいたします。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

刈谷市 次世代育成部 子育て推進課

電話：0566-62-1061（ダイヤルイン）

FAX：0566-24-3481

e-mail：ksuishin@city.kariya.lg.jp

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1 あて名のお子さんが通っている小学校はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。私立の小学校等に通っている場合は、「16」を選択し、()内にお住まいの町名をご記入ください。

1. 亀城 2. 小高原 3. 日高 4. 衣浦
 5. 住吉 6. かりがね 7. 平成 8. 富士松南
 9. 富士松北 10. 富士松東 11. 小垣江 12. 小垣江東
 13. 双葉 14. 東刈谷 15. 朝日
 16. その他(町名のみご記入ください:)

問2 保護者の方の刈谷市在住期間(平成30年10月1日現在)はどのくらいですか。
 ①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	刈谷市在住期間(当てはまる番号1つに○)
1	1	2年未満(現在住んでいない場合を含む)
2	2	2年以上5年未満
3	3	5年以上10年未満
4	4	10年以上

2. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます

問3 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。
 (口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字です。)

平成 年 月 生まれ

問4 お子さんは何人いますか。あて名のお子さんを含めた人数をご記入ください。また、2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。
 (口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字です。)

子どもの数 人 末子の生年月月 平成 年 月 生まれ

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

IV. 調査票

小学生児童保護者

問7 あて名のお子さんの子育てや教育を主にやっているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他 () | |

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

問8 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒問8-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒問8-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ⇒問9へ | |

問8-1 問8で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問8-2 問8で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9 あて名のお子さんの子育てや教育をする上で、気軽に相談できる人はいますか。あるいは相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. はい ⇒問9-1へ | 2. いいえ ⇒問10へ |
|--------------|--------------|

問9-1 問9で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|---------------------------------|---------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人・知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 小学校の先生 | 5. 放課後児童クラブ | 6. 放課後子ども教室 |
| 7. 児童館 | 8. 塾などの習い事 | 9. 保健所・保健センター |
| 10. 民生委員・児童委員 | 11. かかりつけの医師 | |
| 12. 行政の子育て関連担当窓口 | 13. その他（ ） | |

問10 子育てや教育をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にご記入ください。

4. あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

問11（1） 母親についてうかがいます。【父子家庭の場合は記入不要です】

当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|--------------------|
| 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している | } ⇒問11
(1) - 1へ |
| 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | } ⇒問11(2)へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

問11（1）-1 問11（1）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字です。）

1週当たり 日 1日当たり 時間 分

IV. 調査票

小学生児童保護者

問 11 (1) - 2 問 11 (1) で「1~4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず「(例) 08 時 00 分、18 時 30 分」のように、24 時間制でご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字です。)

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問 11 (2) 父親についてうかがいます。【母子家庭の場合は記入不要です】

当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) で就労している
2. フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労している
4. パート・アルバイト等 (「フルタイム」以外の就労) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒問 11
(2) - 1 へ

⇒問 13 へ

問 11 (2) - 1 問 11 (2) で「1~4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字です。)

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 分

問 11 (2) - 2 問 11 (2) で「1~4」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず「(例) 08 時 00 分、18 時 30 分」のように、24 時間制でご記入ください。
(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字です。)

家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問 12 問 11 (1) または問 11 (2) で「3」「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。①母親、②父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親	②父親	フルタイムへの転換希望 (当てはまる番号1つに○)
1	1	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問 13 問 11 (1) または問 11 (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

就労したいという希望はありますか。(1) 母親、(2) 父親それぞれについて、当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

問 14-4 問 14-1 で「ウ〜ク」のいずれかに○をつけた方うかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思いましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ〜ク」の日数のうち仕事を休んで子どもをみたかった日数についても口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

1. できれば仕事を休んで子どもをみたい	⇒	□	□	□	日	⇒問 15 へ
2. 休んで子どもをみることは非常に難しい	⇒	問 14-5 へ				

問 14-5 問 14-4 で「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」に○をつけた方うかがいます。

そう思う理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他 ()

6. あて名のお子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます

問 15 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料(保育料等)がかかります。

1. 利用したい	計				日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的					
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等					
ウ. 不定期の就労					
エ. その他 ()					
2. 利用する必要はない					

問 16 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)
「1. あった」場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	⇒問 16-1 へ				泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)					
	ウ. 「イ」以外の保育事業を利用した					
	エ. 仕方なく子どもを同行させた					
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた					
	カ. その他 ()					
2. なかった						

IV. 調査票

小学生児童保護者

問 16-1 問 16 で、「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方
にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難ではない

7. 放課後の過ごし方についてうかがいます

問 17 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごして
いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。
また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用している時間も□内に数字でご記入ください。
時間は、必ず「(例) 18 時 00 分」のように 24 時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字です。)

- | | | | |
|-----------------------------|---|--|------|
| 1. 自宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 4. 放課後児童クラブ※ ¹ | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| | | ⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで | |
| 5. 放課後子ども教室※ ² | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 6. 児童館 | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 7. ファミリー・サポート・センター | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |
| 8. その他（公民館、公園など） | 週 | <input type="text"/> | 日くらい |

※1 「放課後児童クラブ」・・・地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない
場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

※2 「放課後子ども教室」・・・地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する
ものです。保護者の就労の有無にかかわらず、すべての小学生が利用でき、事業の利用
にあたっては、事前登録が必要になります。

問 18 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず「(例) 18時00分」のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字です。）

1. 自宅	週	<input type="text"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/>	日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週	<input type="text"/>	日くらい
4. 放課後児童クラブ	週	<input type="text"/>	日くらい
		⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで	
5. 放課後子ども教室	週	<input type="text"/>	日くらい
6. 児童館	週	<input type="text"/>	日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="text"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="text"/>	日くらい

問 19 問 17 または問 18 で「4. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日、祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）～（3）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に必ず「(例) 09時00分から18時30分」のように24時間制でご記入ください。

（数字は一枠に一字です。）なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

時 分から 時 分まで

（2）日曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

時 分から 時 分まで

（3）祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} ⇒利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

時 分から 時 分まで

IV. 調査票

小学生児童保護者

問 20 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の学校休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に必ず「(例) 09時00分から18時30分」のように24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字です。) なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	}	⇒利用したい時間帯	
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい	}		□□時 □□分から □□時 □□分まで
3. 利用する必要はない			

8. 刈谷市の子育てサービス、子育て全般、その他自由意見についてうかがいます

問 21 あなたは、刈谷市における下記①~⑦の分野についてどのように感じていますか。それぞれの満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

項目	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
①子育て支援サービスの充実と利便性	5	4	3	2	1
②妊娠・出産・育児期の健診の利便性	5	4	3	2	1
③小児医療サービスの利便性	5	4	3	2	1
④公園など、身近な子どもの遊び場の充実	5	4	3	2	1
⑤企業・事業所などの子育て支援施策	5	4	3	2	1
⑥犯罪などの少ない安心できる地域環境	5	4	3	2	1
⑦総合的な子育てのしやすさ	5	4	3	2	1

問 22 あなたは、自身の子育てについての楽しさの程度はどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけ、その理由をご記入ください。

(楽しい) 5 4 3 2 1 (楽しくない)
(理由: _____)

問 23 あなたは、自身の子育てについてのつらさの程度はどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけ、その理由をご記入ください。

(つらい) 5 4 3 2 1 (つらくない)
(理由: _____)

問 24 あなたは、子どもが生まれてからの子育て支援にかかる地域の状況についてどのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 地域の人から声をかけてもらえるようになった
2. 困ったときに助け合うことができると思えるようになった
3. この地域に住む人は信頼できる人が多いと思えるようになった
4. 地域への愛着が深まった
5. 特に変わらない

子ども・子育てに関するアンケート調査 調査結果報告書

刈谷市

平成 31 年 3 月

刈谷市 次世代育成部 子育て推進課

愛知県刈谷市東陽町 1 丁目 1 番地

電話 : 0566-62-1061 (ダイヤルイン) FAX : 0566-24-3481

